

利根町国民健康保険 第2期データヘルス計画

平成30年3月
利根町

第1章	計画策定について	
	1. 背景	3
	2. 計画期間	3
	3. 基本方針	4
	4. データヘルス計画の位置づけ	5
	5. 実施体制・関係者連携	5
第2章	現状と課題把握	
	1. 保険者の特性把握	6
	(1) 基本情報	6
	(2) 医療費等の状況	8
	(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況	9
	(4) 介護保険の状況	13
	(5) 主たる死因の状況	17
	(6) 死亡数及び標準化死亡比	19
	2. 過去の取り組みの振り返りと評価	21
	3. 医療情報分析結果	25
	(1) 基礎統計	25
	(2) 高額レセプトの件数及び医療費	26
	(3) 疾病別医療費	29
	4. 保健事業実施に係る分析結果	38
	(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析	38
	(2) 特定健康診査に係る分析	39
	(3) 特定保健指導に係る分析	41
	(4) 健診異常値放置者に係る分析	43
	(5) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析	45
	(6) 受診行動適正化に係る分析	49
	(7) ジェネリック医薬品普及率に係る分析	52
	(8) 薬剤併用禁忌に係る分析	54
	(9) 服薬情報に係る分析	56
	5. 分析結果に基づく健康課題の把握	58
	(1) 分析結果	58
	(2) 分析結果に基づく課題とその対策	62
第3章	保健事業実施計画	
	1. 各事業の目的と概要一覧	63
	2. 全体スケジュール	65
	3. 各事業の実施内容と評価方法	66
	(1) 特定健康診査未受診者受診勧奨事業	66
	(2) 人間・脳ドック補助	67
	(3) 特定保健指導事業	68
	(4) ポピュレーションアプローチ健康づくり	69
	(5) 生活習慣病未受療者の受診勧奨事業	70
	(6) 糖尿病性腎症重症化予防事業	71

	(7) 受診行動適正化指導事業(重複・頻回受診、重複服薬)	72
	(8) ジェネリック医薬品差額通知事業	73
	(9) 薬剤併用禁忌防止事業	74
	(10) 服薬情報通知事業	75
第4章 その他		
	1. データヘルス計画の見直し	76
	(1) 評価	76
	(2) 評価時期	76
	2. 計画の公表・周知	76
	3. 個人情報の取り扱い	76
	4. 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項	76
地区分析		
	1. 大分類による疾病別医療費地区別統計	
	2. 中分類による疾病別医療費地区別統計	
年度別 特定健康診査結果分析		
	1. 有所見者割合	
	2. 質問別回答状況	
巻末資料		
	1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方	
	2. 用語解説集	
	3. 疾病分類表	

第1章 計画策定について

1. 背景

「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においては、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市区町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」としている。データヘルス計画には健康・医療情報(健康診査の結果やレセプト等から得られる情報)を活用し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すこととある。また、これら分析結果を踏まえ、直ちに取り組むべき健康課題、中長期的に取り組むべき健康課題を明確にし、目標値の設定を含めた事業内容の企画を行うこととしている。実施計画に基づく事業の実施に当たっては、費用対効果を考慮することや、レセプトを活用し、生活習慣の改善により予防効果が大きく期待できる者を明確にし、優先順位をつけて行うこととある。

また、「日本再興戦略2016」(平成28年6月2日閣議決定)においては、「データヘルス計画を通じた企業や保険者等による健康・予防に向けた取組を強化する。」としている。こうした背景を踏まえて策定した第1期データヘルス計画を見直すとともに、第2期データヘルス計画を策定して、被保険者の健康維持増進を図る。

レセプトを用いた現状分析は、株式会社データホライゾンの医療費分解技術、傷病管理システム、レセプト分析システムおよび分析方法を用いて行うものとする。

※医療費分解技術(特許第4312757号)

レセプトに記載されたすべての傷病名と診断行為(医薬品、検査、手術、処置、指導料等)を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出する。

※傷病管理システム(特許第5203481号)

レセプトに記載されている傷病識別情報、医薬品識別情報及び診療行為識別情報に基づき、傷病の重症度を判定する。

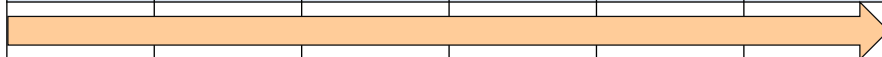
※レセプト分析システムおよび分析方法
(特許第5992234号)

中長期にわたるレセプトから特定の患者についてアクティブな傷病名とノンアクティブな傷病名を識別する。

2. 計画期間

本データヘルス計画の計画期間は、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」第4の5において、「特定健康診査等実施計画及び健康増進計画との整合性を踏まえ、複数年とすること」とされていることから、第3期特定健康診査等実施計画期間である、平成30年度から平成35年度の6年間とする。

■ 計画期間

平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
					

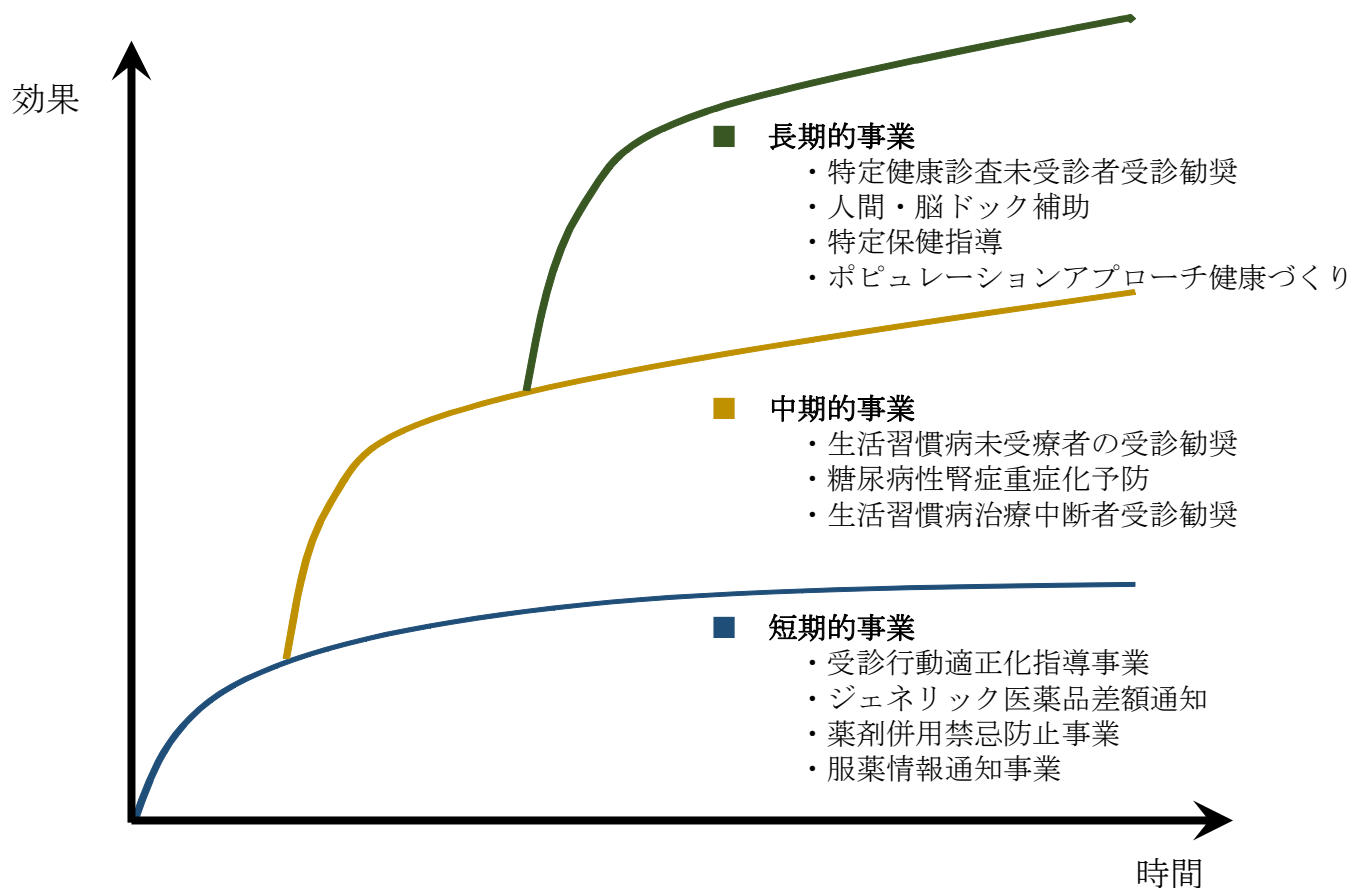
3. 基本方針

データヘルス計画では、短期的に取り組むべき対策と、中長期的に取り組むべき対策について、それぞれの段階にあった事業を行うことを計画する。

目標とする成果を達成するために、以下の基本方針でデータヘルス計画を策定する。

1. 潜在する課題を確認するため、疾病ごとの医療費比較、高額レセプトの発生状況や発生元となる疾病の把握を行い課題を明確にする。
2. 明確となった課題より、「短期的な対策」・「中長期的な対策」を選択する。費用対効果の見込める集団を特定し、PDCAサイクルを意識した継続的な事業を実施する。
3. データヘルス計画には、実施事業に対する明確な目標を設定し、記載する。またこの目標を達成することのできる効果的な実施方法を検討し、明示する。目標に対する客観的な効果測定が必要であることから、事業実施後の効果測定方法についても記載することとする。

事業には、即効性があるが効果額が小さい短期的事業と、即効性はないが将来の大きな医療費削減につながる中・長期的な事業がある。下記の保健事業を利根町国民健康保険の実情に合わせて、効率良く実施する。



4. データヘルス計画の位置づけ

「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21(第2次))」に示された基本方針を踏まえるとともに、「都道府県健康増進計画」及び「市町村健康増進計画」で用いた評価指標を用いる等、それぞれの計画と整合性を図る必要がある。

5. 実施体制・関係者連携

本データヘルス計画の遂行に当たっては、保険担当部局が主体となり、関係部局(保健衛生、介護部門等)・保健師・栄養士等の専門職と共同で事業を推進する。そのために、課題や評価について共有する場としてのプロジェクトチーム等を設置し、一体となって保健事業の実施に当たる。

また、医師会、栄養士会等の外部有識者や被保険者が議論に参画できる協議の場として、既存の協議会等の活用、または新たな会議体の設置、被保険者向け説明会等を行い、外部有識者からの支援体制を強化し、被保険者自身が当事者意識を持って主体的・積極的に取り組める体制を整備しながら事業を運営する。

■ データ分析期間

- ・ 国保データベース(KDB)システムデータ
平成26年度～平成28年度(3年分)
- ・ 入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト
単年分析
平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)
- ・ 健康診査データ
単年分析
平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)
年度分析
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月健診分(12カ月分)
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)

第2章 現状と課題把握

1. 保険者の特性把握

(1) 基本情報

本町の平成28年度における、人口構成概要を以下に示す。高齢化率(65歳以上)は28.2%であり、県との比較で1.2倍、同規模との比較でほぼ等倍となっている。また、国民健康保険被保険者数は5,774人で、町の人口に占める国民健康保険加入率は33.2%である。国民健康保険被保険者平均年齢は56.4歳である。

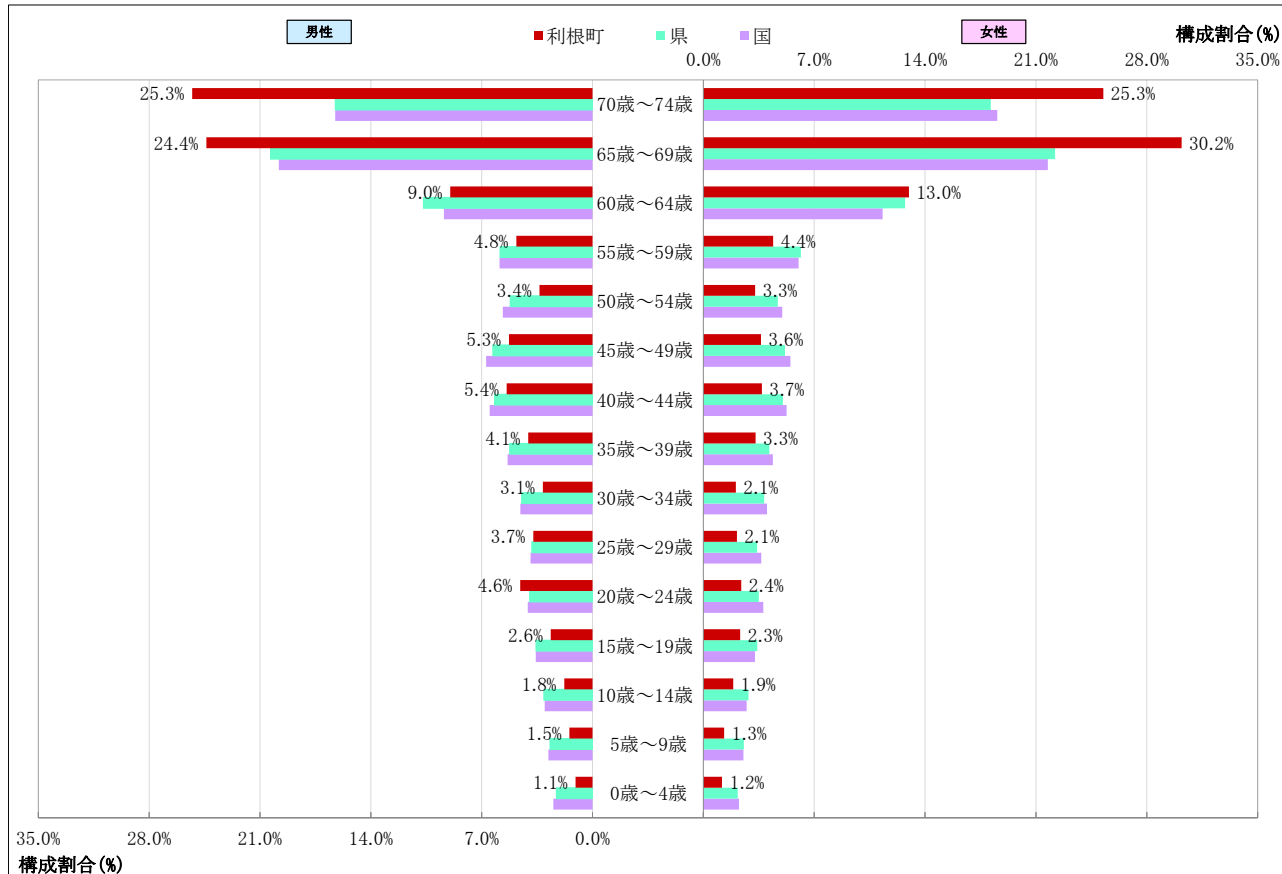
人口構成概要(平成28年度)

	人口総数(人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者数 (人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
利根町	17,389	28.2%	5,774	33.2%	56.4	5.4%	9.7%
県	2,914,135	22.8%	799,191	27.4%	51.1	8.2%	9.8%
同規模	16,517	28.2%	4,526	26.0%	53.3	7.3%	12.7%
国	124,852,975	23.2%	32,587,866	26.9%	50.7	8.6%	9.6%

※「県」は茨城県を指す。以下すべての表において同様である。

出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

男女・年齢階層別 被保険者数構成割合ピラミッド(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」

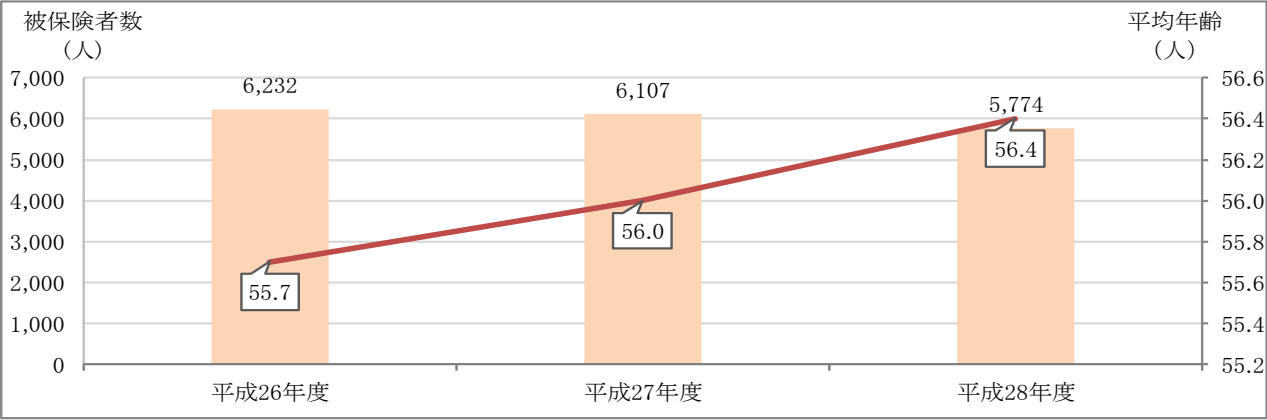
本町の平成26年度から平成28年度における、人口構成概要を年度別に示す。平成28年度を平成26年度と比較すると、国民健康保険被保険者数5,774人は平成26年度6,232人より458人減少しており、国民健康保険被保険者平均年齢56.4歳は平成26年度55.7歳より0.7歳上昇している。

年度別 人口構成概要

区分		人口総数 (人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者数 (人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
利根町	平成26年度	17,389	28.2%	6,232	35.8%	55.7	5.4%	9.7%
	平成27年度	17,389	28.2%	6,107	35.1%	56.0	5.4%	9.7%
	平成28年度	17,389	28.2%	5,774	33.2%	56.4	5.4%	9.7%
県	平成26年度	2,914,135	22.8%	878,261	30.1%	49.8	8.2%	9.8%
	平成27年度	2,914,135	22.8%	845,824	29.0%	50.4	8.2%	9.8%
	平成28年度	2,914,135	22.8%	799,191	27.4%	51.1	8.2%	9.8%
同規模	平成26年度	16,340	28.5%	4,877	28.4%	52.3	7.1%	12.9%
	平成27年度	16,426	28.4%	4,712	27.3%	52.8	7.2%	12.8%
	平成28年度	16,517	28.2%	4,526	26.0%	53.3	7.3%	12.7%
国	平成26年度	124,852,975	23.2%	32,318,324	28.8%	50.3	8.6%	9.6%
	平成27年度	124,852,975	23.2%	33,767,446	28.2%	50.4	8.6%	9.6%
	平成28年度	124,852,975	23.2%	32,587,866	26.9%	50.7	8.6%	9.6%

出典:国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

年度別 被保険者数



出典:国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

(2) 医療費等の状況

本町の平成28年度における、医療基礎情報を以下に示す。千人当たりの病院数は、0.0と県・同規模・国を下回っているが、受診率は県・同規模・国を上回っている。医療費は、外来の割合が県・同規模・国より高く、入院の割合は県・同規模・国を下回っている。

医療基礎情報(平成28年度)

医療項目	利根町	県	同規模	国
千人当たり				
病院数	0.0	0.2	0.3	0.3
診療所数	1.4	2.2	2.3	3.0
病床数	0.0	40.2	39.8	46.8
医師数	1.7	6.5	5.0	9.2
外来患者数	703.7	629.2	686.7	668.1
入院患者数	17.4	16.3	22.1	18.2
受診率	721.1	645.5	708.8	686.3
一件当たり医療費(円)	33,900	34,810	37,700	35,330
一般(円)	34,190	34,730	37,700	35,270
退職(円)	22,600	37,640	37,660	37,860
外来				
外来費用の割合	63.9%	62.2%	57.8%	60.1%
外来受診率	703.7	629.2	686.7	668.1
一件当たり医療費(円)	22,210	22,210	22,480	21,820
一人当たり医療費(円)	15,630	13,980	15,440	14,580
一日当たり医療費(円)	14,600	14,940	14,590	13,910
一件当たり受診回数	1.5	1.5	1.5	1.6
入院				
入院費用の割合	36.1%	37.8%	42.2%	39.9%
入院率	17.4	16.3	22.1	18.2
一件当たり医療費(円)	508,100	521,880	511,310	531,780
一人当たり医療費(円)	8,820	8,490	11,280	9,670
一日当たり医療費(円)	33,960	34,550	30,760	34,030
一件当たり在院日数	15.0	15.1	16.6	15.6

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

① 特定健康診査

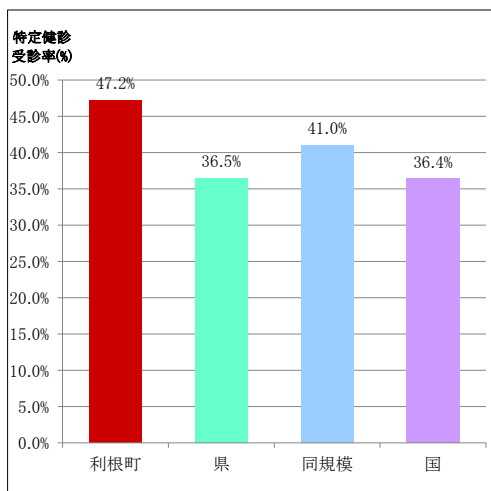
本町の平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査の受診率を以下に示す。受診率は、県・同規模・国を上回っている。

特定健康診査受診率(平成28年度)

	特定健診受診率
利根町	47.2%
県	36.5%
同規模	41.0%
国	36.4%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

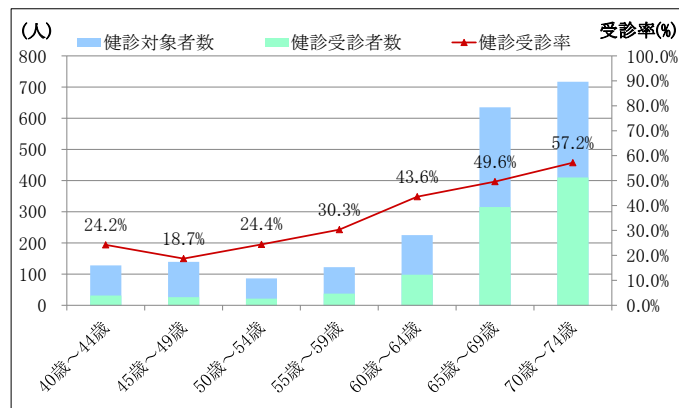
特定健康診査受診率(平成28年度)



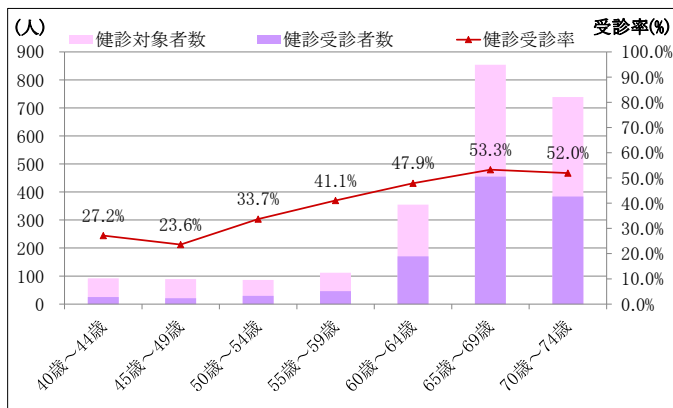
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

男女別・年齢階層別特定健康診査受診率をみると、男女ともに年代が高いほど受診率が高い傾向がある。

(男性) 年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



(女性) 年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

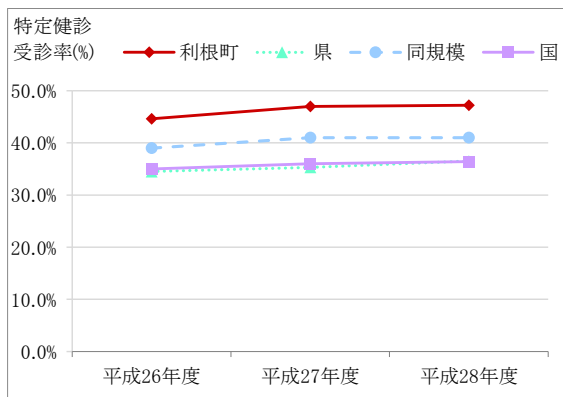
本町の平成26年度から平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査受診率を年度別に示す。平成28年度の特定健康診査受診率47.2%は平成26年度44.6%より2.6ポイント上昇している。

年度別 特定健康診査受診率

	特定健診受診率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度
利根町	44.6%	47.0%	47.2%
県	34.5%	35.3%	36.5%
同規模	39.0%	41.0%	41.0%
国	35.0%	36.0%	36.4%

出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

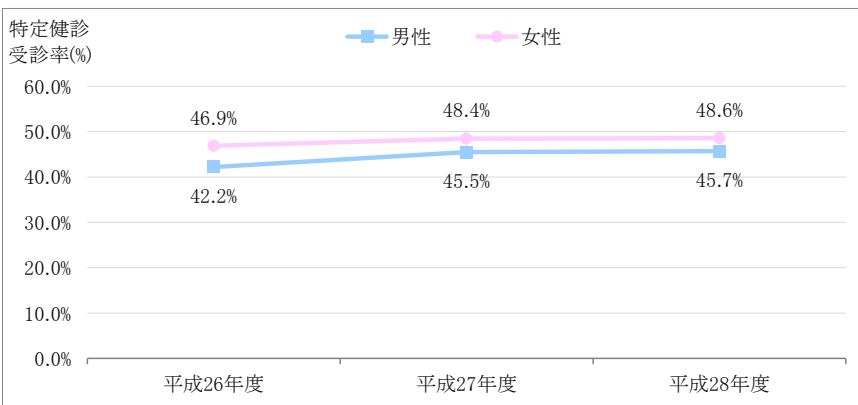
年度別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

男女別の特定健康診査の受診率をみると、男性の平成28年度受診率45.7%は平成26年度42.2%より3.5ポイント上昇しており、女性の平成28年度受診率48.6%は平成26年度46.9%より1.7ポイント上昇している。

年度・男女別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

②特定保健指導

本町の平成28年度における、特定保健指導の実施状況を以下に示す。支援対象者割合は同規模・国より高く、特定保健指導の実施率は県・同規模・国より高い状況である。

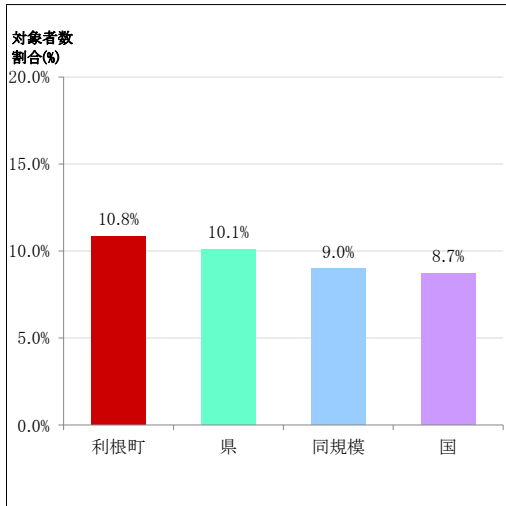
特定保健指導実施状況(平成28年度)

	動機付け支援 対象者数割合	積極的支援 対象者数割合	支援対象者数割合	特定保健指導 実施率
利根町	10.8%	2.8%	13.6%	51.2%
県	10.1%	4.0%	14.0%	28.8%
同規模	9.0%	3.3%	12.3%	37.5%
国	8.7%	3.2%	12.0%	21.1%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。

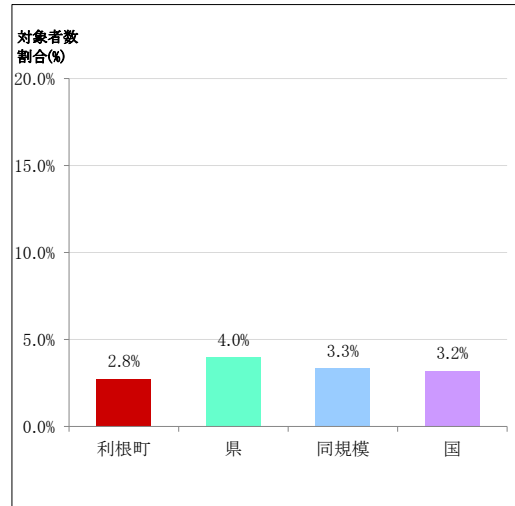
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

動機付け支援対象者数割合(平成28年度)



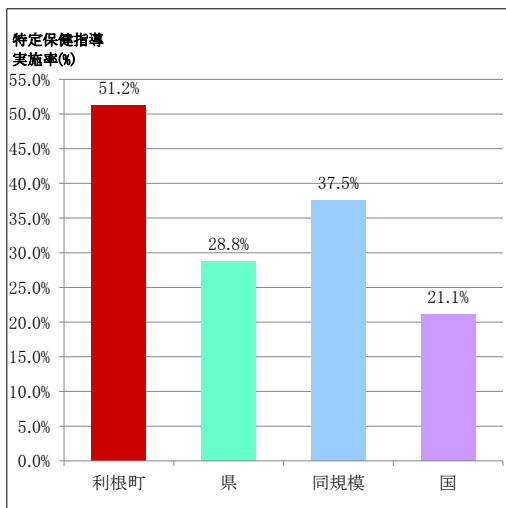
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

積極的支援対象者数割合(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

特定保健指導実施率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本町の平成26年度から平成28年度における、特定保健指導の実施状況を年度別に示す。
平成28年度の特定保健指導実施率51.2%は平成26年度47.9%より3.3ポイント上昇している。

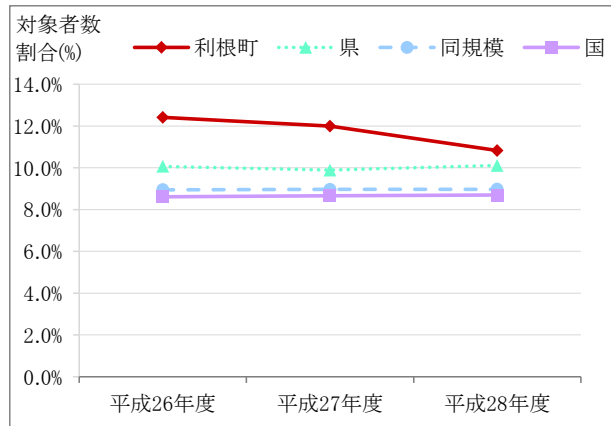
年度別 特定保健指導実施状況

	動機付け支援 対象者数割合			積極的支援 対象者数割合			支援対象者数割合			特定保健指導実施率		
	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度
利根町	12.4%	12.0%	10.8%	3.2%	2.6%	2.8%	15.6%	14.6%	13.6%	47.9%	47.9%	51.2%
県	10.1%	9.9%	10.1%	4.3%	4.1%	4.0%	14.4%	14.0%	14.0%	26.7%	26.3%	28.8%
同規模	8.9%	9.0%	9.0%	3.7%	3.4%	3.3%	12.6%	12.4%	12.3%	32.4%	35.5%	37.5%
国	8.6%	8.7%	8.7%	3.4%	3.3%	3.2%	12.0%	12.0%	12.0%	19.9%	20.2%	21.1%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。

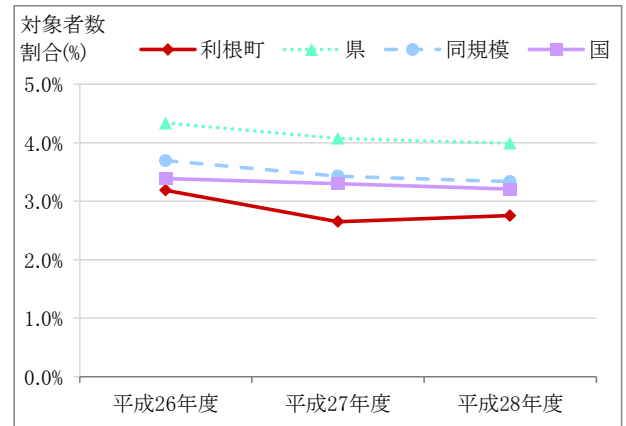
出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 動機付け支援対象者数割合



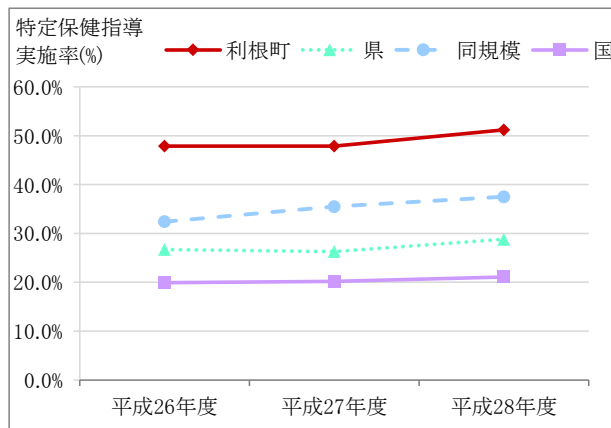
出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 積極的支援対象者数割合



出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 特定保健指導実施率



出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

(4) 介護保険の状況

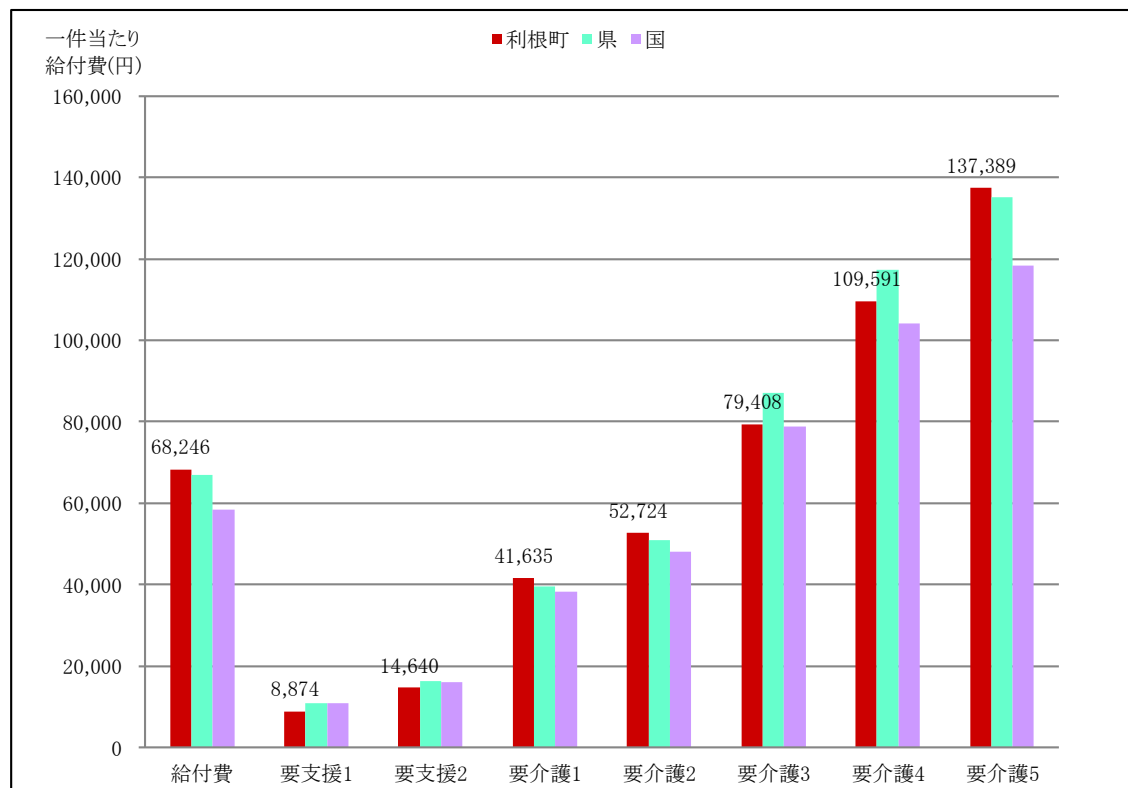
本町の平成28年度における、認定率及び給付費等の状況を以下に示す。本町の介護保険認定率は、県・国より低い、給付費は、全体では県・国より高い状況である。

認定率及び給付費等の状況(平成28年度)

区分	利根町	県	国
認定率	14.4%	18.1%	21.2%
認定者数(人)	739	125,310	6,037,083
第1号(65歳以上)	715	121,496	5,885,270
第2号(40～64歳)	24	3,814	151,813
一件当たり給付費(円)			
給付費	68,246	66,869	58,284
要支援1	8,874	10,844	10,735
要支援2	14,640	16,404	15,996
要介護1	41,635	39,596	38,163
要介護2	52,724	50,902	48,013
要介護3	79,408	86,980	78,693
要介護4	109,591	117,389	104,104
要介護5	137,389	135,198	118,361

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

一件当たり要介護度別給付費(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

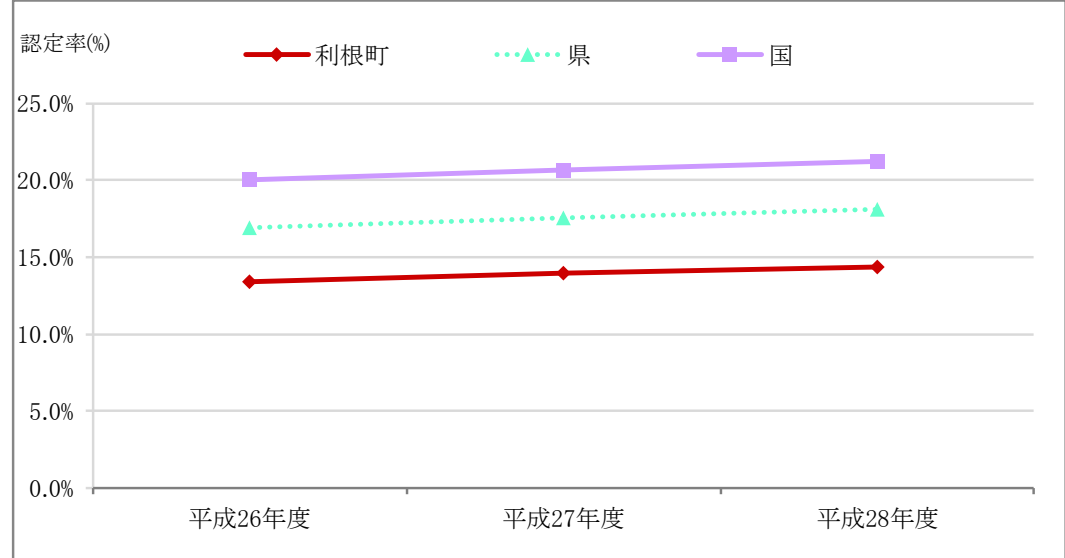
平成26年度から平成28年度における、認定率及び認定者数を年度別に示す。平成28年度認定率14.4%は平成26年度13.4%より1.0ポイント上昇しており、平成28年度の認定者数739人は平成26年度686人より53人増加している。

年度別 認定率及び認定者数

区分		認定率	認定者数(人)		
				第1号 (65歳以上)	第2号 (40歳～64歳)
利根町	平成26年度	13.4%	686	669	17
	平成27年度	14.0%	711	691	20
	平成28年度	14.4%	739	715	24
県	平成26年度	16.9%	118,329	114,417	3,912
	平成27年度	17.6%	122,073	118,207	3,866
	平成28年度	18.1%	125,310	121,496	3,814
国	平成26年度	20.0%	5,324,880	5,178,997	145,883
	平成27年度	20.7%	5,751,982	5,602,383	149,599
	平成28年度	21.2%	6,037,083	5,885,270	151,813

出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定率



出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

本町の平成28年度における、認定者の疾病別有病率を以下に示す。疾病別の有病者数を合計すると2,056人となり、認定者は平均2.8疾病を有していることがわかる。

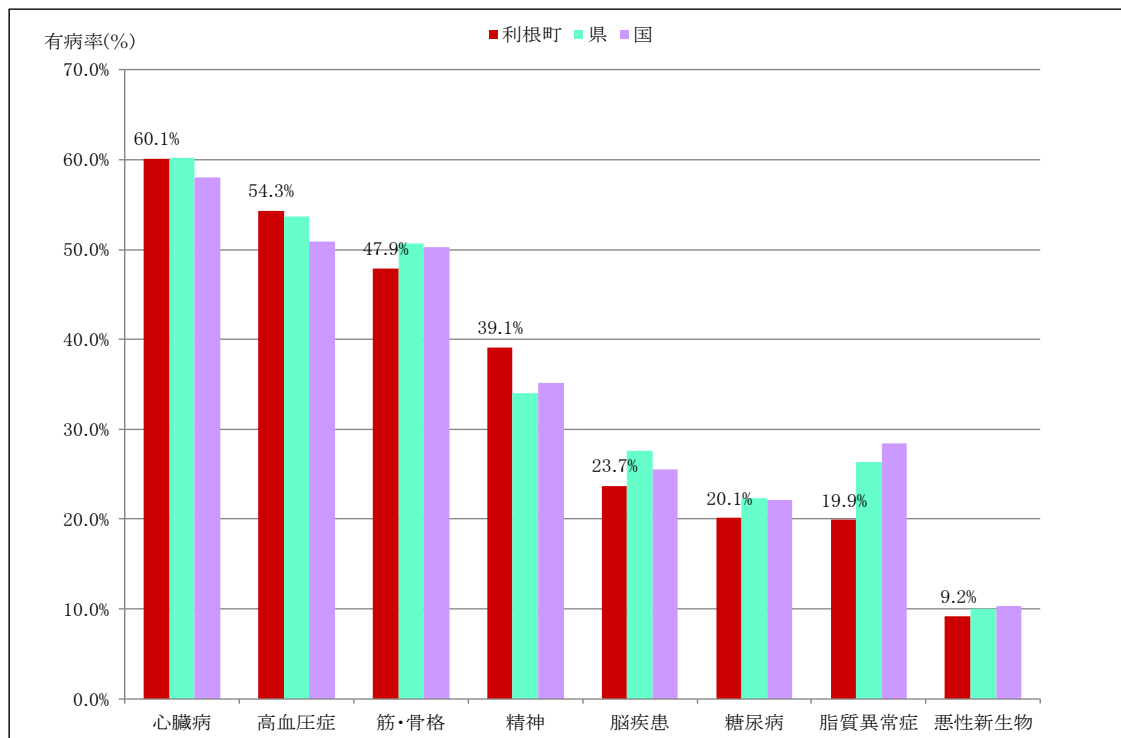
認定者の疾病別有病状況(平成28年度)

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

区分	利根町	順位	県	順位	国	順位
認定者数(人)	739		125,310		6,037,083	
心臓病	実人数(人)	1	76,051	1	3,529,682	1
	有病率		60.2%		58.0%	
高血圧症	実人数(人)	2	67,924	2	3,101,200	2
	有病率		53.7%		50.9%	
筋・骨格	実人数(人)	3	64,311	3	3,067,196	3
	有病率		50.7%		50.3%	
精神	実人数(人)	4	43,508	4	2,154,214	4
	有病率		34.0%		35.2%	
脳疾患	実人数(人)	5	34,670	5	1,538,683	6
	有病率		27.6%		25.5%	
糖尿病	実人数(人)	6	28,379	7	1,350,152	7
	有病率		22.3%		22.1%	
脂質異常症	実人数(人)	6	33,615	6	1,741,866	5
	有病率		26.3%		28.4%	
悪性新生物	実人数(人)	8	12,783	8	631,950	8
	有病率		10.0%		10.3%	
合計	実人数(人)		361,241		17,114,943	
	有病数		2.9		2.8	

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

認定者の疾病別有病率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

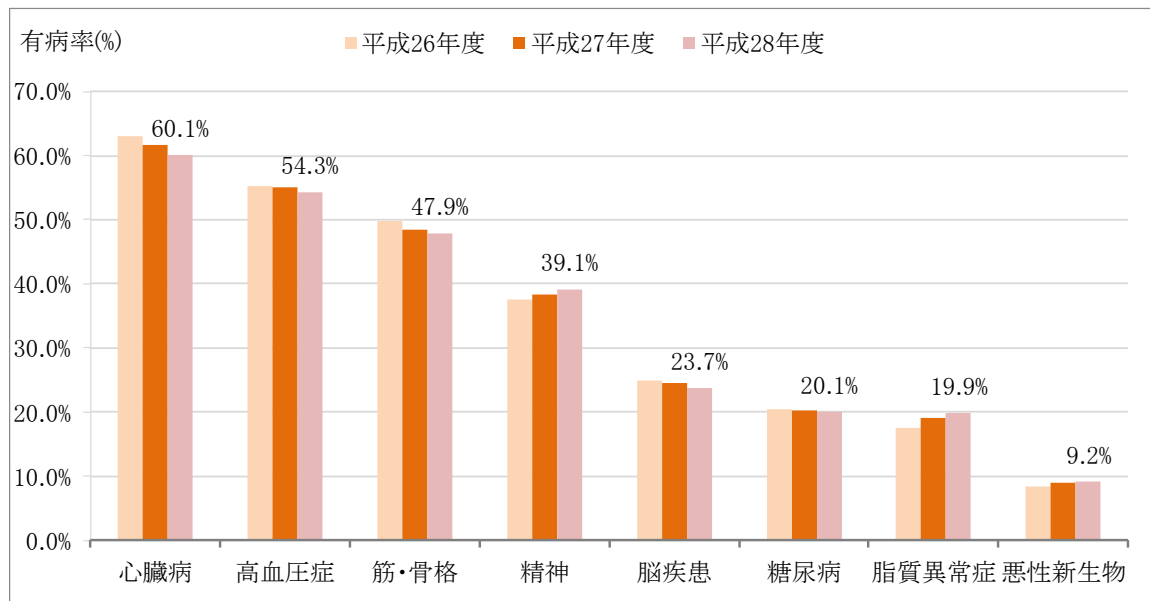
本町の平成26年度から平成28年度における、認定者の疾病別有病率を年度別に示す。平成28年度の認定者が有している平均疾病数2.8疾病は、平成26年度、平成27年度も2.8疾病で変わらない状況である。

年度別 認定者の疾病別有病状況 ※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

区分		利根町						県			国		
		平成26 年度	順位	平成27 年度	順位	平成28 年度	順位	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度
認定者数(人)		686		711		739		118,329	122,073	125,310	5,324,880	5,751,982	6,037,083
心臓病	実人数(人)	430		446		440		71,637	74,328	76,051	2,914,608	3,261,576	3,529,682
	有病率(%)	63.0%	1	61.6%	1	60.1%	1	60.2%	60.4%	60.2%	54.8%	56.7%	58.0%
高血圧症	実人数(人)	389		400		402		63,832	66,288	67,924	2,551,660	2,865,466	3,101,200
	有病率(%)	55.3%	2	55.1%	2	54.3%	2	53.5%	53.9%	53.7%	47.9%	49.7%	50.9%
筋・骨格	実人数(人)	343		357		367		59,387	62,167	64,311	2,505,146	2,813,795	3,067,196
	有病率(%)	49.8%	3	48.5%	3	47.9%	3	49.9%	50.4%	50.7%	47.1%	48.9%	50.3%
精神	実人数(人)	271		283		293		39,795	41,764	43,508	1,720,172	1,963,213	2,154,214
	有病率(%)	37.5%	4	38.4%	4	39.1%	4	33.4%	33.8%	34.0%	32.2%	33.8%	35.2%
脳疾患	実人数(人)	176		186		176		33,934	34,505	34,670	1,324,669	1,455,985	1,538,683
	有病率(%)	24.9%	5	24.6%	5	23.7%	5	28.8%	28.3%	27.6%	25.2%	25.4%	25.5%
糖尿病	実人数(人)	147		141		152		26,068	27,404	28,379	1,089,285	1,241,024	1,350,152
	有病率(%)	20.4%	6	20.2%	6	20.1%	6	21.9%	22.1%	22.3%	20.3%	21.4%	22.1%
脂質異常症	実人数(人)	123		140		152		30,322	31,857	33,615	1,386,541	1,586,963	1,741,866
	有病率(%)	17.6%	7	19.1%	7	19.9%	6	25.0%	25.8%	26.3%	25.7%	27.3%	28.4%
悪性新生物	実人数(人)	60		62		74		11,498	12,103	12,783	493,808	569,967	631,950
	有病率(%)	8.4%	8	8.9%	8	9.2%	8	9.5%	9.8%	10.0%	9.2%	9.8%	10.3%
合計	実人数(人)	1,939		2,015		2,056		336,473	350,416	361,241	13,985,889	15,757,989	17,114,943
	有病数	2.8		2.8		2.8		2.8	2.9	2.9	2.6	2.7	2.8

出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定者の疾病別有病率



出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

(5) 主たる死因の状況

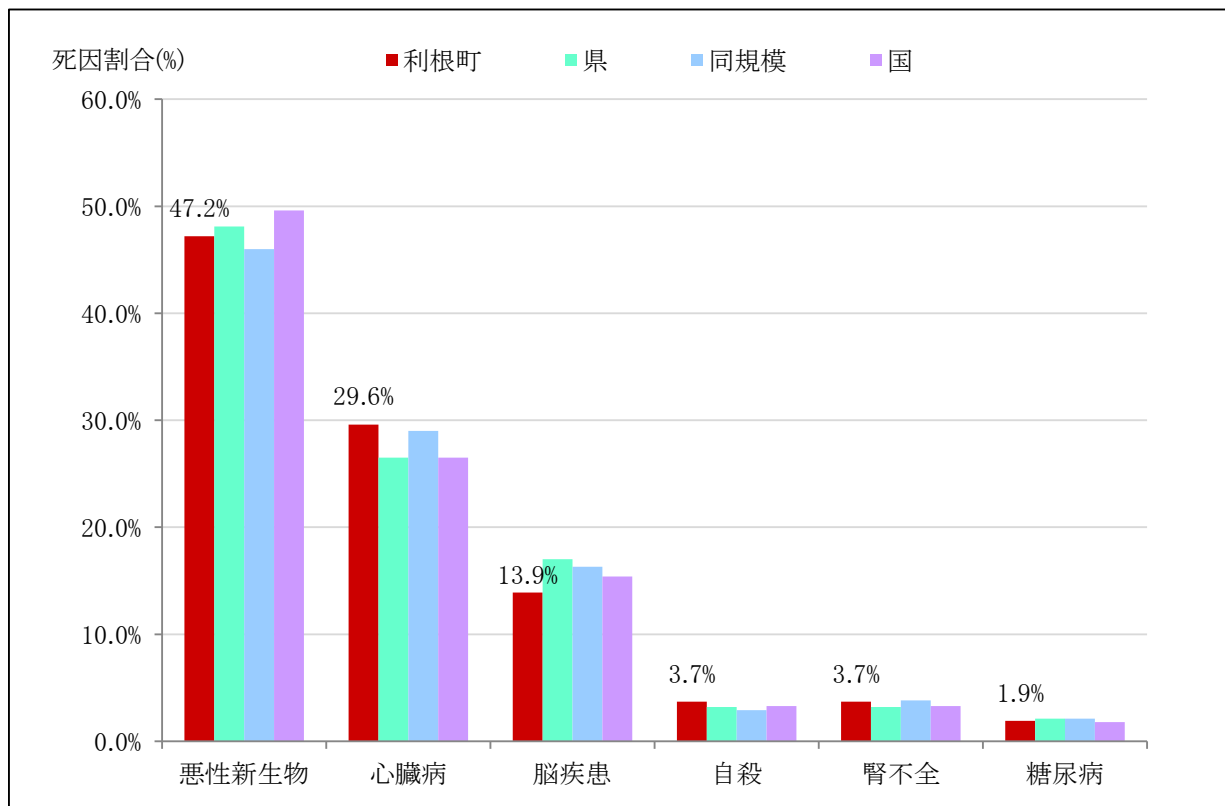
本町の平成28年度における、主たる死因の状況を以下に示す。心臓病と自殺が県・同規模・国より高く、腎不全の割合も県・国より高い状況である。

主たる死因の状況(平成28年度)

疾病項目	利根町		県	同規模	国
	人数(人)	割合(%)			
悪性新生物	51	47.2%	48.1%	46.0%	49.6%
心臓病	32	29.6%	26.5%	29.0%	26.5%
脳疾患	15	13.9%	17.0%	16.3%	15.4%
自殺	4	3.7%	3.2%	2.9%	3.3%
腎不全	4	3.7%	3.2%	3.8%	3.3%
糖尿病	2	1.9%	2.1%	2.1%	1.8%
合計	108				

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

主たる死因の割合(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

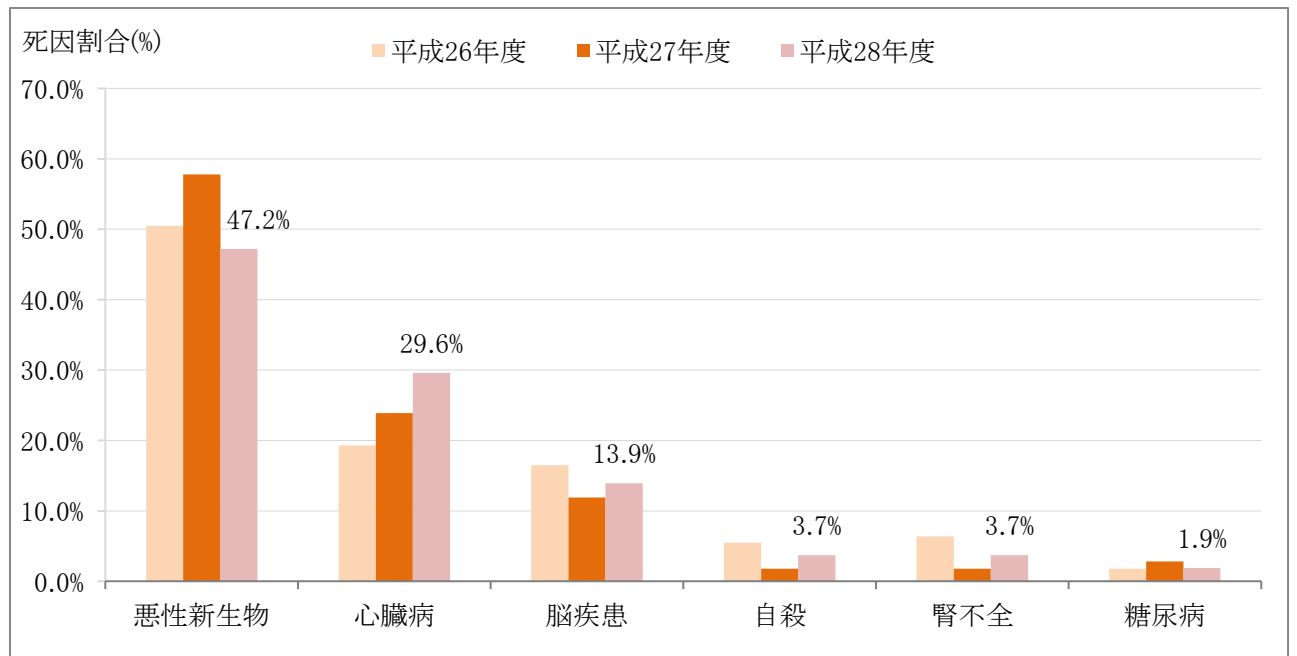
本町の平成26年度から平成28年度における、主たる死因の状況を年度別に示す。平成28年度を平成26年度と比較すると、悪性新生物を死因とする人数51人は平成26年度55人より4人減少しており、心臓病を死因とする人数32人は平成26年度21人より11人増加している。また、脳疾患を死因とする人数15人は平成26年度18人より3人減少している。

年度別 主たる死因の状況

疾病項目	利根町						県			同規模			国		
	人数(人)			割合(%)											
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
悪性新生物	55	63	51	50.5%	57.8%	47.2%	45.8%	46.8%	48.1%	45.6%	45.0%	46.0%	48.3%	49.0%	49.6%
心臓病	21	26	32	19.3%	23.9%	29.6%	27.4%	26.4%	26.5%	28.1%	28.4%	29.0%	26.6%	26.4%	26.5%
脳疾患	18	13	15	16.5%	11.9%	13.9%	17.8%	18.1%	17.0%	17.8%	17.4%	16.3%	16.3%	15.9%	15.4%
自殺	6	2	4	5.5%	1.8%	3.7%	3.4%	3.4%	3.2%	3.0%	3.3%	2.9%	3.5%	3.5%	3.3%
腎不全	7	2	4	6.4%	1.8%	3.7%	3.3%	3.1%	3.2%	3.6%	3.8%	3.8%	3.4%	3.4%	3.3%
糖尿病	2	3	2	1.8%	2.8%	1.9%	2.3%	2.1%	2.1%	1.9%	2.0%	2.1%	1.9%	1.9%	1.8%
合計	109	109	108												

出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 主たる死因の割合



出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

(6) 死亡数及び標準化死亡比

2010年から2014年の本市の標準化死亡比を以下に示す。総死亡率は全国並みである。

男性の死亡数及び標準化死亡比（2010年～2014年）

	全死因	悪性新生物	胃の悪性新生物	結腸及び直腸の悪性新生物	肝及び肝内胆管の悪性新生物	気管、気管支及び肺の悪性新生物	糖尿病	(高血圧性を除く)心疾患	急性心筋梗塞	脳血管疾患	くも膜下出血	脳内出血	脳梗塞	腎不全
標準化死亡比※1	0.93	0.96	1.00	1.27	1.06	0.65	1.10	0.70	0.53	0.93	0.99	1.05	0.78	0.77
死亡数	491	179	28	28	19	29	7	51	10	43	4	16	20	7
期待死亡数※2	529.3	186.4	28.1	22.1	17.9	44.7	6.4	73.2	19.0	46.2	4.0	15.3	25.8	9.1
期待死亡数との差	-38.3	-7.4	-0.1	5.9	1.1	-15.7	0.6	-22.2	-9.0	-3.2	0.0	0.7	-5.8	-2.1
全国に比べて有意に高い※3														
全国に比べて有意に低い※4						○		○	○					

女性の死亡数及び標準化死亡比（2010年～2014年）

	全死因	悪性新生物	胃の悪性新生物	結腸及び直腸の悪性新生物	肝及び肝内胆管の悪性新生物	気管、気管支及び肺の悪性新生物	乳房の悪性新生物	子宮の悪性新生物	糖尿病	(高血圧性を除く)心疾患	急性心筋梗塞	脳血管疾患	くも膜下出血	脳内出血	脳梗塞	腎不全
標準化死亡比※1	0.99	0.93	1.24	0.85	1.11	0.63	0.57	0.83	1.01	1.06	1.12	0.89	0.64	1.27	0.76	1.41
死亡数	433	106	16	14	9	10	6	4	5	79	15	40	4	14	20	13
期待死亡数※2	435.5	113.4	12.9	16.5	8.1	15.8	10.5	4.8	4.9	74.3	13.4	44.8	6.2	11.1	26.4	9.2
期待死亡数との差	-2.5	-7.4	3.1	-2.5	0.9	-5.8	-4.5	-0.8	0.1	4.7	1.6	-4.8	-2.2	2.9	-6.4	3.8
全国に比べて有意に高い※3																
全国に比べて有意に低い※4																

出典：茨城県立健康プラザ「平成29年茨城県市町村別健康指標」

※1 標準化死亡比…標準とする集団（全国）に比べ、どのくらい高いかを示す比率。全国を1とし、その比が1より大きい場合は全国平均よりも死亡率が高く、1より小さい場合は全国平均よりも死亡率が低いことを意味する。

※2 期待死亡数…公衆衛生学上の専門用語で、全国と同じ死亡率なら何人死亡するはずか以下の計算式で求めたもの。

(期待死亡数) = (年齢階層別全国死亡率) × (年齢階層別市町村の人口) の総和

※3、4 有意に…統計学上、偶然ではない（何らかの原因が存在する）可能性が高いと推測されるという意味。

2. 過去の取り組みの振り返りと評価

第1期データヘルス計画に基づき実施した各事業についての達成状況を以下に示す。

なお、評価は、5:目標達成、4:改善している、3:横ばい、2:悪化している、1:評価できない、の5段階で評価する。

事業名			事業目的	対象者	実施方法
発症予防	検(健)診	特定健康診査 (保険年金課)	生活習慣病の早期発見 や発症予防	国民健康保険被保険者 (40歳以上)	個別健診・集団健診
		人間・脳ドック補助 (保険年金課)	生活習慣病の早期発見 や発症予防	国民健康保険被保険者 (40歳以上)	人間ドック20,000円、脳 ドック27,000円を補助。い ずれも検査項目に特定健康 診査の項目を含む。
		集団検診 乳がん・子宮がん・胃がん 大腸がん・結核、肺がん検診 (保健福祉センター)	検診対象のがん、およ び結核の早期発見、早 期治療へつなげる 特定健康診査の受診率 向上	各検診対象者	乳がん・子宮がん検診は、 それぞれ単独実施。 胃がん・大腸がん検診は、 同時実施。 結核、肺がん検診は、特定 健康診査(前期)と同日実施。
		医療機関健診(個別) 乳がん・子宮がん (保健福祉センター)	検診対象のがんの早期 発見、早期治療へつな げる	各検診対象者	契約医療機関にて実施。対 象者には受診券発行。
	ハイ リス ク	特定保健指導 (保険年金課、 保健福祉センター)	生活習慣病の発症予防 や重症化予防	保健指導該当者	特定健康診査において、メ タボ該当者に保健指導を実 施。
		特定健康診査未受診者 受診勧奨通知 (保険年金課)	特定健康診査受診率の 向上	特定健康診査未受診者	特定健康診査未受診者に対 し、受診勧奨通知を送付。

5:目標達成
4:改善している
3:横ばい
2:悪化している
1:評価できない

平成27年度	平成28年度	平成29年度	アウトプット (事業量目標)	アウトカム (成果目標)	達成状況	評価
継続	継続	継続	特定健康診査受診人数	参加者の健康維持	・特定健康診査受診人数 平成26年度 2,099人 平成27年度 2,148人	3
継続	継続	継続	人間・脳ドック受診人数	参加者の健康維持	・人間ドック, 脳ドック受診人数 平成26年度 304人 平成27年度 311人 平成28年度 313	3
継続	継続	継続	検診受診人数	参加者の健康維持	・がん検診受診者数及び受診率 乳がん検診 H26 367人 7.7% H27 452人 9.5% H28 473人 9.9% 子宮がん検診 H26 379人 8.4% H27 436人 9.7% H28 427人 9.5% 胃がん検診 H26 269人 4.0% H27 300人 4.5% H28 330人 4.9% 大腸がん検診 H26 618人 9.2% H27 677人 10.1% H28 686人 10.3% 肺がん検診 H26 2271人 33.9% H27 2433人 36.3% H28 2359人 35.2%	4
継続	継続	継続	面接人数、訪問人数	保健指導完了者人数、実施率	・積極的支援完了者数及び実施率 平成26年度 19人 28.4% 平成27年度 14人 24.6% ・動機付け支援完了者数及び実施率 平成26年度 138人 52.9% 平成27年度 135人 52.1%	3
継続	継続	継続	通知者の特定健康診査受診	特定健康診査受診率	・特定健康診査受診率 平成26年度 44.8% 平成27年度 47.0%	4

事業名			事業目的	対象者	実施方法
発症予防	ポピュレーション	特定健康診査結果相談会 (保健福祉センター)	町民の健康増進	特定健康診査受診者	特定健康診査実施後、希望者に保健指導を実施。
		ヘルシー相談 (保健福祉センター)	町民の健康増進	町民	管理栄養士、保健師による健康相談を実施。
		ヘルシー若返り講座 (保健福祉センター)	町民の健康増進	町民	高血糖、脂質異常症予防など、テーマに沿った健康教室を実施。 管理栄養士、保健師、運動講師等により実施。
		出前講座 (保健福祉センター)	町民の健康増進	町民	団体の要請により、保健師による健康教室を実施。
		食生活改善推進員による 食生活改善推進事業 (保健福祉センター)	町民の健康増進	町民	健康づくり普及事業、食育の推進。
重症化予防		高血糖、脂質異常症、高血圧者への個別指導、受療勧奨 (保健福祉センター)	生活習慣病の重症化予防	町民のうち個別指導、受療勧奨対象者	高血糖、脂質異常症、高血圧などの者が、要治療であるが未治療の者に対して個別に保健指導を実施し、受療勧奨を行う。
医療費適正化		重複・頻回受診者訪問指導 (保険年金課、保健福祉センター)	国民健康保険財政の健全化	国民健康保険被保険者	国民健康保険職員と保健師が対象者の家庭に訪問し、服薬や生活上のアドバイスを行う。
		ジェネリック差額通知 (保険年金課)	国民健康保険財政の改善	国民健康保険被保険者	医療費削減効果の高い被保険者を対象とし実施。安定供給が可能なメーカーの医薬品に限定し通知を送付。

5:目標達成
4:改善している
3:横ばい
2:悪化している
1:評価できない

平成27年度	平成28年度	平成29年度	アウトプット (事業量目標)	アウトカム (成果目標)	達成状況	評価
継続	継続	継続	参加者人数	参加者の相談内容の理解(問診による)	平成26年度ヘルシー若返り講座参加者 血圧が改善 10人 (77%) 変化なし 1人 (8%) 悪化 2人 (15%) 平均降圧値 9mmHg *講座初回参加時と終了時との比較	4
継続	継続	継続	参加者人数	参加者の相談内容の理解(問診による)		
継続 見直し検討会	実施	継続	参加者人数	参加者のうち、生活(栄養や運動)が改善した者の数(アンケートによる)		
継続	継続	継続	参加者人数	参加者の健康維持		
継続	継続	継続	参加者人数	参加者の健康維持		
検討会	実施(新規)	継続	対象者の面接人数、訪問人数	対象疾患(症状)の軽減 (次年度の健診結果)	未実施 平成29年度より実施	1
継続	継続	継続	訪問後の受診状況の改善	訪問後の受診状況の改善	・訪問後の受診状況の改善率 平成28年度 75.0%	5
継続	継続	継続	通知者のジェネリック医薬品利用	ジェネリック医薬品利用率	・ジェネリック医薬品普及率 (数量ベース) 平成28年4月診療分 70.7% 平成29年3月診療分 73.7%	4

3. 医療情報分析結果

(1) 基礎統計

当医療費統計は、利根町国民健康保険における、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし分析する。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下の通りである。被保険者数は平均5,969人、レセプト件数は平均6,802件、患者数は平均3,019人となった。また、患者一人当たりの医療費は平均48,425円となった。

基礎統計

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月
A	被保険者数(人)	6,225	6,114	6,069	6,025	5,972	5,968	5,988
B	レセプト件数(件)	入院外	4,420	4,205	4,258	4,394	4,163	4,108
		入院	96	111	97	100	112	109
		調剤	2,649	2,520	2,537	2,588	2,454	2,466
		合計	7,165	6,836	6,892	7,082	6,729	6,683
C	医療費(円) ※	146,570,520	141,246,430	156,454,400	145,008,490	148,996,330	149,573,210	150,272,440
D	患者数(人) ※	3,167	3,028	3,053	3,094	3,019	2,987	3,027
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	23,545	23,102	25,779	24,068	24,949	25,063	25,096
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	20,456	20,662	22,701	20,476	22,142	22,381	21,769
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	46,281	46,647	51,246	46,868	49,353	50,075	49,644
B/A	受診率(%)	115.1%	111.8%	113.6%	117.5%	112.7%	112.0%	115.3%
D/A	有病率(%)	50.9%	49.5%	50.3%	51.4%	50.6%	50.1%	50.6%

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計
A	被保険者数(人)	5,922	5,879	5,856	5,814	5,795	5,969	
B	レセプト件数(件)	入院外	4,153	4,248	4,042	3,987	4,087	4,193
		入院	114	104	95	99	87	103
		調剤	2,409	2,584	2,410	2,427	2,485	2,506
		合計	6,676	6,936	6,547	6,513	6,659	6,802
C	医療費(円) ※	144,519,570	151,845,750	143,059,700	137,989,560	138,626,850	146,180,271	1,754,163,250
D	患者数(人) ※	2,995	3,042	2,933	2,923	2,956	3,019	36,224
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	24,404	25,828	24,430	23,734	23,922	24,490	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	21,648	21,892	21,851	21,187	20,818	21,492	
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	48,254	49,916	48,776	47,208	46,897	48,425	
B/A	受診率(%)	112.7%	118.0%	111.8%	112.0%	114.9%	114.0%	
D/A	有病率(%)	50.6%	51.7%	50.1%	50.3%	51.0%	50.6%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍に示す。

※患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

(2) 高額レセプトの件数及び医療費

① 高額レセプトの件数及び割合

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下の通り集計した。高額レセプトは528件発生しており、レセプト件数全体の0.6%を占める。高額レセプトの医療費は5億3,040万円となり、医療費全体の30.2%を占める。

高額レセプトの件数及び医療費

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月
A	レセプト件数(件)	7,165	6,836	6,892	7,082	6,729	6,683	6,903
B	高額レセプト件数(件)	38	37	50	36	45	46	45
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.5%	0.5%	0.7%	0.5%	0.7%	0.7%	0.7%
C	医療費(円) ※	146,570,520	141,246,430	156,454,400	145,008,490	148,996,330	149,573,210	150,272,440
D	高額レセプトの医療費(円) ※	40,205,500	37,896,890	56,483,350	40,478,180	43,712,700	48,252,420	45,879,250
E	その他レセプトの医療費(円) ※	106,365,020	103,349,540	99,971,050	104,530,310	105,283,630	101,320,790	104,393,190
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	27.4%	26.8%	36.1%	27.9%	29.3%	32.3%	30.5%

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数(件)	6,676	6,936	6,547	6,513	6,659	6,802	81,621
B	高額レセプト件数(件)	44	47	52	49	39	44	528
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.7%	0.7%	0.8%	0.8%	0.6%	0.6%	
C	医療費(円) ※	144,519,570	151,845,750	143,059,700	137,989,560	138,626,850	146,180,271	1,754,163,250
D	高額レセプトの医療費(円) ※	41,150,880	46,104,900	49,295,140	42,064,190	38,875,560	44,199,913	530,398,960
E	その他レセプトの医療費(円) ※	103,368,690	105,740,850	93,764,560	95,925,370	99,751,290	101,980,358	1,223,764,290
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	28.5%	30.4%	34.5%	30.5%	28.0%	30.2%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

②高額レセプト発生患者の疾病傾向

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、高額レセプト発生患者の疾病傾向を示す。高額レセプト発生患者の分析対象期間の全レセプトを医療費分解後、最も医療費がかかっている疾病を主要傷病名と定義し、対象者の全医療費を集計した。患者一人当たりの医療費が高額な疾病は、「腎不全」「てんかん」「喘息」等となった。

高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	1402	腎不全	慢性腎不全, 急性腎不全	8	31,993,600	22,769,230	54,762,830	6,845,354
2	0603	てんかん	てんかん	1	6,327,000	0	6,327,000	6,327,000
3	1010	喘息	気管支喘息	1	5,629,380	334,940	5,964,320	5,964,320
4	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 下葉肺癌, 肺癌	16	42,377,910	48,109,390	90,487,300	5,655,456
5	0905	脳内出血	脳出血, 脳動静脈奇形破裂による脳出血	2	9,788,610	371,010	10,159,620	5,079,810
6	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	多発性骨髄腫, 膵頭部癌, 卵巣癌	27	74,916,730	45,165,990	120,082,720	4,447,508
7	1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	尋常性乾癬	1	0	4,035,780	4,035,780	4,035,780
8	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌, 直腸カルチノイド	5	9,190,840	10,874,590	20,065,430	4,013,086
9	1112	脾疾患	アルコール性急性脾炎	1	3,435,250	493,800	3,929,050	3,929,050
10	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎	8	1,449,750	29,634,870	31,084,620	3,885,578
11	0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	1	3,368,730	486,350	3,855,080	3,855,080
12	0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫, マントル細胞リンパ腫, 濾胞性リンパ腫・グレード2	6	8,112,180	14,800,090	22,912,270	3,818,712
13	0906	脳梗塞	脳梗塞, 脳幹梗塞・急性期, アテローム血栓性脳梗塞	7	20,280,160	2,152,990	22,433,150	3,204,736
14	1302	関節症	変形性膝関節症, 変形性股関節症, 形成不全性股関節症	9	21,966,270	4,966,580	26,932,850	2,992,539
15	0605	自律神経系の障害	多系統萎縮症	1	1,933,150	776,470	2,709,620	2,709,620
16	1109	肝硬変(アルコール性のものを除く)	肝硬変症	2	4,687,860	694,020	5,381,880	2,690,940
17	1904	中毒	急性薬物中毒	1	1,700,100	952,700	2,652,800	2,652,800
18	1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ・膝関節	1	1,419,780	1,200,370	2,620,150	2,620,150
19	1901	骨折	歯突起骨折, 上腕骨外科頸骨折, 脛骨高原骨折	6	13,425,340	2,251,650	15,676,990	2,612,832
20	0903	その他の心疾患	非弁膜症性心房細動, 完全房室ブロック, うっ血性心不全	13	27,153,530	6,804,440	33,957,970	2,612,152

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の疾病傾向を患者数順に示す。患者数が多い疾病は「その他の悪性新生物＜腫瘍＞」「気管，気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞」「虚血性心疾患」である。

高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0210	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	多発性骨髄腫，膵頭部癌，卵巣癌	27	74,916,730	45,165,990	120,082,720	4,447,508
2	0205	気管，気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	上葉肺癌，下葉肺癌，肺癌	16	42,377,910	48,109,390	90,487,300	5,655,456
3	0902	虚血性心疾患	労作性狭心症，狭心症，陳旧性心筋梗塞	13	22,096,830	5,686,330	27,783,160	2,137,166
3	0903	その他の心疾患	非弁膜症性心房細動，完全房室ブロック，うっ血性心不全	13	27,153,530	6,804,440	33,957,970	2,612,152
5	0211	良性新生物＜腫瘍＞及びその他の新生物＜腫瘍＞	卵巣良性腫瘍，骨髄異形成症候群，蝶形骨核髄膜腫	10	9,764,200	6,243,650	16,007,850	1,600,785
6	1302	関節症	変形性膝関節症，変形性股関節症，形成不全性股関節症	9	21,966,270	4,966,580	26,932,850	2,992,539
6	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症，頰椎症性脊髄症	9	14,234,740	3,099,570	17,334,310	1,926,034
8	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎，C型肝炎	8	1,449,750	29,634,870	31,084,620	3,885,578
8	0202	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	S状結腸癌，上行結腸癌，下行結腸癌	8	9,440,770	10,106,760	19,547,530	2,443,441
8	1011	その他の呼吸器系の疾患	肺膿瘍，誤嚥性肺炎，喉頭狭窄症	8	10,534,870	3,223,580	13,758,450	1,719,806
8	1402	腎不全	慢性腎不全，急性腎不全	8	31,993,600	22,769,230	54,762,830	6,845,354
12	0201	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	早期胃癌，胃癌，胃体部癌	7	10,926,960	2,893,760	13,820,720	1,974,389
12	0206	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	乳癌，乳房上外側部乳癌，乳房下内側部乳癌	7	7,235,040	4,675,860	11,910,900	1,701,557
12	0906	脳梗塞	脳梗塞，脳幹梗塞・急性期，アテローム血栓性脳梗塞	7	20,280,160	2,152,990	22,433,150	3,204,736
12	1113	その他の消化器系の疾患	急性虫垂炎，潰瘍性大腸炎・全大腸炎型，閉塞性黄疸	7	7,574,850	637,360	8,212,210	1,173,173
16	0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫，マントル細胞リンパ腫，濾胞性リンパ腫・グレード2	6	8,112,180	14,800,090	22,912,270	3,818,712
16	1111	胆石症及び胆のう炎	総胆管結石性胆管炎，総胆管結石	6	8,755,800	1,968,030	10,723,830	1,787,305
16	1901	骨折	歯突起骨折，上腕骨外科頸骨折，脛骨高原骨折	6	13,425,340	2,251,650	15,676,990	2,612,832
19	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	直腸癌，直腸カルチノイド	5	9,190,840	10,874,590	20,065,430	4,013,086
19	0207	子宮の悪性新生物＜腫瘍＞	子宮体癌，子宮癌肉腫，子宮頸内膜腺癌	5	10,286,090	1,347,930	11,634,020	2,326,804

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…毎月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

(3) 疾病別医療費

①大分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費、レセプト件数、患者数を算出した。「新生物＜腫瘍＞」が医療費合計の20.5%、「循環器系の疾患」は医療費合計の14.5%と高い割合を占めている。

大分類による疾病別医療費統計 ※各項目毎に上位5疾病を

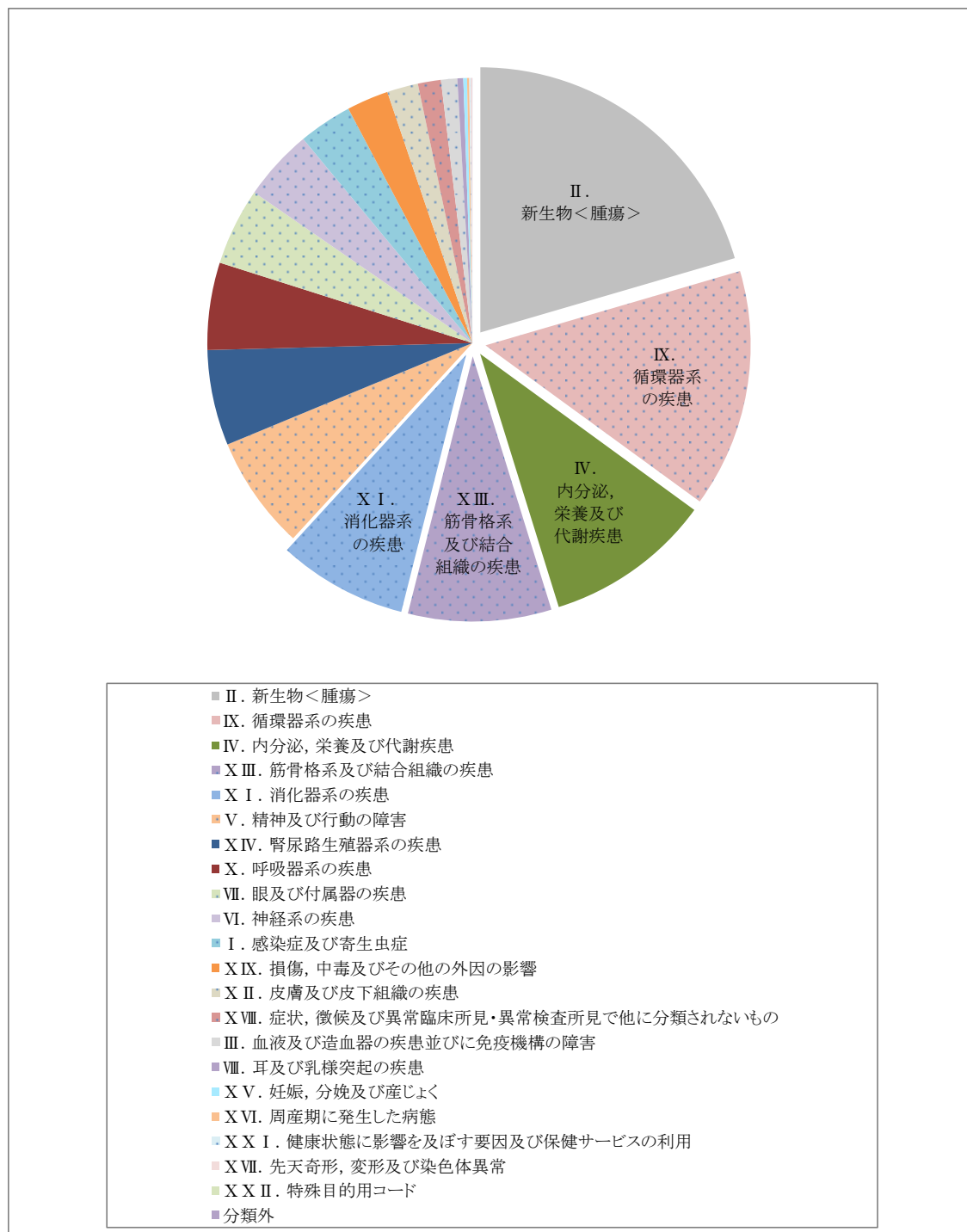
 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	57,244,861	3.3%	11	5,901	13	1,517	10	37,736	13
II. 新生物＜腫瘍＞	358,570,157	20.5%	1	6,412	11	1,599	7	224,247	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	17,317,086	1.0%	15	1,976	16	530	15	32,674	14
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	178,293,142	10.2%	3	25,697	2	2,651	3	67,255	7
V. 精神及び行動の障害	121,325,648	6.9%	6	7,670	8	706	14	171,849	3
VI. 神経系の疾患	76,411,442	4.4%	10	12,515	6	1,278	11	59,790	9
VII. 眼及び付属器の疾患	82,562,010	4.7%	9	8,907	7	2,087	6	39,560	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	6,281,295	0.4%	16	1,779	17	502	16	12,513	19
IX. 循環器系の疾患	254,638,853	14.5%	2	29,371	1	2,621	4	97,153	5
X. 呼吸器系の疾患	93,206,209	5.3%	8	15,064	5	2,903	1	32,107	15
X I. 消化器系の疾患 ※	138,092,904	7.9%	5	23,040	3	2,836	2	48,693	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	33,212,331	1.9%	13	7,666	9	1,565	8	21,222	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	152,882,360	8.7%	4	19,330	4	2,352	5	65,001	8
X IV. 腎尿路生殖系系の疾患	102,025,147	5.8%	7	6,410	12	1,153	12	88,487	6
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	3,960,934	0.2%	17	90	20	24	20	165,039	4
X VI. 周産期に発生した病態 ※	2,319,978	0.1%	18	21	21	9	21	257,775	1
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	1,514,076	0.1%	20	245	18	79	18	19,166	17
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	24,627,590	1.4%	14	7,117	10	1,560	9	15,787	18
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	44,635,194	2.5%	12	3,492	14	1,032	13	43,251	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,599,350	0.1%	19	2,515	15	453	17	3,531	21
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	214,623	0.0%	21	228	19	58	19	3,700	20
合計	1,750,935,190			81,247		5,291		330,927	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…AB0因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

疾病項目別医療費割合は、「新生物＜腫瘍＞」「循環器系の疾患」「内分泌，栄養及び代謝疾患」「筋骨格系及び結合組織の疾患」「消化器系の疾患」の医療費で高い割合を占める。

疾病項目別医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
 資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。
 株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
 消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

②中分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示す。

中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	138,190,834	7.9%	711
2	0402	糖尿病	97,508,343	5.6%	1,969
3	0901	高血圧性疾患	90,639,848	5.2%	2,043
4	0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	79,975,944	4.6%	206
5	1113	その他の消化器系の疾患	70,644,109	4.0%	1,721
6	0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	70,283,034	4.0%	198
7	1402	腎不全	68,317,434	3.9%	98
8	0903	その他の心疾患	60,939,518	3.5%	865
9	0403	脂質異常症	52,878,227	3.0%	1,332
10	0704	その他の眼及び付属器の疾患	47,505,556	2.7%	1,508

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	90,639,848	2,043	38.6%
2	0402	糖尿病	97,508,343	1,969	37.2%
3	1105	胃炎及び十二指腸炎	21,464,847	1,740	32.9%
4	1113	その他の消化器系の疾患	70,644,109	1,721	32.5%
5	0703	屈折及び調節の障害	5,698,887	1,676	31.7%
6	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	24,627,590	1,560	29.5%
7	0704	その他の眼及び付属器の疾患	47,505,556	1,508	28.5%
8	1003	その他の急性上気道感染症	8,796,901	1,411	26.7%
9	1006	アレルギー性鼻炎	14,724,761	1,391	26.3%
10	0403	脂質異常症	52,878,227	1,332	25.2%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	1402 腎不全	68,317,434	98	697,117
2	0208 悪性リンパ腫	20,480,163	38	538,952
3	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	79,975,944	206	388,233
4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	70,283,034	198	354,965
5	1602 その他の周産期に発生した病態	1,753,357	5	350,671
6	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	17,422,060	58	300,380
7	1504 その他の妊娠, 分娩及び産じょく	3,731,173	17	219,481
8	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	3,198,344	15	213,223
9	0506 知的障害<精神遅滞>	1,485,456	7	212,208
10	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	138,190,834	711	194,361

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別医療費統計(全項目)

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)			レセプト件数 ※			患者数 ※		
	1,750,935,190			81,247			5,291		

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	57,244,861	3.3%		5,901	7.3%		1,517	28.7%		37,736	
0101 腸管感染症	2,819,643	0.2%	78	1,034	1.3%	54	373	7.0%	41	7,559	102
0102 結核	687,746	0.0%	100	151	0.2%	99	62	1.2%	90	11,093	90
0103 主として性的伝播様式をとる感染症	903,221	0.1%	97	311	0.4%	83	148	2.8%	70	6,103	108
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	5,201,219	0.3%	65	1,131	1.4%	49	336	6.4%	46	15,480	78
0105 ウイルス性肝炎	34,433,143	2.0%	14	834	1.0%	61	252	4.8%	53	136,639	16
0106 その他のウイルス性疾患	250,556	0.0%	109	136	0.2%	101	75	1.4%	86	3,341	119
0107 真菌症	7,349,797	0.4%	55	1,780	2.2%	41	417	7.9%	37	17,625	73
0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	77,545	0.0%	116	50	0.1%	108	9	0.2%	111	8,616	97
0109 その他の感染症及び寄生虫症	5,521,991	0.3%	64	1,306	1.6%	48	414	7.8%	38	13,338	84
II. 新生物<腫瘍>	358,570,157	20.5%		6,412	7.9%		1,599	30.2%		224,247	
0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	20,338,460	1.2%	26	965	1.2%	58	376	7.1%	40	54,092	33
0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	22,930,125	1.3%	21	812	1.0%	62	320	6.0%	47	71,657	23
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	17,422,060	1.0%	35	213	0.3%	94	58	1.1%	93	300,380	6
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	3,439,986	0.2%	73	309	0.4%	84	98	1.9%	81	35,102	53
0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	79,975,944	4.6%	4	709	0.9%	65	206	3.9%	59	388,233	3
0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	17,888,338	1.0%	33	548	0.7%	72	113	2.1%	77	158,304	12
0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	9,060,111	0.5%	48	249	0.3%	88	107	2.0%	80	84,674	21
0208 悪性リンパ腫	20,480,163	1.2%	25	162	0.2%	97	38	0.7%	98	538,952	2
0209 白血病	678,690	0.0%	101	34	0.0%	110	14	0.3%	107	48,478	36
0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	138,190,834	7.9%	1	2,800	3.4%	30	711	13.4%	22	194,361	10
0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	28,165,446	1.6%	17	1,667	2.1%	43	681	12.9%	25	41,359	42
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	17,317,086	1.0%		1,976	2.4%		530	10.0%		32,674	
0301 貧血	8,850,053	0.5%	50	1,002	1.2%	56	247	4.7%	56	35,830	52
0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	8,467,033	0.5%	52	1,060	1.3%	52	356	6.7%	42	23,784	64
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	178,293,142	10.2%		25,697	31.6%		2,651	50.1%		67,255	
0401 甲状腺障害	9,023,027	0.5%	49	1,941	2.4%	40	495	9.4%	34	18,228	72
0402 糖尿病	97,508,343	5.6%	2	13,857	17.1%	3	1,969	37.2%	2	49,522	35
0403 脂質異常症	52,878,227	3.0%	9	15,036	18.5%	2	1,332	25.2%	10	39,698	45
0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	18,883,545	1.1%	30	4,718	5.8%	16	647	12.2%	27	29,186	55
V. 精神及び行動の障害	121,325,648	6.9%		7,670	9.4%		706	13.3%		171,849	
0501 血管性及び詳細不明の認知症	192,925	0.0%	112	18	0.0%	115	10	0.2%	110	19,293	70
0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	1,945,812	0.1%	82	158	0.2%	98	29	0.5%	100	67,097	28
0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	70,283,034	4.0%	6	2,876	3.5%	29	198	3.7%	60	354,965	4

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)			レセプト件数 ※			患者数 ※		
	1,750,935,190			81,247			5,291		

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	32,263,345	1.8%	15	3,853	4.7%	24	298	5.6%	48	108,266	19
0505 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	10,580,339	0.6%	43	3,575	4.4%	26	386	7.3%	39	27,410	59
0506 知的障害<精神遅滞>	1,485,456	0.1%	89	20	0.0%	112	7	0.1%	113	212,208	9
0507 その他の精神及び行動の障害	4,574,737	0.3%	68	444	0.5%	78	80	1.5%	84	57,184	31
VI. 神経系の疾患	76,411,442	4.4%		12,515	15.4%		1,278	24.2%		59,790	
0601 パーキンソン病	10,182,903	0.6%	44	868	1.1%	60	59	1.1%	91	172,592	11
0602 アルツハイマー病	4,869,992	0.3%	66	376	0.5%	80	38	0.7%	98	128,158	17
0603 てんかん	14,119,635	0.8%	37	1,370	1.7%	46	131	2.5%	72	107,783	20
0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	3,198,344	0.2%	76	110	0.1%	102	15	0.3%	106	213,223	8
0605 自律神経系の障害	1,591,492	0.1%	87	141	0.2%	100	22	0.4%	103	72,341	22
0606 その他の神経系の疾患	42,449,076	2.4%	11	11,066	13.6%	5	1,166	22.0%	11	36,406	50
VII. 眼及び付属器の疾患	82,562,010	4.7%		8,907	11.0%		2,087	39.4%		39,560	
0701 結膜炎	8,303,131	0.5%	53	4,227	5.2%	21	1,045	19.8%	13	7,946	101
0702 白内障	21,054,436	1.2%	24	3,705	4.6%	25	872	16.5%	16	24,145	62
0703 屈折及び調節の障害	5,698,887	0.3%	63	6,659	8.2%	9	1,676	31.7%	5	3,400	118
0704 その他の眼及び付属器の疾患	47,505,556	2.7%	10	6,853	8.4%	8	1,508	28.5%	7	31,502	54
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	6,281,295	0.4%		1,779	2.2%		502	9.5%		12,513	
0801 外耳炎	577,551	0.0%	104	514	0.6%	74	164	3.1%	68	3,522	116
0802 その他の外耳疾患	563,918	0.0%	106	285	0.4%	85	120	2.3%	75	4,699	111
0803 中耳炎	734,986	0.0%	98	371	0.5%	81	109	2.1%	79	6,743	105
0804 その他の中耳及び乳様突起の疾患	338,160	0.0%	108	209	0.3%	95	42	0.8%	97	8,051	100
0805 メニエール病	926,753	0.1%	96	186	0.2%	96	44	0.8%	96	21,063	69
0806 その他の内耳疾患	1,051,104	0.1%	94	226	0.3%	91	67	1.3%	89	15,688	77
0807 その他の耳疾患	2,088,823	0.1%	81	590	0.7%	70	198	3.7%	60	10,550	92
IX. 循環器系の疾患	254,638,853	14.5%		29,371	36.2%		2,621	49.5%		97,153	
0901 高血圧性疾患	90,639,848	5.2%	3	25,114	30.9%	1	2,043	38.6%	1	44,366	39
0902 虚血性心疾患	40,949,062	2.3%	12	4,608	5.7%	17	587	11.1%	29	69,760	26
0903 その他の心疾患	60,939,518	3.5%	8	5,302	6.5%	11	865	16.3%	17	70,450	24
0904 くも膜下出血	104,310	0.0%	114	23	0.0%	111	12	0.2%	108	8,693	96
0905 脳内出血	11,382,496	0.7%	42	256	0.3%	87	76	1.4%	85	149,770	13
0906 脳梗塞	23,214,177	1.3%	20	2,798	3.4%	31	351	6.6%	44	66,137	29
0907 脳動脈硬化(症)	30,604	0.0%	118	20	0.0%	112	2	0.0%	119	15,302	79
0908 その他の脳血管疾患	6,973,307	0.4%	57	561	0.7%	71	191	3.6%	63	36,509	48
0909 動脈硬化(症)	7,149,443	0.4%	56	940	1.2%	59	196	3.7%	62	36,477	49
0911 低血圧(症)	94,163	0.0%	115	61	0.1%	106	11	0.2%	109	8,560	98
0912 その他の循環器系の疾患	13,161,925	0.8%	39	1,715	2.1%	42	352	6.7%	43	37,392	47
X. 呼吸器系の疾患	93,206,209	5.3%		15,064	18.5%		2,903	54.9%		32,107	
1001 急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	673,639	0.0%	102	628	0.8%	68	277	5.2%	51	2,432	121
1002 急性咽頭炎及び急性扁桃炎	3,771,765	0.2%	70	2,191	2.7%	37	879	16.6%	14	4,291	112
1003 その他の急性上気道感染症	8,796,901	0.5%	51	4,106	5.1%	22	1,411	26.7%	8	6,235	107

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)			レセプト件数 ※			患者数 ※		
	1,750,935,190			81,247			5,291		

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
1004	肺炎	8,280,124	0.5%	54	690	0.8%	66	298	5.6%	48	27,786	58
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	4,205,765	0.2%	69	1,996	2.5%	39	770	14.6%	21	5,462	109
1006	アレルギー性鼻炎	14,724,761	0.8%	36	6,082	7.5%	10	1,391	26.3%	9	10,586	91
1007	慢性副鼻腔炎	3,240,404	0.2%	75	1,334	1.6%	47	279	5.3%	50	11,614	89
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	609,720	0.0%	103	259	0.3%	86	112	2.1%	78	5,444	110
1009	慢性閉塞性肺疾患	6,286,264	0.4%	60	1,561	1.9%	45	249	4.7%	55	25,246	60
1010	喘息	22,389,435	1.3%	22	3,442	4.2%	27	622	11.8%	28	35,996	51
1011	その他の呼吸器系の疾患	20,227,431	1.2%	27	2,220	2.7%	36	709	13.4%	23	28,530	56
X I . 消化器系の疾患		138,092,904	7.9%		23,040	28.4%		2,836	53.6%		48,693	
1101	う蝕 ※	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1102	歯肉炎及び歯周疾患	1,403	0.0%	122	2	0.0%	120	2	0.0%	119	702	122
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	25,598	0.0%	119	18	0.0%	115	6	0.1%	115	4,266	113
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	13,367,000	0.8%	38	4,269	5.3%	20	579	10.9%	30	23,086	67
1105	胃炎及び十二指腸炎	21,464,847	1.2%	23	10,665	13.1%	6	1,740	32.9%	3	12,336	86
1106	痔核	2,147,210	0.1%	80	515	0.6%	73	142	2.7%	71	15,121	80
1107	アルコール性肝疾患	1,378,331	0.1%	90	228	0.3%	89	29	0.5%	100	47,529	37
1108	慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	1,080,096	0.1%	93	442	0.5%	79	59	1.1%	91	18,307	71
1109	肝硬変(アルコール性のものを除く)	3,340,481	0.2%	74	354	0.4%	82	71	1.3%	88	47,049	38
1110	その他の肝疾患	6,407,962	0.4%	58	2,298	2.8%	35	546	10.3%	32	11,736	88
1111	胆石症及び胆のう炎	11,928,947	0.7%	41	725	0.9%	64	174	3.3%	66	68,557	27
1112	膵疾患	6,306,920	0.4%	59	447	0.6%	77	125	2.4%	73	50,455	34
1113	その他の消化器系の疾患	70,644,109	4.0%	5	13,255	16.3%	4	1,721	32.5%	4	41,048	43
X II . 皮膚及び皮下組織の疾患		33,212,331	1.9%		7,666	9.4%		1,565	29.6%		21,222	
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	1,707,718	0.1%	86	638	0.8%	67	211	4.0%	58	8,093	99
1202	皮膚炎及び湿疹	12,384,353	0.7%	40	4,953	6.1%	15	1,053	19.9%	12	11,761	87
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	19,120,260	1.1%	29	3,985	4.9%	23	824	15.6%	18	23,204	65
X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患		152,882,360	8.7%		19,330	23.8%		2,352	44.5%		65,001	
1301	炎症性多発性関節障害	18,203,268	1.0%	32	3,183	3.9%	28	435	8.2%	36	41,847	41
1302	関節症	38,376,685	2.2%	13	5,151	6.3%	12	685	12.9%	24	56,024	32
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	26,531,495	1.5%	18	4,965	6.1%	14	681	12.9%	25	38,960	46
1304	椎間板障害	2,866,099	0.2%	77	1,110	1.4%	50	168	3.2%	67	17,060	75
1305	頸腕症候群	1,237,319	0.1%	91	992	1.2%	57	188	3.6%	64	6,581	106
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	9,802,690	0.6%	47	5,028	6.2%	13	791	14.9%	20	12,393	85
1307	その他の脊柱障害	1,888,688	0.1%	83	1,003	1.2%	55	187	3.5%	65	10,100	93
1308	肩の傷害<損傷>	4,788,893	0.3%	67	2,157	2.7%	38	345	6.5%	45	13,881	83
1309	骨の密度及び構造の障害	29,012,407	1.7%	16	4,569	5.6%	18	504	9.5%	33	57,564	30
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	20,174,816	1.2%	28	4,550	5.6%	19	876	16.6%	15	23,031	68

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)			レセプト件数 ※			患者数 ※		
	1,750,935,190			81,247			5,291		

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	102,025,147	5.8%		6,410	7.9%		1,153	21.8%		88,487	
1401 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	6,244,993	0.4%	61	728	0.9%	63	157	3.0%	69	39,777	44
1402 腎不全	68,317,434	3.9%	7	1,058	1.3%	53	98	1.9%	81	697,117	1
1403 尿路結石症	1,145,439	0.1%	92	471	0.6%	76	119	2.2%	76	9,626	94
1404 その他の腎尿路系の疾患	9,881,258	0.6%	46	2,587	3.2%	32	576	10.9%	31	17,155	74
1405 前立腺肥大(症)	10,110,862	0.6%	45	1,629	2.0%	44	238	4.5%	57	42,483	40
1406 その他の男性生殖器の疾患	707,996	0.0%	99	100	0.1%	103	25	0.5%	102	28,320	57
1407 月経障害及び閉経周辺期障害	1,845,759	0.1%	84	502	0.6%	75	123	2.3%	74	15,006	81
1408 乳房及びその他の女性生殖器の疾患	3,771,406	0.2%	71	614	0.8%	69	261	4.9%	52	14,450	82
XV. 妊娠、分娩及び産じょく	3,960,934	0.2%		90	0.1%		24	0.5%		165,039	
1501 流産	225,701	0.0%	110	20	0.0%	112	9	0.2%	111	25,078	61
1502 妊娠高血圧症候群	4,060	0.0%	120	1	0.0%	121	1	0.0%	121	4,060	114
1503 単胎自然分娩	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1504 その他の妊娠、分娩及び産じょく	3,731,173	0.2%	72	73	0.1%	105	17	0.3%	105	219,481	7
XVI. 周産期に発生した病態	2,319,978	0.1%		21	0.0%		9	0.2%		257,775	
1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	566,621	0.0%	105	12	0.0%	118	4	0.1%	118	141,655	14
1602 その他の周産期に発生した病態	1,753,357	0.1%	85	9	0.0%	119	5	0.1%	117	350,671	5
XVII. 先天奇形、変形及び染色体異常	1,514,076	0.1%		245	0.3%		79	1.5%		19,166	
1701 心臓の先天奇形	976,584	0.1%	95	39	0.0%	109	7	0.1%	113	139,512	15
1702 その他の先天奇形、変形及び染色体異常	537,492	0.0%	107	217	0.3%	93	74	1.4%	87	7,263	104
XVIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	24,627,590	1.4%		7,117	8.8%		1,560	29.5%		15,787	
1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	24,627,590	1.4%	19	7,117	8.8%	7	1,560	29.5%	6	15,787	76
XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	44,635,194	2.5%		3,492	4.3%		1,032	19.5%		43,251	
1901 骨折	17,547,785	1.0%	34	1,065	1.3%	51	250	4.7%	54	70,191	25
1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	5,970,653	0.3%	62	89	0.1%	104	48	0.9%	95	124,389	18
1903 熱傷及び腐食	138,539	0.0%	113	51	0.1%	107	19	0.4%	104	7,292	103
1904 中毒	2,221,308	0.1%	79	218	0.3%	92	93	1.8%	83	23,885	63
1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	18,756,909	1.1%	31	2,469	3.0%	34	810	15.3%	19	23,157	66
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,599,350	0.1%		2,515	3.1%		453	8.6%		3,531	
2101 検査及び診査のための保健サービスの利用者	55,457	0.0%	117	14	0.0%	117	6	0.1%	115	9,243	95
2102 予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103 正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	2,500	0.0%	121	1	0.0%	121	1	0.0%	121	2,500	120
2104 歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	1,750,935,190	81,247	5,291

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
2105	特定の処置(歯の補てつを除く)及び保健ケアのための保健サービスの利用者	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	1,541,393	0.1%	88	2,500	3.1%	33	447	8.4%	35	3,448	117
X X II . 特殊目的用コード		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220	その他の特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
分類外		214,623	0.0%		228	0.3%		58	1.1%		3,700	
9999	分類外	214,623	0.0%	111	228	0.3%	89	58	1.1%	93	3,700	115

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

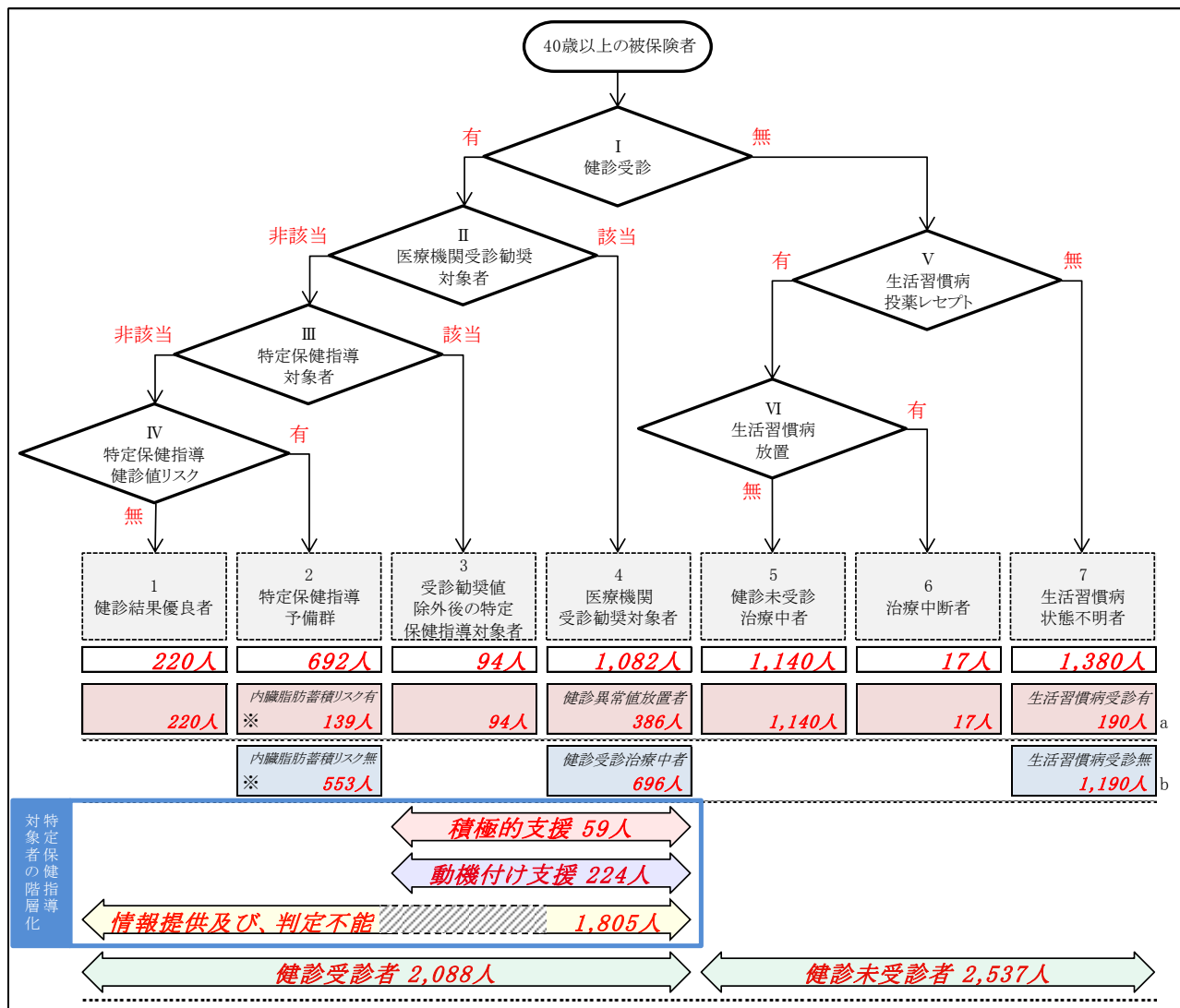
4. 保健事業実施に係る分析結果

(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析

特定健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。40歳以上の被保険者について、特定健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類し、分析結果を以下に示す。

左端の「1. 健診結果優良者」から「6. 治療中断者」まで順に健康状態が悪くなっており、「7. 生活習慣病状態不明者」は特定健康診査データ・レセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループである。

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

各フローの詳細については巻末資料「1.「指導対象者群分析」のグループ分けの見方」を参照。

※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

(2) 特定健康診査に係る分析

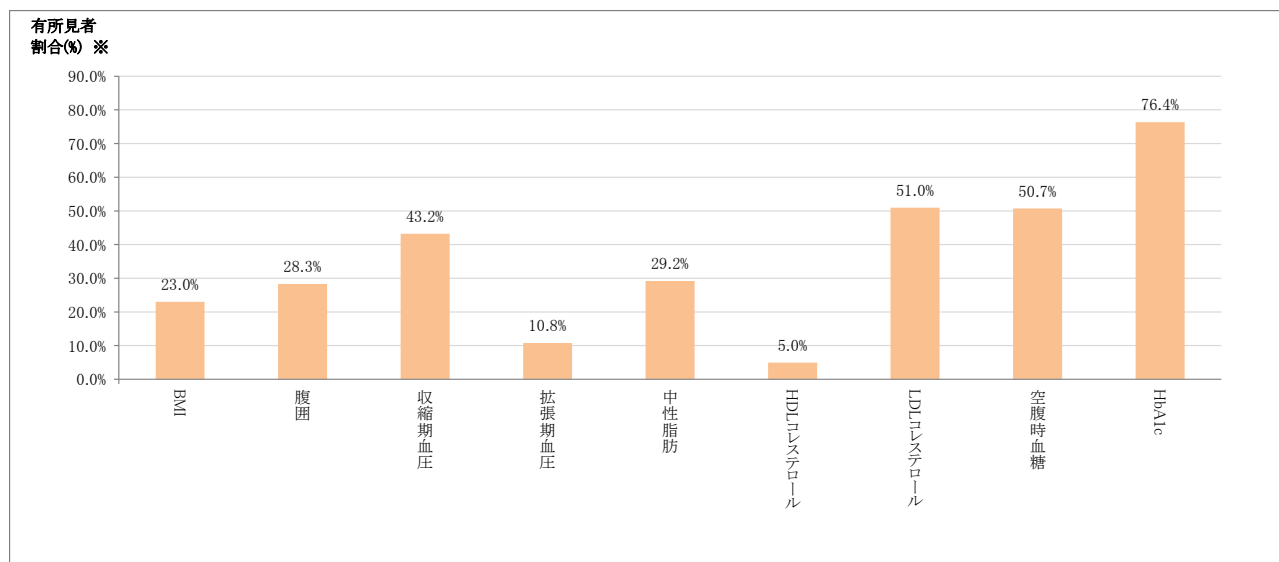
特定健康診査受診者の有所見者割合及び質問票への質問別回答状況を以下に示す。

有所見者割合

	BMI	腹囲	収縮期血圧	拡張期血圧
対象者数(人) ※	2,088	2,088	2,088	2,088
有所見者数(人) ※	480	591	902	225
有所見者割合(%) ※	23.0%	28.3%	43.2%	10.8%

	中性脂肪	HDLコレステロール	LDLコレステロール	空腹時血糖	HbA1c
対象者数(人) ※	2,088	2,088	2,088	349	2,083
有所見者数(人) ※	610	104	1,064	177	1,591
有所見者割合(%) ※	29.2%	5.0%	51.0%	50.7%	76.4%

有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、収縮期血圧:130mmHg以上、拡張期血圧:85mmHg以上、

中性脂肪:150mg/dl以上、HDLコレステロール:39mg/dl以下、LDLコレステロール:120mg/dl以上、

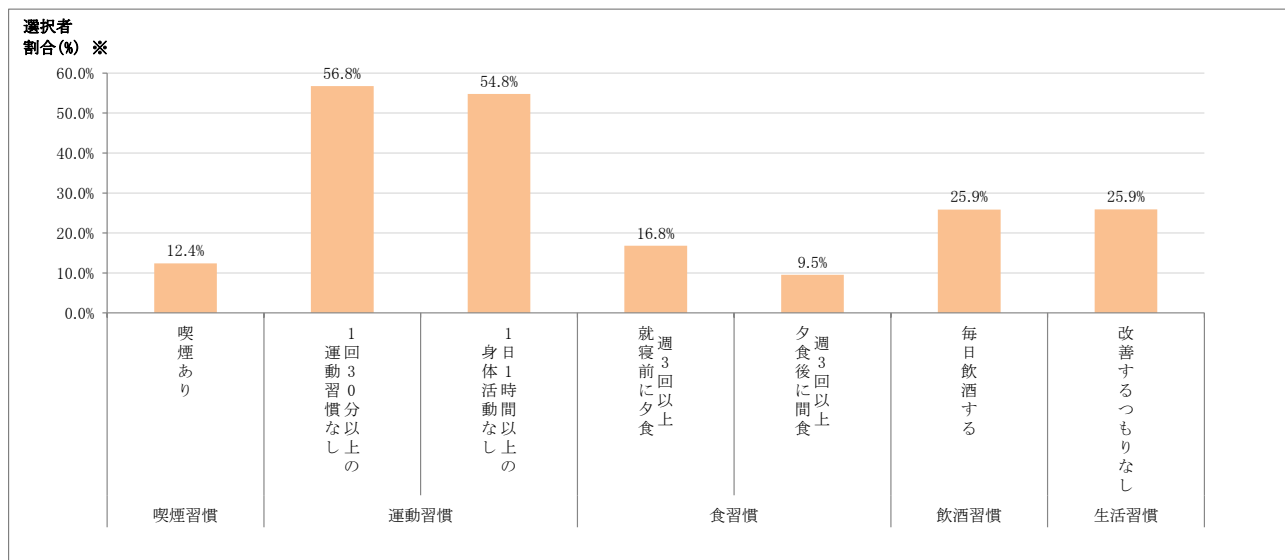
空腹時血糖値:100mg/dl以上、HbA1c:5.6%以上

質問別回答状況

	喫煙習慣	運動習慣	
質問の選択肢	喫煙あり	1回30分以上の運動習慣なし	1日1時間以上の身体活動なし
質問回答者数(人) ※	2,088	2,086	2,079
選択者数(人) ※	259	1,184	1,139
選択者割合(%) ※	12.4%	56.8%	54.8%

	食習慣		飲酒習慣	生活習慣
質問の選択肢	週3回以上就寝前に夕食	週3回以上夕食後に間食	毎日飲酒する	改善するつもりなし
質問回答者数(人) ※	2,088	2,084	2,084	2,059
選択者数(人) ※	351	199	539	533
選択者割合(%) ※	16.8%	9.5%	25.9%	25.9%

質問別回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

- 喫煙あり …「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 1回30分以上の運動習慣なし …「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 1日1時間以上の身体活動なし …「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 週3回以上就寝前に夕食 …「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 週3回以上夕食後に間食 …「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 毎日飲酒する …「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。
- 改善するつもりなし …「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

(3) 特定保健指導に係る分析

日本人の生活習慣の変化や高齢者の増加等により、近年、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群が増加しており、生活習慣病を原因とする死亡は、全体の約3分の1にのぼると推計されている。厚生労働省は、40歳以上の被保険者へメタボリックシンドロームの予防・解消に重点を置いた、生活習慣病予防のための特定健康診査・特定保健指導の実施を義務付けている。

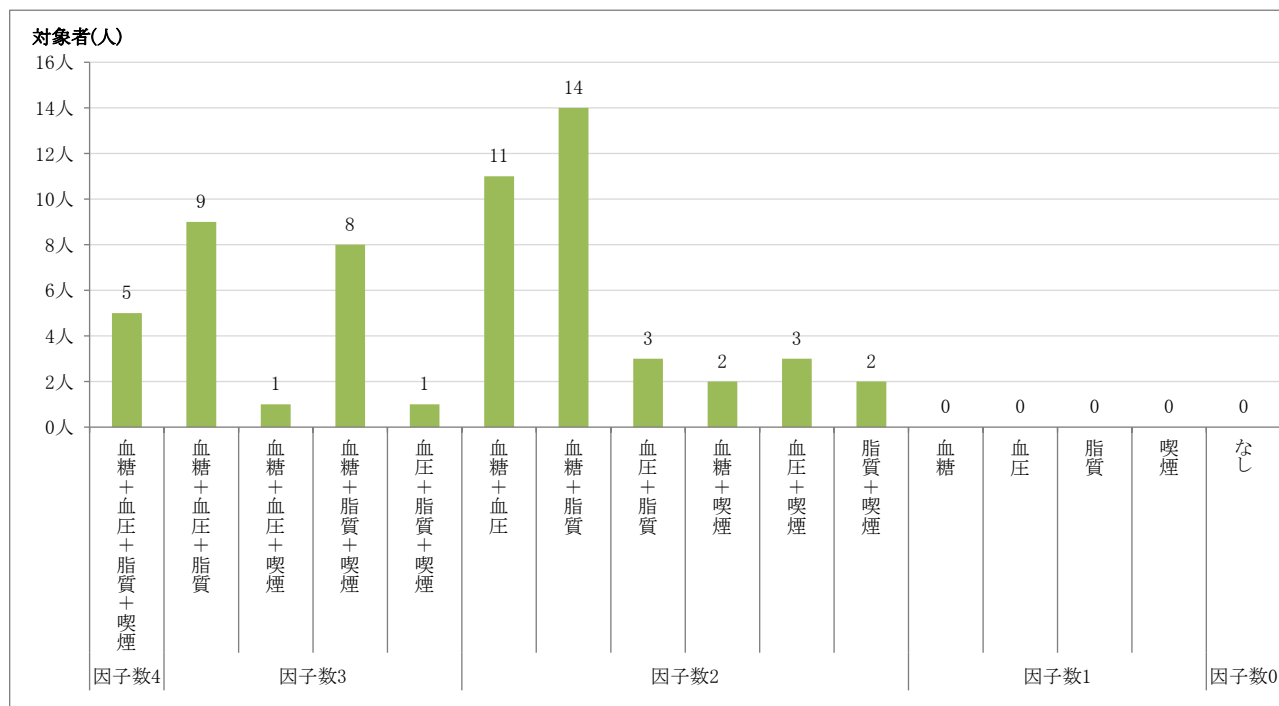
「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」にある「3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者」「4. 医療機関受診勧奨対象者」に該当する対象者より、特定保健指導対象者は283人である。このうち、積極的支援の対象者は59人、動機付け支援の対象者は224人である。

特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

特定保健指導対象者	リスク判定 ※ (該当に●)				リスク因子数	リスク因子組み合わせ	対象者	
	① 血糖	② 血圧	③ 脂質	④ 喫煙			283人	
積極的支援	●	●	●	●	因子数4	血糖＋血圧＋脂質＋喫煙	5人	59人 21%
	●	●	●		因子数3	血糖＋血圧＋脂質	9人	
	●	●		●		血糖＋血圧＋喫煙	1人	
	●		●	●		血糖＋脂質＋喫煙	8人	
		●	●	●		血圧＋脂質＋喫煙	1人	
	●	●			因子数2	血糖＋血圧	11人	
	●		●			血糖＋脂質	14人	
		●	●			血圧＋脂質	3人	
	●			●		血糖＋喫煙	2人	
		●		●		血圧＋喫煙	3人	
			●	●		脂質＋喫煙	2人	
	●				因子数1	血糖	0人	
		●				血圧	0人	
			●			脂質	0人	
				●		喫煙	0人	
					因子数0	なし	0人	
動機付け支援	●	●	●	●	因子数4	血糖＋血圧＋脂質＋喫煙	6人	224人 79%
	●	●	●		因子数3	血糖＋血圧＋脂質	32人	
	●	●		●		血糖＋血圧＋喫煙	7人	
	●		●	●		血糖＋脂質＋喫煙	8人	
		●	●	●		血圧＋脂質＋喫煙	2人	
	●	●			因子数2	血糖＋血圧	43人	
	●		●			血糖＋脂質	30人	
		●	●			血圧＋脂質	9人	
	●			●		血糖＋喫煙	5人	
		●		●		血圧＋喫煙	2人	
			●	●		脂質＋喫煙	1人	
	●				因子数1	血糖	43人	
		●				血圧	25人	
			●			脂質	11人	
				●		喫煙	0人	
					因子数0	なし	0人	

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。
※リスク判定…健診検査値が保健指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合がある。
リスク判定の詳細は以下の通りとする。
①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1c5.6%以上(NGSP)
②血圧…特定健康診査の検査値において、収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上
③脂質…特定健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

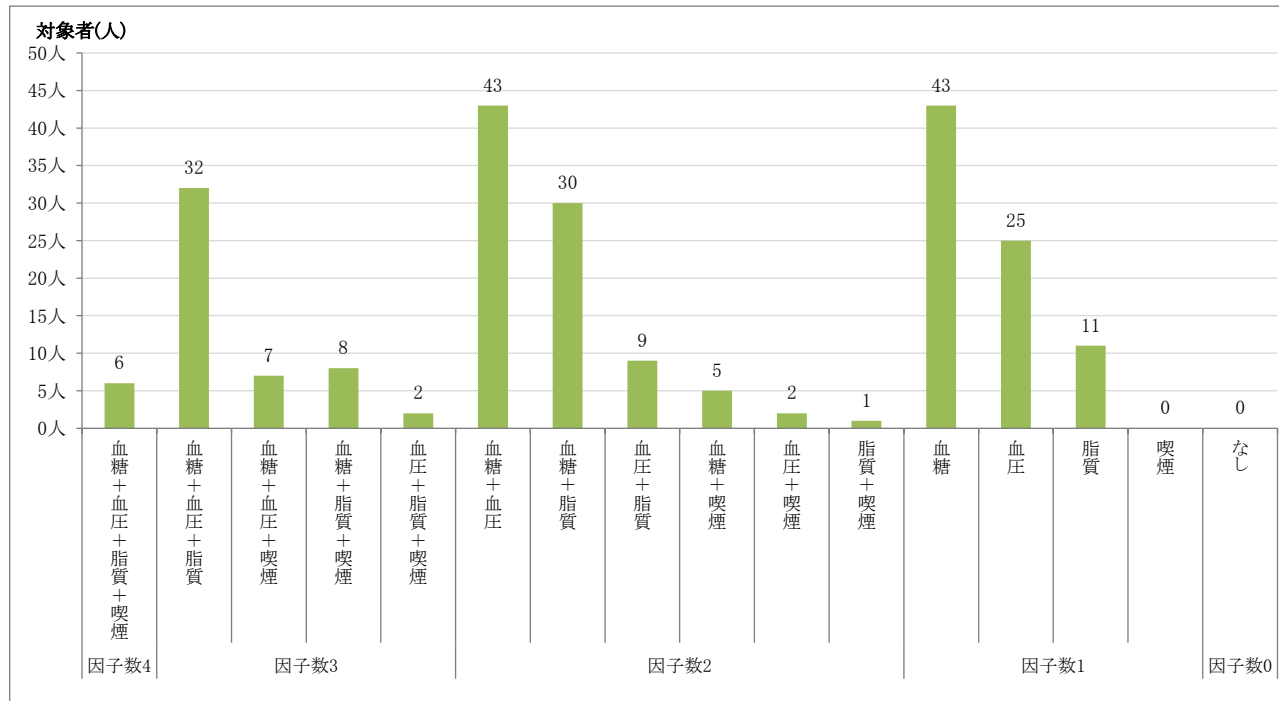
積極的支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

動機付け支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

(4) 健診異常値放置者に係る分析

特定健康診査では異常値があった場合、医療機関での精密検査を勧めている。しかし、異常値があるにもかかわらず、医療機関への受診をしていない者が存在する。これらの対象者をレセプトにより見極める。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、医療機関への受診をしていない「健診異常値放置者」に該当する386人が健診異常値放置受診勧奨対象者となる。

条件設定による指導対象者の特定(健診異常値放置)

I. 条件設定による指導対象者の特定

・健診異常値放置者 …健診受診後、4カ月以上医療機関へ受診していない人
厚生労働省受診勧奨判定値以上の検査数値のある人を対象とする

条件設定により対象となった候補者数	386 人
-------------------	-------

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「難病患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、健診異常が発生している状態についても認知していると考えられるためである。また、指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(健診異常値放置)

II. 除外設定

		除外理由別人数
除外	がん、難病等	79 人
		
除外患者を除いた候補者数		307 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、残る対象者307人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。健診異常値放置受診勧奨対象者の判定は、厚生労働省の定める受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)を用いた結果、異常が認められ、かつ生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に対するレセプトが発生していない対象者を特定する。ここでは受診勧奨判定異常値因子数(血糖、血圧、脂質)が多い患者を優先とし、喫煙の有無によりリスクを判定した。

これら対象者はすべてが受診勧奨対象者ではあるが、通知件数の制約により優先順位を設定する必要がある場合、候補者Aより順に対象者を選択する。

優先順位(健診異常値放置)

Ⅲ.優先順位		
←良 効率 悪→		
	喫煙	非喫煙
↑高 効果	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 3つ 候補者A 0 人	候補者C 2 人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 2つ 候補者B 5 人	候補者D 41 人
低↓	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 1つ 候補者E 50 人	候補者F 209 人
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの人数		307 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
 資格確認日…平成29年3月31日時点。

(5) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析

人工透析患者の分析を行った。「透析」は傷病名ではないため、「透析」にあたる診療行為が行われている患者を特定し、集計した。

分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、70.6%が生活習慣を起因とするものであり、その70.6%が糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かった。

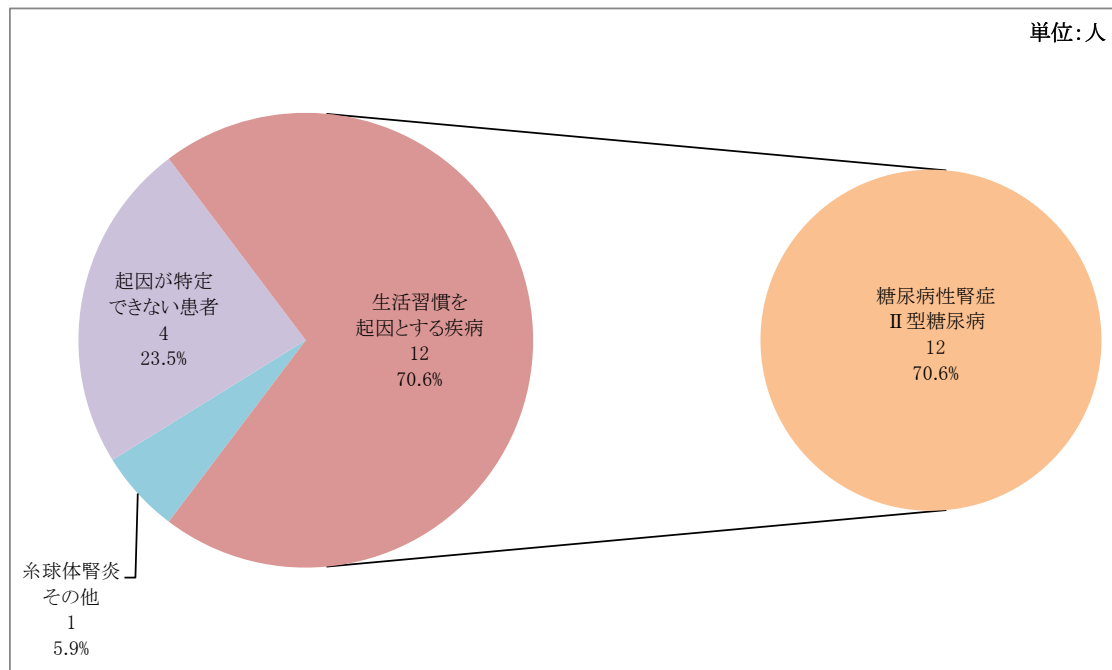
対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	17
腹膜透析のみ	0
血液透析及び腹膜透析	0
透析患者合計	17

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

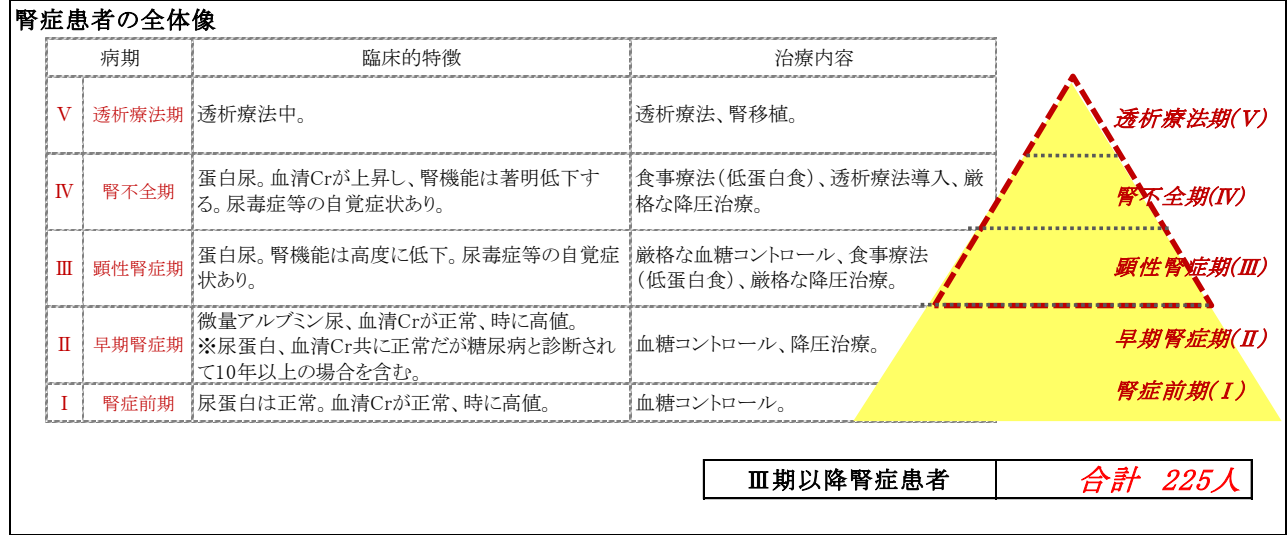
データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定する。その結果、腎症患者225人中64人の適切な指導対象者を特定した。

腎症患者の全体像を以下に示す。

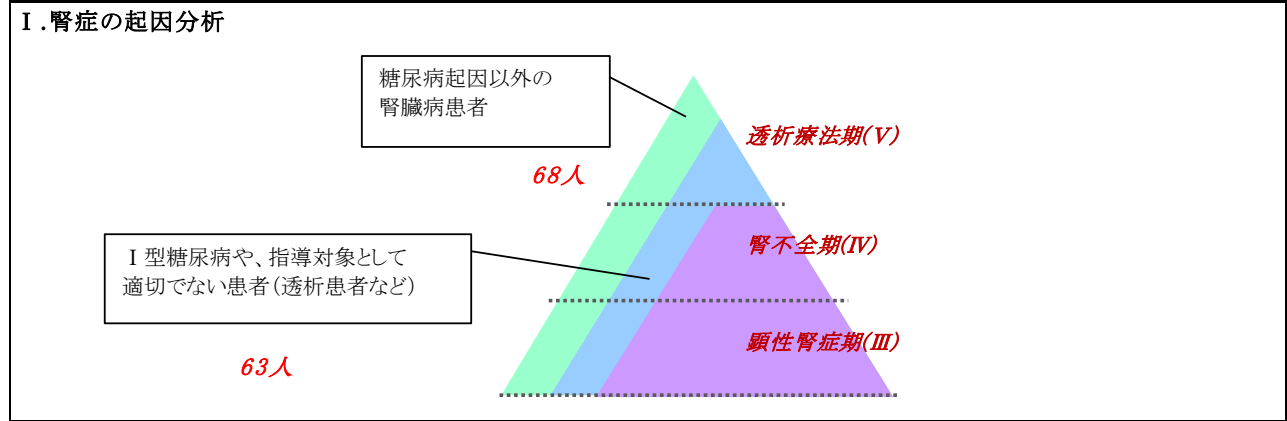
腎症患者の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

「腎症の起因分析」を以下に示す。緑色部分は糖尿病起因以外の腎臓病患者と考えられ、68人の患者が存在する。また、青色部分は糖尿病患者であるが、生活習慣を起因としていない糖尿病患者や、指導対象として適切でない患者(透析患者、腎臓移植した可能性がある患者、すでに資格喪失している等)と考えられ、63人の患者が存在する。紫色部分は生活習慣起因の糖尿病または腎症と考えられる患者で、この患者層が保健指導対象者として適切となる。

腎症の起因分析

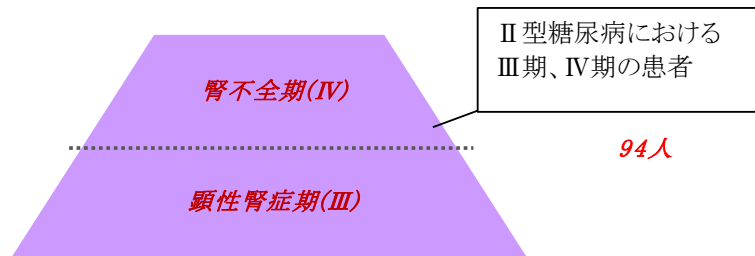


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」を以下の通り示す。腎不全期または顕性腎症期の患者は合わせて94人となった。重症化予防を実施するに当たり、適切な病期は、透析への移行が近い腎不全期、腎機能が急激に低下する顕性腎症期となる。

Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者

Ⅱ.Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者



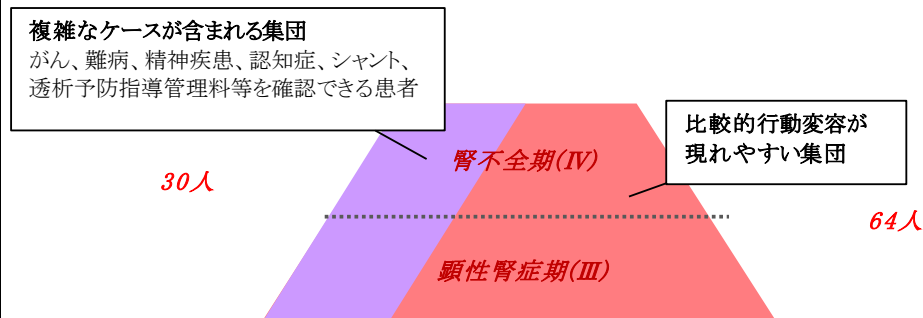
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、個人毎の状態を見極め、「保健指導対象者の優先順位」について分析した。94人のうち「複雑なケースが含まれる集団」、つまり、がん、難病、精神疾患、認知症等が含まれる患者は、30人存在する。

一方、それらの疾病が確認できない「比較的行動変容が現れやすい集団」は、64人存在する。保健事業を行う上で、これら2つのグループには費用対効果に大きな違いがある。「比較的行動変容が現れやすい集団」が本事業の対象者である。

保健指導対象者の優先順位

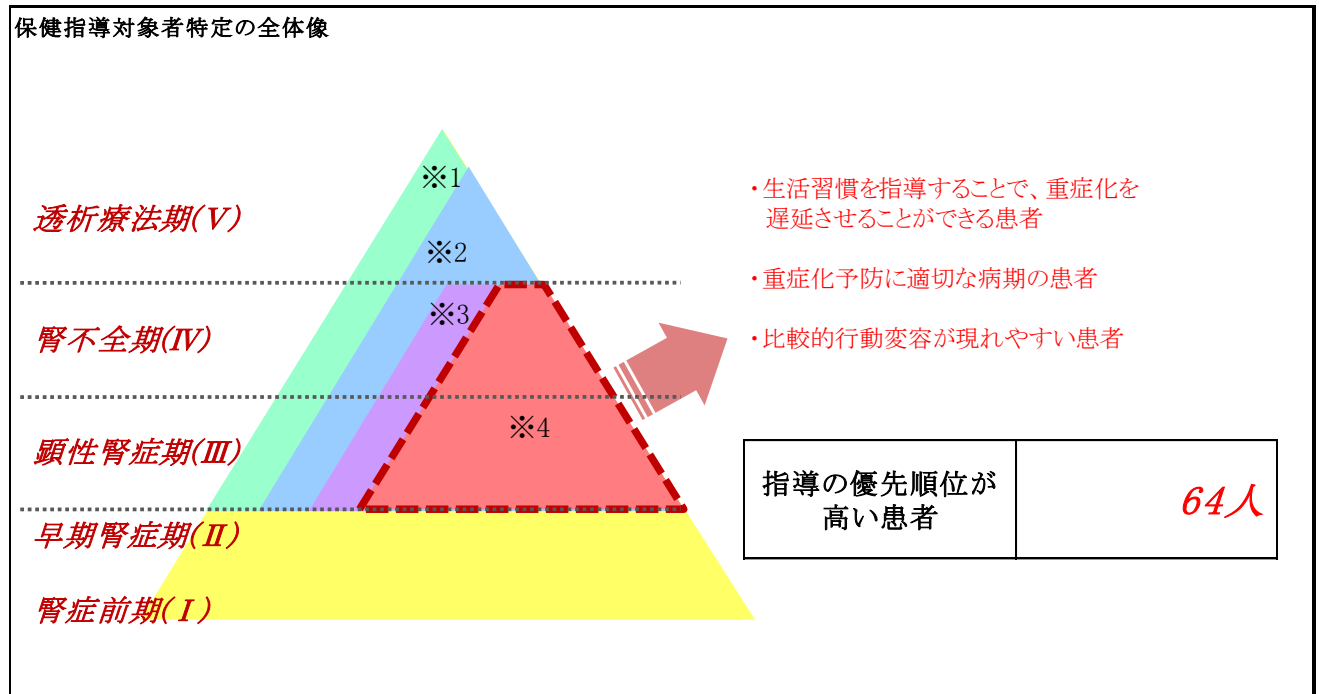
Ⅲ.保健指導対象者の優先順位



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

以上の分析のように「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者は、64人となった。この分析の全体像を以下に示す。

保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。
※1…糖尿病起因以外の腎臓病患者
※2…Ⅰ型糖尿病や、指導対象として適切でない患者(透析患者等)
※3…複雑なケースが含まれる集団(がん、難病、精神疾患、認知症等を確認できる患者)
※4…比較的行動変容が現れやすい患者

(6) 受診行動適正化に係る分析

多受診(重複受診、頻回受診、重複服薬)は、不適切な受診行動も含まれているため、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。指導対象者数の分析結果は以下の通りである。

ひと月に同系の疾病を理由に複数の医療機関に受診している「重複受診者」や、ひと月に同一の医療機関に一定回数以上受診している「頻回受診者」、ひと月に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上の「重複服薬者」について平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータを用いて分析した。

重複受診者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複受診者数(人) *	3	5	5	3	2	3	3	2	5	4	4	3
12カ月間の延べ人数											42	
12カ月間の実人数											26	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

株式会社データホライゾン特許医療費分解を用いて算出。

※重複受診者数…1カ月間に同系の疾病を理由に、3医療機関以上受診している人を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

頻回受診者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
頻回受診者数(人) *	18	18	20	18	17	23	27	28	27	26	28	31
12カ月間の延べ人数											281	
12カ月間の実人数											95	

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※頻回受診者数…1カ月間に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

重複服薬者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複服薬者数(人) *	10	26	24	25	24	30	26	29	30	25	25	31
12カ月間の延べ人数											305	
12カ月間の実人数											142	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※重複服薬者数…1カ月間に、同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

分析結果より、12カ月間で重複受診者は26人、頻回受診者は95人、重複服薬者は142人存在する。機械的に多受診患者を特定した場合、問題になるのは、その患者の多くに「必要な医療」の可能性がある患者も含まれることである。機械的に多受診患者を特定するのではなく、十分な分析の上、指導対象者を特定する必要がある。ここでは、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトを対象に、「条件設定による指導対象者の特定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て分析した。

はじめに、「条件設定による指導対象者の特定」を行う。重複受診・頻回受診・重複服薬を併せ持つ患者がいるため前述の分析結果より患者数は減少する。

条件設定による指導対象者の特定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

I.条件設定による指導対象者の特定	
・重複受診患者 …1カ月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者 ・頻回受診患者 …1カ月間で同一医療機関に12回以上受診している患者 ・重複服薬者 …1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者	
条件設定により候補者となった患者数	252 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。必要な医療の可能性がある患者、また指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

II.除外設定

		除外理由別 人数	合計人数 (実人数)
除外①	最新被保険者データで資格喪失している患者	0 人	184 人
除外②	がん、難病等 ※	184 人	

除外患者を除き、候補者となった患者数	68 人
--------------------	------

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。
※疑い病名を含む。

次に、残る対象者68人のうち、指導することでより効果が高く、より効率の良い対象者を特定する。これらは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。効果については、レセプト期間最終月から、6カ月間遡ったレセプトのうち5～6カ月重複受診・頻回受診・重複服薬に該当する患者を最優先する。効率については、指導のアポイントメントが取りやすい等の理由から60歳以上を最優先とし、次に、50歳～59歳を対象とした。以下の通り、効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fは12人となった。

優先順位(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

Ⅲ.優先順位		←良 効率 悪→		
↑高 効果 低↓		60歳以上	50～59歳	50歳未満
	最新6カ月レセプトのうち 5～6カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者A 1 人	候補者C 0 人	候補者 としない 56 人
	最新6カ月レセプトのうち 3～4カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者B 7 人	候補者D 0 人	
	最新6カ月レセプトのうち 2カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者 (ただし直近2カ月レセに該 当)	候補者E 3 人	候補者F 1 人	
	その他の 重複・頻回・重複服薬患者			
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの患者数				12 人

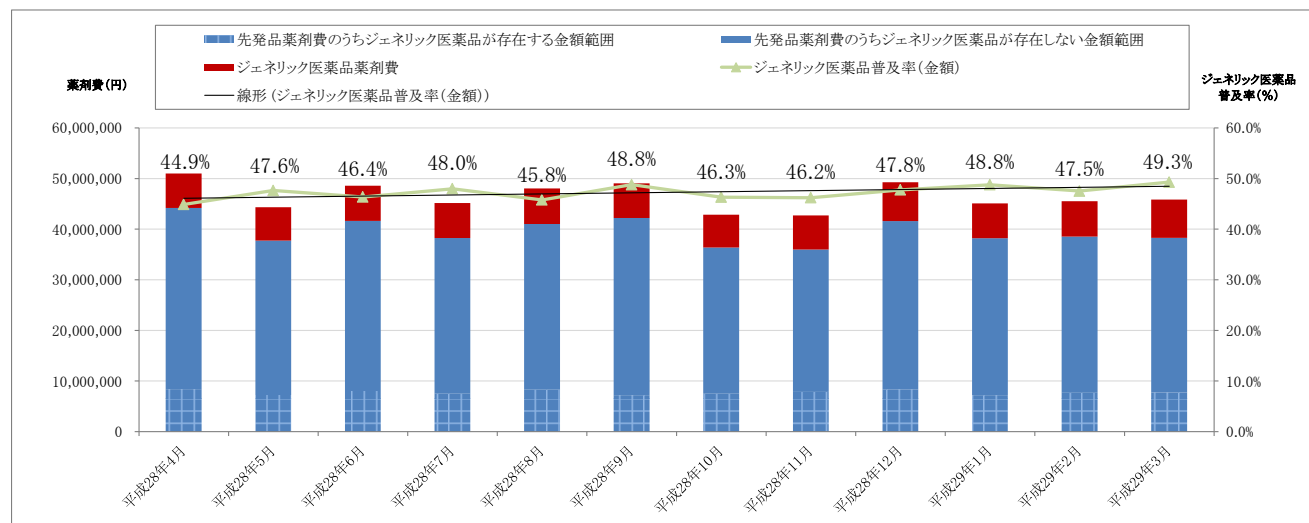
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

(7) ジェネリック医薬品普及率に係る分析

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し薬剤費の削減を図る。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点がある。

以下に平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を示す。現在、ジェネリック医薬品普及率は47.3%(金額ベース)、73.2%(数量ベース)である。

ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)



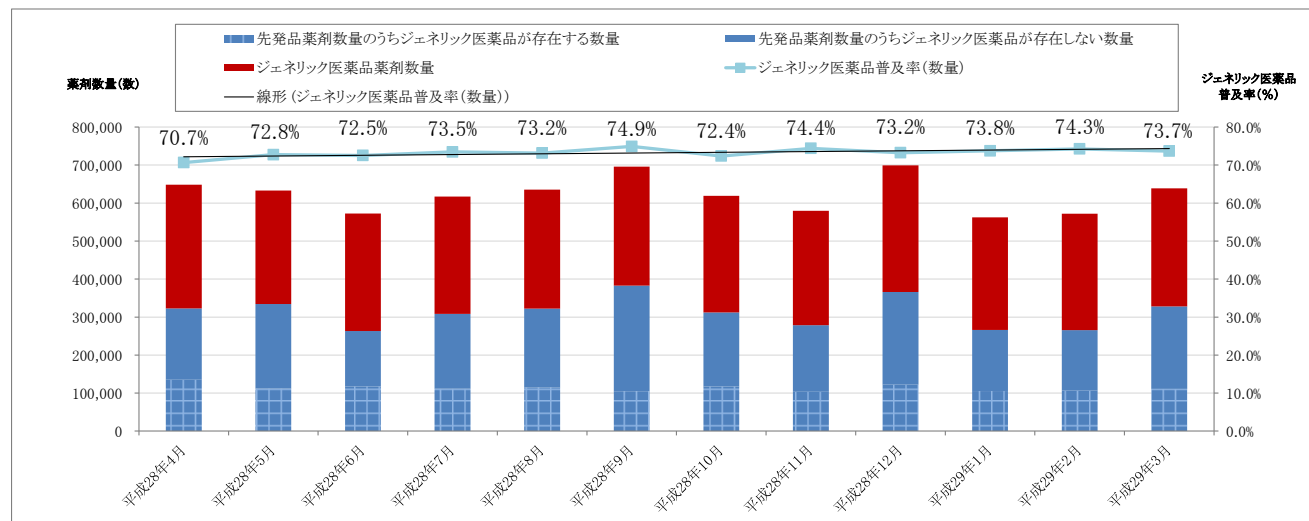
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

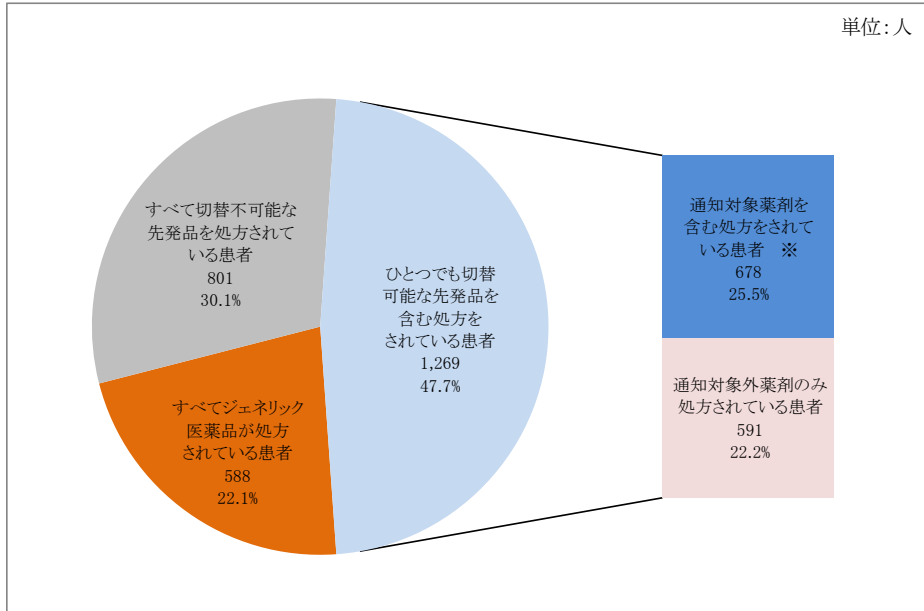
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

次に、平成29年3月診療分のレセプトで薬剤処方状況別の患者数を以下に示す。患者数は2,658人(入院レセプトのみの患者は除く)で、このうちひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者は1,269人で患者数全体の47.7%を占める。さらにこのうち株式会社データホライゾン基準の通知対象薬剤のみに絞り込むと、678人がジェネリック医薬品切り替え可能な薬剤を含む処方をされている患者となり、全体の25.5%となる。

薬剤処方状況別患者数



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月診療分(1カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※通知対象薬剤を含む処方をされている患者…株式会社データホライゾン通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方の方は含まない)。

※構成比…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

(8) 薬剤併用禁忌に係る分析

薬剤の相互作用は、効果の増強または減弱、副作用などを生じさせ、時に患者に重大な影響を与える可能性がある。通常、薬剤師がお薬手帳等で薬剤の相互作用等を確認するが、患者がお薬手帳を持たず、さらに処方箋発行医療機関と処方する調剤薬局も異なる場合、すでに処方された薬と新たに処方される薬とで併用禁忌の状態になる可能性がある。

現在、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の対象者延べ人数は105人、実人数は88人である。

薬剤併用禁忌対象者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
薬剤併用禁忌 対象者数(人)※	4	9	5	7	9	9	9	7	9	18	11	8
											12カ月間の延べ人数	
											105	
											12カ月間の実人数	
											88	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※薬剤併用禁忌対象者…1カ月間に併用禁忌とされる薬剤を処方された人を対象とする。

主な併用禁忌の組み合わせを以下に示す。

薬剤併用禁忌 医薬品リスト

実人数(人)	88
件数合計(件)	136

No.	(A) 剤型名	(A) 医薬品 コード	(A) 医薬品名	(B) 剤型名	(B) 医薬品 コード	(B) 医薬品名	件数
1	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160501	PL配合顆粒	32
2	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	621498101	カフコデN配合錠	10
3	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	7
4	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620161401	ビーエイ配合錠	5
5	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620161401	ビーエイ配合錠	5
6	内服	622028301	インヴェガ錠6mg	内服	610409341	リスパダール錠2mg	4
7	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	622375501	レルベア100エリプタ30吸入用	4
8	内服	622028201	インヴェガ錠3mg	内服	610409341	リスパダール錠2mg	3
9	内服	622028301	インヴェガ錠6mg	内服	620008161	リスベリドン錠3mg「ヨシトミ」	3
10	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	622081101	トラムセット配合錠	3
11	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	621829601	アドエア250ディスカス60吸入用 60ブリスター	3
12	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	620161401	ビーエイ配合錠	2
13	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	2
14	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	2
15	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	620161401	ビーエイ配合錠	2
16	内服	622053601	グルバス配合錠	内服	620002032	グリミクロン錠40mg	2
17	内服	622041001	シュアポスト錠0.5mg	内服	620002032	グリミクロン錠40mg	2
18	内服	622041001	シュアポスト錠0.5mg	内服	622017301	グリメビリド錠0.5mg「三和」	2
19	内服	620006956	セチロ配合錠	内服	616150088	ミノマイシン錠50mg	2
20	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	620002022	カロナール細粒20%	1
21	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	1
22	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	622081101	トラムセット配合錠	1
23	内服	621520803	アセトアミノフェン錠200mg「JG」	内服	620160701	セラピナ配合顆粒	1
24	内服	620006771	アマージ錠2.5mg	内服	622223201	スマトリブタン錠50mg「マイラン」	1
25	内服	620006771	アマージ錠2.5mg	内服	610451019	ゾーミグ錠2.5mg	1
26	内服	620006771	アマージ錠2.5mg	内服	620000419	マクサル錠10mg	1
27	内服	620006771	アマージ錠2.5mg	内服	610462006	レルバックス錠20mg	1
28	内服	622028301	インヴェガ錠6mg	内服	620005635	リスベリドン内用液1mg/mL「ヨシトミ」 0.1%	1
29	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620161001	マリキナ配合顆粒	1
30	内服	620002022	カロナール細粒20%	内服	620067312	アセトアミノフェン「JG」原末	1
31	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	621558101	SG配合顆粒	1
32	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620161001	マリキナ配合顆粒	1
33	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	620160501	PL配合顆粒	1
34	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	620161401	ビーエイ配合錠	1
35	内服	616140102	クラリシッド錠200mg	内服	622374301	ベルソムラ錠20mg	1
36	内服	616140105	クラリス錠200 200mg	内服	622374201	ベルソムラ錠15mg	1
37	内服	620001907	グルファスト錠5mg	内服	621982701	アマリール0.5mg錠	1
38	内服	622053601	グルバス配合錠	内服	622017401	グリメビリド錠1mg「三和」	1
39	内服	620002038	コカル錠200mg	内服	620160801	トワチーム配合顆粒	1
40	内服	622040901	シュアポスト錠0.25mg	内服	621982701	アマリール0.5mg錠	1
41	内服	622041001	シュアポスト錠0.5mg	内服	622017401	グリメビリド錠1mg「三和」	1
42	内服	622223201	スマトリブタン錠50mg「マイラン」	内服	610451019	ゾーミグ錠2.5mg	1
43	内服	622223201	スマトリブタン錠50mg「マイラン」	内服	620000419	マクサル錠10mg	1
44	内服	622223201	スマトリブタン錠50mg「マイラン」	内服	610462006	レルバックス錠20mg	1
45	内服	620006956	セチロ配合錠	内服	620006084	ビブラマイシン錠100mg	1
46	内服	620006956	セチロ配合錠	内服	621124801	ミノサイクリン塩酸塩錠50mg「サワイ」	1
47	内服	610451019	ゾーミグ錠2.5mg	内服	620000419	マクサル錠10mg	1
48	内服	610451019	ゾーミグ錠2.5mg	内服	610462006	レルバックス錠20mg	1
49	内服	620160801	トワチーム配合顆粒	内服	621498101	カフコデN配合錠	1
50	内服	620160801	トワチーム配合顆粒	内服	620161401	ビーエイ配合錠	1

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※リストは51件以上省略

(9)服薬情報に係る分析

薬剤の多剤服薬は、副作用が起こりやすく様々なリスクがある。特に高齢者に起こりやすい副作用にはふらつき・転倒、物忘れがある。転倒による骨折をきっかけに寝たきりになったり、うつ、せん妄、食欲低下、便秘、排尿障害等が起こりやすくなる。

本分析では、服薬状況を把握し適切な服薬を促すことを目的に、対象となる患者の特定を行う。薬剤種類数別対象者数は以下の通りである。複数医療機関の受診があり6種類以上の薬剤を14日以上服薬している対象者は328人である。

薬剤種類数別対象者数

年齢階層		対象者数(人)							
		～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～
被保険者数(人)		1,058	254	255	189	258	625	1,561	1,488
薬剤種類数	1種類	15	1	1	1	4	7	30	38
	2種類	14	2	0	2	1	15	42	49
	3種類	5	2	1	2	6	14	61	63
	4種類	7	2	3	2	3	10	47	58
	5種類	6	0	1	2	3	15	44	51
	6種類	4	2	6	2	1	9	20	39
	7種類	3	4	1	3	4	12	14	39
	8種類	4	0	0	2	0	1	11	23
	9種類	2	1	0	0	0	4	14	18
	10種類	1	1	1	2	0	1	6	9
	11種類	0	0	0	1	0	1	5	7
	12種類	0	0	1	1	1	2	7	4
	13種類	1	0	0	0	0	5	0	4
	14種類	1	0	0	0	0	4	2	0
	15種類	0	0	0	1	0	1	1	5
	16種類	0	0	0	0	0	0	1	0
	17種類	1	1	0	0	0	0	0	1
	18種類	0	0	0	0	0	0	0	0
	19種類	0	1	0	0	0	1	1	1
	20種類	0	0	0	0	0	0	1	0
	21種類以上	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		64	17	15	21	23	102	307	409



長期多剤服薬者数(人)※	328
--------------	-----

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年12月～平成29年3月診療分(4カ月分)。

長期(14日以上)処方されている内服薬を集計対象とする。

異なる医療機関から同一薬剤が複数処方された場合は1種類として集計する。

複数医療機関の受診があった者を集計対象とする。

※長期多剤服薬者数…6種類以上の薬剤を14日以上服薬している人数。

また、長期多剤服薬者328人が被保険者全体に占める割合は5.8%、長期服薬者全体に占める割合は34.2%である。

長期多剤服薬者の状況

		～39歳	40歳 ～44歳	45歳 ～49歳	50歳 ～54歳	55歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 ～69歳	70歳～	合計
A	被保険者数(人)	1,058	254	255	189	258	625	1,561	1,488	5,688
B	長期服薬者数(人)※	64	17	15	21	23	102	307	409	958
C	長期多剤服薬者数(人)※	17	10	9	12	6	41	83	150	328
C/A	被保険者数に占める 長期多剤服薬者割合(%)	1.6%	3.9%	3.5%	6.3%	2.3%	6.6%	5.3%	10.1%	5.8%
C/B	長期服薬者数に占める 長期多剤服薬者割合(%)	26.6%	58.8%	60.0%	57.1%	26.1%	40.2%	27.0%	36.7%	34.2%

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年12月～平成29年3月診療分(4ヵ月分)。

長期(14日以上)処方されている内服薬を集計対象とする。

異なる医療機関から同一薬剤が複数処方された場合は1種類として集計する。

複数医療機関の受診があった者を集計対象とする。

※長期服薬者数…1種類以上の薬剤を14日以上服薬している人数。

※長期多剤服薬者数…6種類以上の薬剤を14日以上服薬している人数。

5. 分析結果に基づく健康課題の把握

(1) 分析結果

平成28年4月から平成29年3月診療分(12カ月分)における分析結果を以下にまとめた。
利根町国民健康保険の抱える課題は、生活習慣病及び新生物への対策が課題であると言える。

① 疾病大分類

医療費が高い疾病では循環器系の疾患が2位、内分泌、栄養及び代謝疾患が3位、患者数では内分泌、栄養及び代謝疾患が3位と生活習慣病が上位を占めていた。また新生物も医療費で1位、患者一人当たり医療費で2位であった。患者一人当たり医療費では、周産期に発した病態が1位、精神及び行動の障害が3位であった。母子部門・福祉部門へ情報提供し、連携を取る。

医療費が高い疾病		構成比
1位	新生物＜腫瘍＞	20.5%
2位	循環器系の疾患	14.5%
3位	内分泌、栄養及び代謝疾患	10.2%

患者数が多い疾病		患者数
1位	呼吸器系の疾患	2,903人
2位	消化器系の疾患	2,836人
3位	内分泌、栄養及び代謝疾患	2,651人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	周産期に発生した病態	257,775円
2位	新生物＜腫瘍＞	224,247円
3位	精神及び行動の障害	171,849円

②疾病中分類別

大分類を細分化し、中分類で分析を行った結果、糖尿病が医療費と患者数で2位、高血圧性疾患が医療費で3位、患者数で1位であった。また、生活習慣病が起因となる疾病では、腎不全が患者一人当たり医療費で1位であった。医療費の1位はその他の悪性新生物（主に前立腺がん）で、患者一人あたりの医療費では2位に悪性リンパ腫、3位に気管、気管支炎及び肺の悪性新生物が上がっている。

医療費が高い疾病		構成比
1位	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	7.9%
2位	糖尿病	5.6%
3位	高血圧性疾患	5.2%

患者数が多い疾病		患者数
1位	高血圧性疾患	2,043人
2位	糖尿病	1,969人
3位	胃炎及び十二指腸炎	1,740人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	腎不全	697,117円
2位	悪性リンパ腫	538,952円
3位	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	388,233円

③高額(5万点以上)レセプトの件数と割合、疾病傾向

高額レセプトの発生件数の割合は、全体の0.6%だが、医療費に占める割合は30.2%である。

高額レセプト件数	528件
高額レセプト件数割合	0.6%
高額レセプト医療費割合	30.2%

高額レセプトの患者一人あたりの医療費の高い疾病では、腎不全が1位であった。患者数の多い疾病では、その他の悪性新生物（主に前立腺がん）が1位で、3位には虚血性心疾患とその他の心疾患が上がっている。

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人当たりの医療費順(中分類)		患者数	患者一人当たりの医療費
1位	腎不全	8人	6,845,354円
2位	てんかん	1人	6,327,000円
3位	喘息	1人	5,964,320円
4位	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	16人	5,655,456円
5位	脳内出血	2人	5,079,810円

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者数順(中分類)		患者数	患者一人当たりの医療費
1位	その他の悪性新生物<腫瘍>	27人	4,447,508円
2位	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	16人	5,655,456円
3位	虚血性心疾患	13人	2,137,166円
3位	その他の心疾患	13人	2,612,152円
5位	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	10人	1,600,785円

④特定健康診査及びレセプトデータによる分析

平成28年度の特定健康診査とレセプトデータによる分析の結果、健診異常値を放置している人は386人、生活習慣病の状態不明者は1,380人であった。

健診異常値放置者	386人
生活習慣病状態不明者	1,380人

⑤人工透析患者の実態

平成28年度のレセプトデータより、人工透析患者は17人いた。そのうち、12人がⅡ型糖尿病が起因であった。

人工透析患者	17人
（うちⅡ型糖尿病起因患者）	12人

⑥医療機関受診状況

平成28年度のレセプトデータより、医療機関の受診状況に問題のある被保険者を分析した結果、多受診の重複受診者が26人、頻回受診者が95人、重複服薬者が142人にいた。また、服薬に問題のある薬剤併用禁忌対象者は88人、長期多剤服薬者は328人いた。

重複受診者	26人
頻回受診者	95人
重複服薬者	142人
薬剤併用禁忌対象者	88人
長期多剤服薬者	328人

⑦ジェネリック医薬品普及率（数量ベース/医科・調剤レセプト）

数量ベースのジェネリック医薬品の普及率は、平成28年度の平均が73.2%であった。直近の平成29年3月の普及率は、73.7%である。

※2020年度末までに普及率80%目標/厚生労働省

ジェネリック医薬品普及率	73.2%
--------------	-------

(2) 分析結果に基づく課題とその対策

分析結果からみた課題と対策

課題と対策	対策となる事業
◆生活習慣病の患者の増加（医療費の高額化）と特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率の向上 生活習慣病患者が多数存在し、医療費も多額な状況である。特に高血圧と糖尿病は患者が多く、それらが重症化した心疾患や腎不全の患者も増えており、医療費が高額化している。また平成28年度の特定健康診査の受診率は47.2%、保健指導の実施率は51.2%で、さらなる受診率向上を図り、必要な人に特定保健指導を行うことにより生活習慣病を予防していく。	・特定健康診査未受診者受診勧奨事業 ・人間・脳ドック補助 ・特定保健指導事業
◆生活習慣病の予防と知識の普及啓発 生活習慣病の予防と早期発見・早期治療のため、町民に広く健康を意識してもらい、生活習慣改善に自ら取り組めるよう、啓発活動を行う。	・ポピュレーションアプローチ健康づくり
◆健診異常値放置者 健診で異常値があったにもかかわらず医療機関を受診していない異常値放置者（386人）が多く存在する。放置者に医療機関への受診勧奨を行うことで適切な医療につなぎ、生活習慣病の重症化を予防する。	・生活習慣病未受療者の受診勧奨事業
◆糖尿病性腎症重症化予防 人工透析に至ってしまった患者の半数以上がⅡ型糖尿病が起因である（平成28年度 17人中12人）。また中分類疾病の分析では医療費の高い疾病の2位と患者数の多い疾病の2位に糖尿病が上がっており、さらに患者一人当たりの医療費が高額な疾病の1位に腎不全が上がっている。糖尿病は進行すると腎症に至り透析が必要になる。腎症以外の合併症も併発し、医療費が高額となると同時に患者のQOLの低下が問題となる。そこで早期に保健指導を行い生活習慣を改善することで、腎症の悪化を遅延させることができると考える。	・糖尿病性腎症重症化予防事業
◆重複・頻回受診者、重複服薬者 重複受診者、頻回受診者、重複服薬者が多数存在している（平成28年度 重複受診者26人、頻回受診者95人、重複服薬者142人）。それらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。	・受診行動適正化指導
◆ジェネリック医薬品の普及率 直近の普及率（数量ベース）は、73.7%で、国が定める目標（80%以上）と比較して低いため、切り替え勧奨を行う必要がある。	・ジェネリック医薬品差額通知
◆薬剤併用禁忌 多数の薬剤併用禁忌対象者が存在する（平成28年度 88人）。薬剤師会や医療機関等と連携しながらお薬手帳の啓発活動などを実施し、健康被害の減少を目指す。	・薬剤併用禁忌防止
◆服薬の状況 多数の長期多剤服薬者が存在する（平成28年度 328人）。多剤服薬は副作用が起りやすく様々なリスクがあるため、適正な服薬を促す必要がある。	・服薬情報通知

第3章 保健事業実施計画

1. 各事業の目的と概要一覧

第2期データヘルス計画にて、実施する事業一覧を以下に示す。

事業名	事業目的	事業概要
特定健康診査 未受診者受診勧奨事業 (保険年金課)	特定健康診査の受診率向上	特定健康診査を受けていない者を対象者とし特定健康診査の受診を促す。
人間・脳ドック補助 (保険年金課)	生活習慣病の早期発見や発症予防	40歳以上の国民健康保険被保険者に人間ドック・脳ドックの補助を行う。
特定保健指導事業 (保険年金課、 保健福祉センター)	生活習慣病の発症予防や重症化予防	特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話、e-mail等で行う。
ポピュレーション アプローチ健康づくり (保健福祉センター)	健康に対する意識の向上 自らが生活習慣の改善を図り 健康づくりに取り組む	生活習慣病予防や健康づくりに関する講演や教室、相談事業を実施する。
生活習慣病未受療者の 受診勧奨事業	健診異常値を放置している対象者を医療機関受療につなげる	特定健康診査受診後、その結果に異常値がある高血圧・脂質異常・高血糖の対象者で医療機関受療が確認できない対象者に対して、受診勧奨を行う。
糖尿病性腎症重症化 予防事業	糖尿病性腎症患者の病期進行 阻止	特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けることができるように専門職より対象者に6カ月間の面談指導と電話指導を行う。
受診行動適正化指導事業 (重複・頻回受診、重複服薬)	重複・頻回受診者数、 重複服薬者数の減少	レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、専門職による指導を行う。
ジェネリック 医薬品差額通知事業	ジェネリック医薬品の普及 率 向上	レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。
薬剤併用禁忌防止事業	薬剤併用禁忌の発生件数減少	レセプトデータから、薬剤併用禁忌の発生状況を把握する。薬剤併用禁忌の対象者リストを作成し、医療機関等へ情報提供を行う。
服薬情報通知事業	服薬の適正化	レセプトデータから、長期多剤服薬者を特定し通知書を送付する。また、通知後のレセプトデータから効果を確認する。

実施内容	目標値	
	アウトプット	アウトカム
平成30年度～平成35年度		
対象者を特定し、受診勧奨通知書を作成し、郵送する。通知後に対象者が特定健康診査を受診したかどうかを確認する。	対象者への通知率 100%	特定健康診査受診率 60%
人間ドック20,000円、脳ドック27,000円を補助。いずれも検査項目に特定健康診査の項目を含む。	検診受診人数	参加者の健康維持
指導対象者に対して適切な保健指導を行う。指導後に健康診査データより検査値の推移を確認する。	対象者の指導実施率の向上	指導完了者の生活習慣改善率 50% 指導実施率 60%
生活習慣病予防対策として、講演会や教室、健康相談等の保健事業を実施するとともに、食生活改善推進員による健康づくり普及や食育の推進。	事業の実施回数 事業の開催時期	参加人数
健診後の未受領者に通知や訪問等で受診勧奨及び保健指導を行う。指導後に医療機関受療があるか確認。受領が無い対象者にはフォローを行う	対象者のうち、訪問・電話等で対応できた人の割合 70%	対象者のうちレセプトで受療確認できた人の割合 20%
指導対象者に対して適切な保健指導を行う。指導後に健康診査データ、レセプトデータより検査値の推移、定期的な通院の有無等を確認する。	対象者の指導実施率 10%以上	指導完了者の生活習慣改善率 60% 指導完了者の検査値改善率 60%
指導対象者に対して適切な保健指導を行う。指導後に対象者の受診行動が適切となっているかを確認する。	対象者の指導実施率 50%以上	指導完了者の受診行動適正化 50% 指導完了者の医療費 50%減少 重複・頻回受診者、重複服薬者 20%減少
ジェネリック医薬品差額通知書を作成し、郵送する。対象者特定方法や効果検証方法、実施後の効果を考慮し、継続を検討する。	対象者への通知率 100%	ジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 80%
医師、薬剤師へ薬剤併用禁忌情報の提供を行う。医療機関への情報提供後、薬剤併用禁忌の発生状況を確認する。	医療機関への情報提供 100%	薬剤併用禁忌対象者割合 10ポイント減少
対象者を特定し、服薬情報通知書を発送する。通知後に対象者の服薬状況が適正となっているかを確認する。	対象者への通知率 100%	長期多剤服薬者割合 10ポイント減少

2. 全体スケジュール

各事業におけるスケジュールについて以下に示す。

事業名	第1期			第2期					
	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度	平成 34年度	平成 35年度
特定健康診査 未受診者受診勧奨事業	実施 評価			P	D CA	P	D CA		
人間・脳ドック補助	実施 評価			P	D CA	P	D CA		
特定保健指導事業	実施 評価			P	D CA	P	D CA		
ポピュレーション アプローチ健康づくり	実施 評価			P	D CA	P	D CA		
生活習慣病未受領者の 受診勧奨事業	実施 評価			P	D CA	P	D CA		
糖尿病性腎症 重症化予防事業				P	D CA	P	D CA		
受診行動適正化 指導事業 (重複・頻回受診、重複服薬)	実施 評価			P	D CA	P	D CA		
ジェネリック 医薬品差額通知事業	実施 評価			P	D CA	P	D CA		
薬剤併用禁忌 防止事業				P	D CA	P	D CA		
服薬情報通知事業				P	D CA	P	D CA		

3. 各事業の実施内容と評価方法

本計画(第2期データヘルス計画)における実施事業及び評価方法は以下の通りである。

(1) 特定健康診査未受診者受診勧奨事業

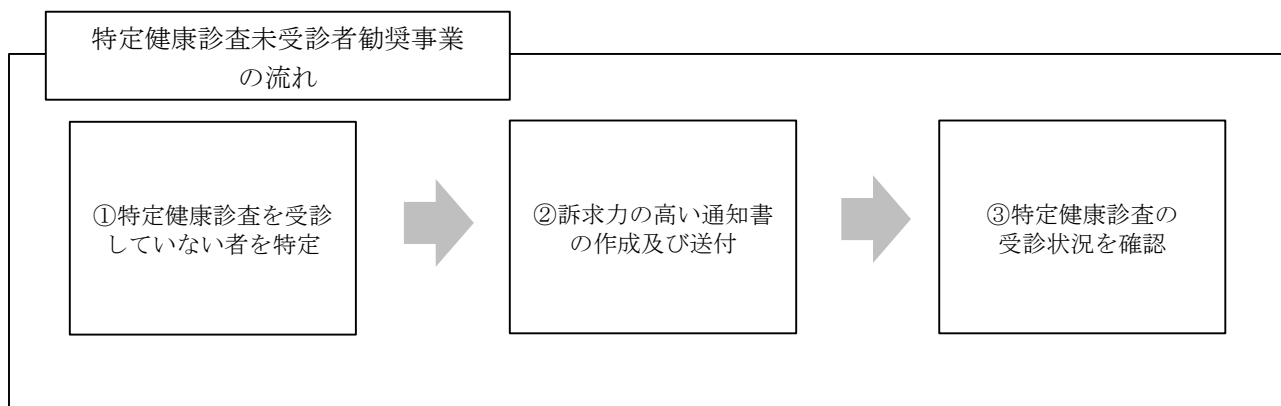
【事業目的】

特定健康診査の受診率向上

【事業概要】

特定健康診査を受診していない者を対象者とし特定健康診査の受診を促す。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
	目標値		評価方法
対象者への通知率 100%	短期	特定健康診査受診者数	参加者の健康維持
	中長期	特定健康診査受診率 60%	特定健康診査受診率を確認する。

(2) 人間・脳ドック補助

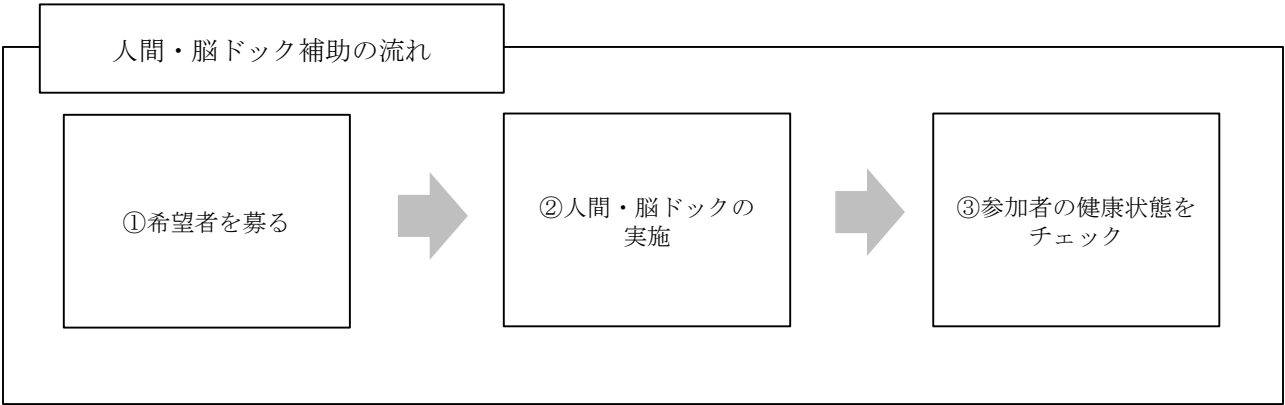
【事業目的】

生活習慣病の早期発見や発症予防

【事業概要】

40歳以上の国民健康保険被保険者に人間ドック20,000円、脳ドック27,000円を補助する。いずれも検査項目に特定健康診査の項目を含む。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
検診受診者人数	参加者の健康維持	参加者の検査値を確認

(3) 特定保健指導事業

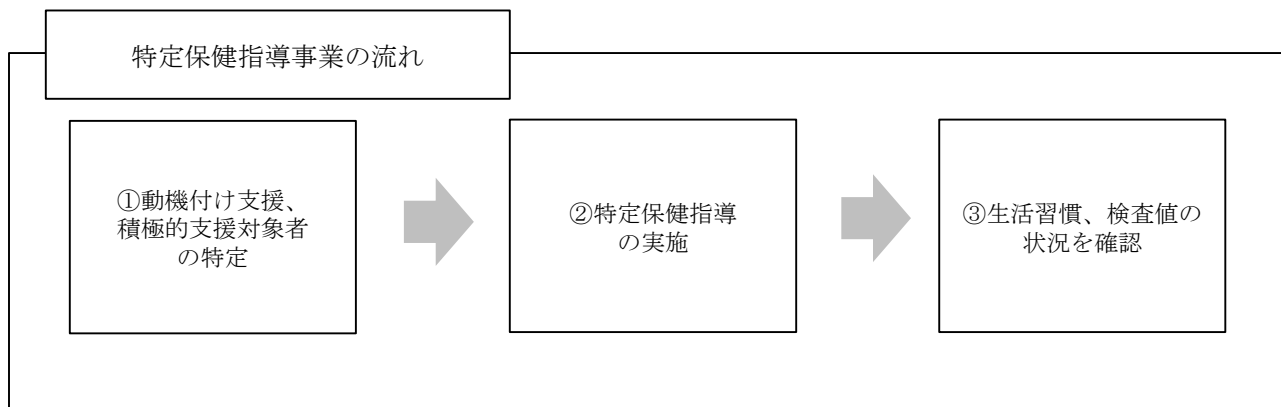
【事業目的】

生活習慣病の発症予防や重症化予防

【事業概要】

特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話、e-mail等で行う。

【事業内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
		目標	評価方法
対象者の指導実施率の向上	短期	指導完了者の生活習慣改善率 50%	指導前後の健康診査データから生活習慣の改善状況を確認する。
	中長期	指導実施率 60%	実施率を確認する。

(4) ポピュレーションアプローチ健康づくり

【事業目的】

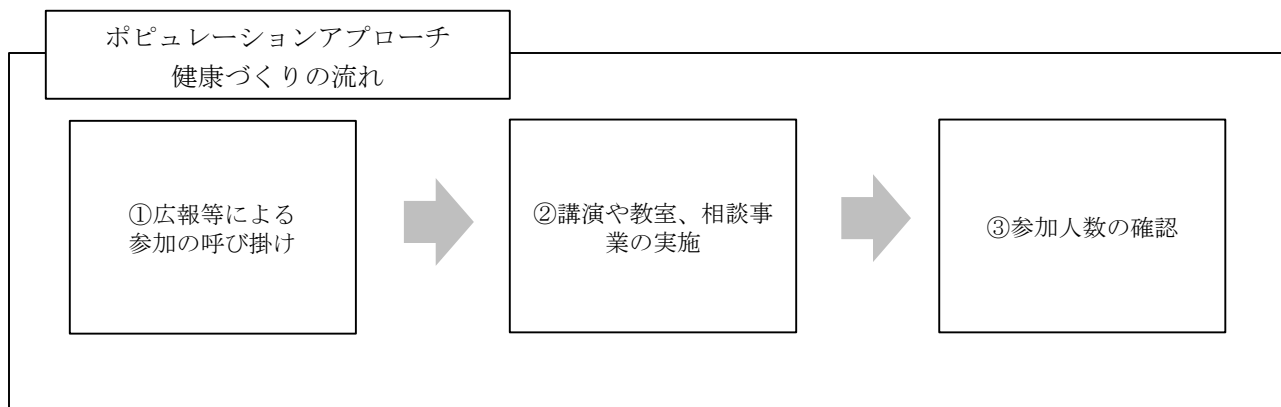
健康に対する意識の向上

自らが生活習慣の改善を図り健康づくりに取り組む

【事業概要】

生活習慣病予防や健康づくりに関する講演や教室、相談事業を実施する。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
事業の実施回数 事業の開催時期	参加者人数	各講演・教室の参加者人数の集計

(5) 生活習慣病未受療者の受診勧奨事業

【事業目的】

健診異常値を放置している対象者を医療機関受療につなげる

【実施概要】

特定健康診査受診後、その結果に異常値がある高血圧・脂質異常・高血糖の対象者で医療機関受療が確認できない対象者に対して、受診勧奨を行う。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者のうち、訪問・電話等で対応できた人の割合 70%	対象者のうち、受療確認できた人の割合 20%	受診勧奨後のレセプトデータで確認する。

(6)糖尿病性腎症重症化予防事業

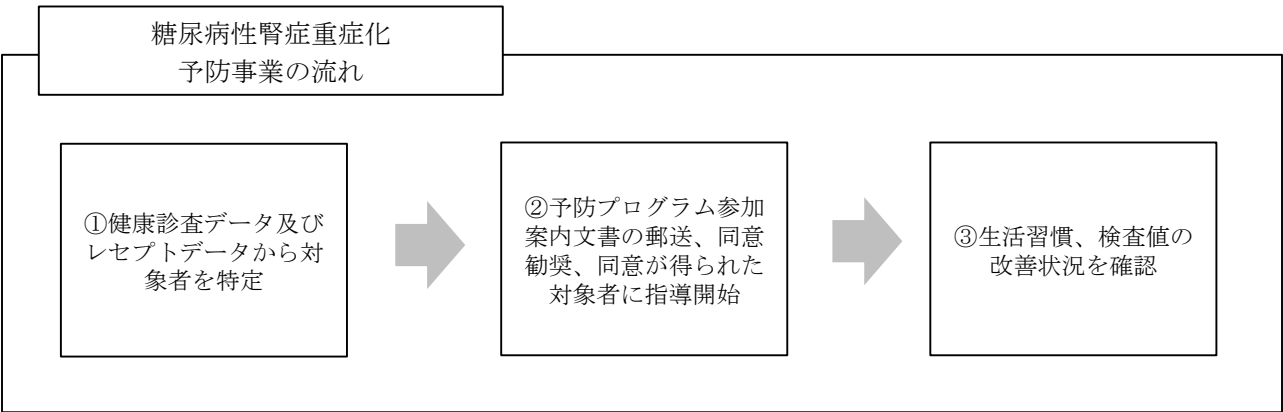
【事業目的】

糖尿病性腎症患者の病期進行阻止

【実施概要】

特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けることができるように専門職より対象者に6カ月間の面談指導と電話指導を行う。

【実施内容】



【目標】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者の指導実施率 20%以上	指導完了者の生活習慣改善率 70% 指導完了者の検査値改善率 70%	指導後の結果から生活習慣や検査値の改善状況を確認する。

(7) 受診行動適正化指導事業(重複・頻回受診、重複服薬)

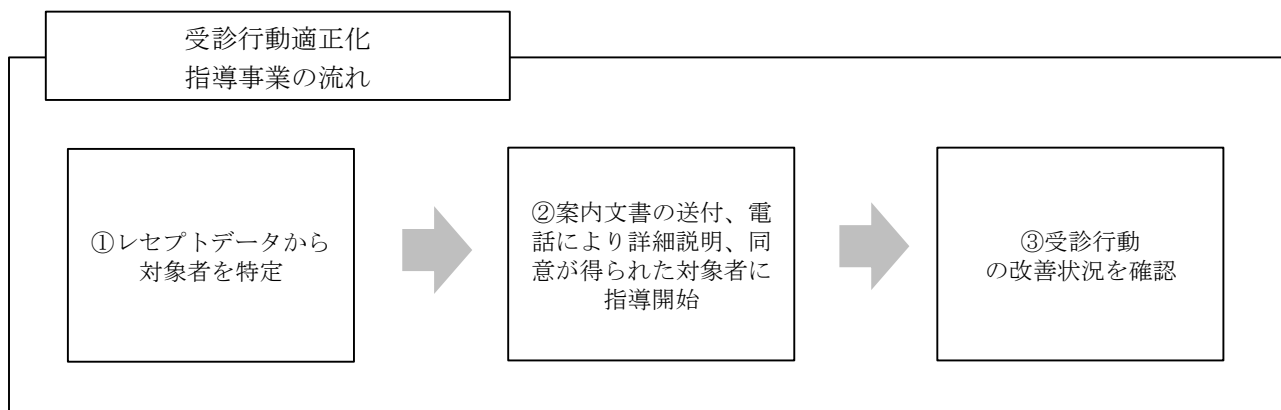
【事業目的】

重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少

【実施概要】

レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、専門職による指導を行う。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
	目標値		評価方法
対象者の指導実施率 50%以上	短期	指導完了者の受診行動適正化 50% 指導完了者の医療費 50%減少	指導後の医療機関受診状況を確認する。
	中長期	重複・頻回受診者、重複服薬者 20%減少	多受診対象者数の推移により確認する。

(8)ジェネリック医薬品差額通知事業

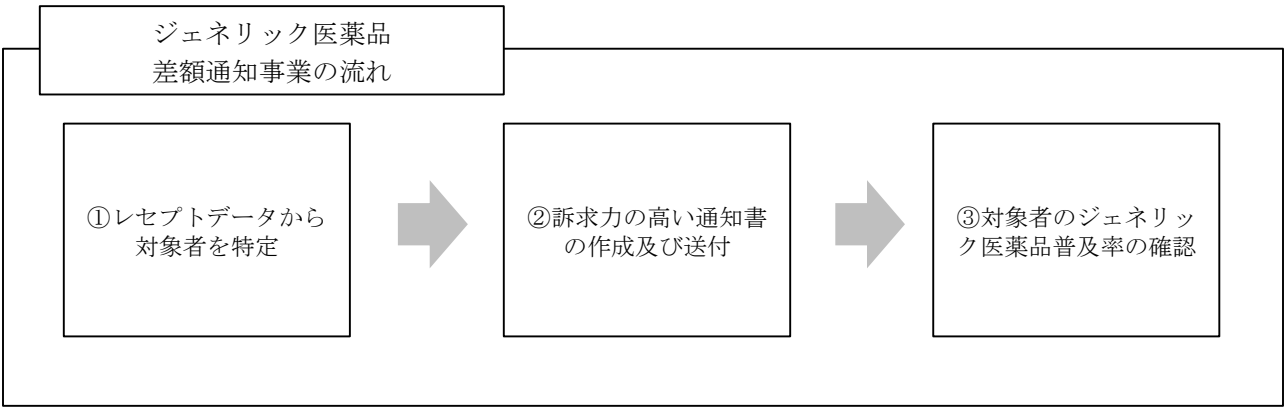
【事業目的】

ジェネリック医薬品の普及率向上

【実施概要】

レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への通知率 100%	ジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 80%	ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)推移により確認する。

(9) 薬剤併用禁忌防止事業

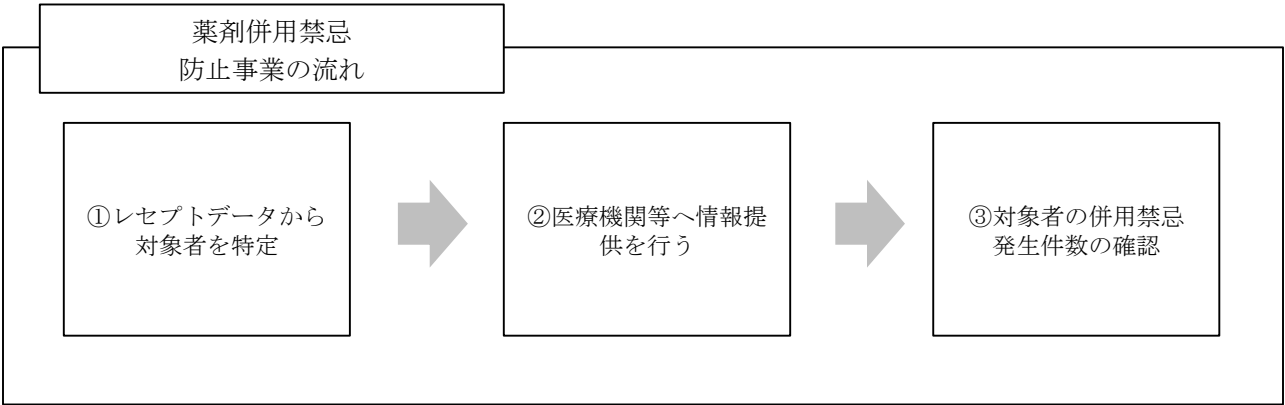
【事業目的】

薬剤併用禁忌の発生件数減少

【事業概要】

レセプトデータから、薬剤併用禁忌の発生状況を把握する。薬剤併用禁忌の対象者リストを作成し、医療機関等へ情報提供を行う。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
医療機関等への情報提供 100%	薬剤併用禁忌対象者割合 10ポイント減少	薬剤併用禁忌対象者割合の推移により確認する。

(10)服薬情報通知事業

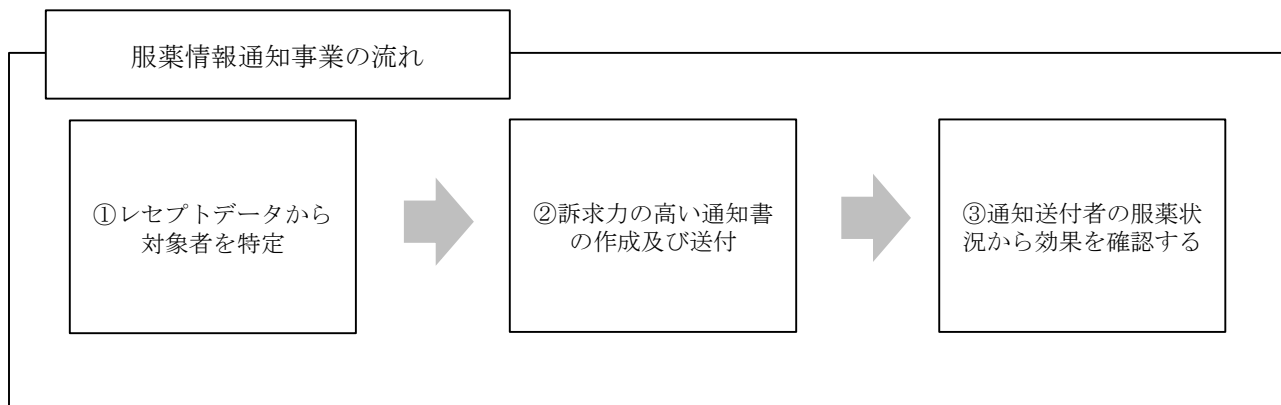
【事業目的】

服薬の適正化

【事業概要】

レセプトデータから、長期多剤服薬者を特定し通知書を送付する。また、通知後のレセプトデータから効果を確認する。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

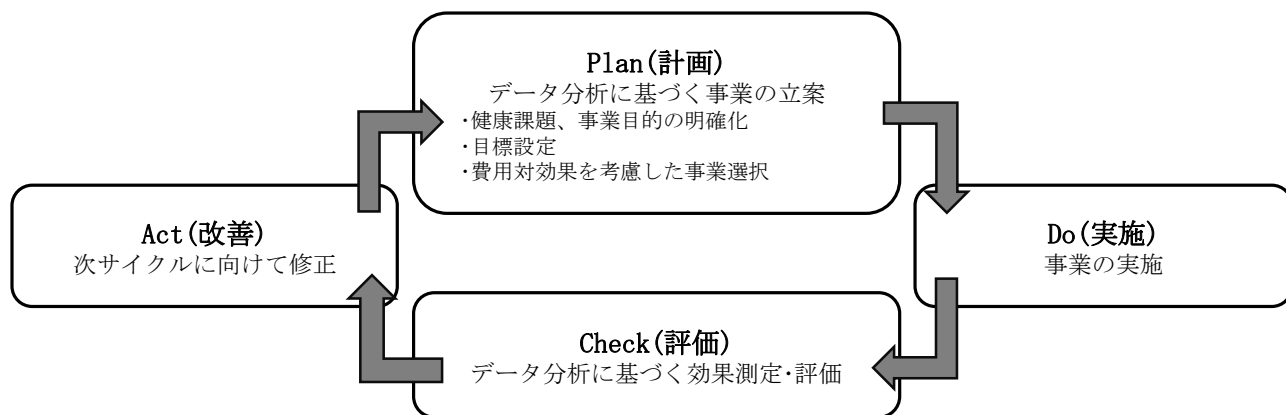
アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への通知率 100%	長期多剤服薬者割合 10ポイント減少	長期多剤服薬者割合の推移により確認する。

1. データヘルス計画の見直し

(1) 評価

本計画の目的及び目標の達成状況については、毎年度評価を行うこととする。また、中間期間等計画期間の途中で進捗確認・中間評価を行い、必要に応じて実施体制・目標値等の見直しを行う。最終年度においては、次の期の計画策定を円滑に行うため、上半期に仮評価を行うこととする。

評価・見直しに当たっては、他保険者と連携して行い、国民健康保険団体連合会に設置される支援・評価委員会に指導・助言を受けるものとする。



厚生労働省 保険局「データヘルス計画 作成の手引き」(平成26年12月)より

(2) 評価時期

本計画の評価については、各事業のスケジュールに基づき実施する。

2. 計画の公表・周知

本計画は、広報、ホームページ等で公表するとともに、本実施計画をあらゆる機会を通じて周知・啓発を図る。また、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施等について広く意見を求めるものとする。

3. 個人情報の取り扱い

個人情報の取り扱いについては、「個人情報の保護に関する法律」「国民健康保険組合における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」「個人情報保護条例」「情報セキュリティポリシー」に基づき管理する。また、業務を外部に委託する際も同様に取り扱われるよう委託契約書に定めるものとする。

4. 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項

高齢化の状況、地理的条件など、地域のおかれた現状によって必要とされる保健事業や対策も異なると考えられることから、地域包括ケアの充実を図り、地域の実態把握・課題分析を被保険者も含めた関係者間で共有し、連携して事業に取り組む。

地区分析

1. 大分類による疾病別医療費地区別統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費統計を地区別に示す。

文地区	布川地区	文間地区	東文間地区	もえぎ野台地区	四季の丘地区	その他
-----	------	------	-------	---------	--------	-----

【文地区】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	10,009,486	2.1%	12	1,476	13	378	9	26,480	14
II. 新生物<腫瘍>	89,264,258	18.4%	1	1,875	9	468	7	190,736	1
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	3,364,836	0.7%	15	568	16	159	15	21,162	15
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	49,777,966	10.2%	4	6,905	2	759	2	65,584	7
V. 精神及び行動の障害	30,089,309	6.2%	7	1,942	8	198	14	151,966	2
VI. 神経系の疾患	14,889,029	3.1%	11	3,512	6	373	10	39,917	12
VII. 眼及び付属器の疾患	22,852,477	4.7%	9	2,384	7	572	6	39,952	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,458,282	0.3%	16	549	17	144	16	10,127	18
IX. 循環器系の疾患	73,265,129	15.1%	2	7,709	1	737	4	99,410	4
X. 呼吸器系の疾患	25,871,959	5.3%	8	3,789	5	769	1	33,644	13
X I. 消化器系の疾患 ※	41,470,402	8.5%	5	5,816	3	749	3	55,368	9
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	7,290,067	1.5%	13	1,812	11	370	11	19,703	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	50,481,963	10.4%	3	4,779	4	624	5	80,901	5
X IV. 腎尿路生殖生殖器系の疾患	39,360,171	8.1%	6	1,644	12	326	12	120,737	3
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	301,300	0.1%	19	16	20	4	20	75,325	6
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	1,070,351	0.2%	17	81	18	21	18	50,969	10
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6,861,577	1.4%	14	1,834	10	416	8	16,494	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	17,729,706	3.6%	10	963	14	292	13	60,718	8
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	655,500	0.1%	18	717	15	141	17	4,649	19
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	77,932	0.0%	20	59	19	19	19	4,102	20
合計	486,141,700			21,880		1,398		347,741	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

文地区	布川地区	文間地区	東文間地区	もえぎ野台地区	四季の丘地区	その他
-----	------	------	-------	---------	--------	-----

【布川地区】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	24,937,090	3.2%	11	2,638	13	668	10	37,331	12
II. 新生物＜腫瘍＞	160,427,455	20.8%	1	2,904	12	729	7	220,065	3
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	7,379,913	1.0%	15	890	16	245	15	30,122	14
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	86,367,277	11.2%	3	12,166	2	1,217	3	70,967	6
V. 精神及び行動の障害	59,927,580	7.8%	5	3,355	10	291	14	205,937	4
VI. 神経系の疾患	34,884,570	4.5%	9	5,509	6	574	11	60,775	8
VII. 眼及び付属器の疾患	44,129,207	5.7%	7	4,346	7	1,004	6	43,953	10
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,925,125	0.4%	17	621	17	201	17	14,553	17
IX. 循環器系の疾患	114,743,460	14.8%	2	13,481	1	1,191	4	96,342	5
X. 呼吸器系の疾患	38,540,707	5.0%	8	6,638	5	1,266	2	30,443	13
X I. 消化器系の疾患 ※	55,732,107	7.2%	6	10,902	3	1,318	1	42,285	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	13,412,475	1.7%	12	3,497	8	681	9	19,695	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	67,837,955	8.8%	4	9,573	4	1,117	5	60,732	9
X IV. 腎尿路生殖生殖器系の疾患	32,785,992	4.2%	10	2,922	11	522	12	62,808	7
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	2,999,017	0.4%	16	50	20	10	20	299,902	2
X VI. 周産期に発生した病態 ※	1,844,731	0.2%	18	17	21	6	21	307,455	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	318,471	0.0%	20	102	19	35	18	9,099	19
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	10,573,870	1.4%	14	3,456	9	727	8	14,545	18
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	12,499,090	1.6%	13	1,615	14	432	13	28,933	15
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	463,264	0.1%	19	1,248	15	225	16	2,059	21
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	63,484	0.0%	21	106	18	23	19	2,760	20
合計	772,792,840			36,980		2,333		331,244	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

文地区	布川地区	文間地区	東文間地区	もえぎ野台地区	四季の丘地区	その他
-----	------	------	-------	---------	--------	-----

【文間地区】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	5,181,243	4.0%	11	434	13	121	9	42,820	8
II. 新生物<腫瘍>	22,037,887	17.0%	1	487	12	122	8	180,638	2
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	227,066	0.2%	16	144	17	35	16	6,488	16
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	14,060,278	10.8%	3	2,284	2	215	4	65,397	6
V. 精神及び行動の障害	12,903,360	9.9%	5	664	7	63	14	204,815	1
VI. 神経系の疾患	7,778,022	6.0%	7	1,028	6	100	11	77,780	5
VII. 眼及び付属器の疾患	3,413,397	2.6%	12	661	8	138	6	24,735	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	565,806	0.4%	15	199	15	43	15	13,158	15
IX. 循環器系の疾患	18,105,090	13.9%	2	2,685	1	220	3	82,296	4
X. 呼吸器系の疾患	8,041,762	6.2%	6	1,259	5	242	1	33,230	11
X I. 消化器系の疾患 ※	13,098,300	10.1%	4	1,960	3	229	2	57,198	7
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	5,701,220	4.4%	10	641	9	138	6	41,313	9
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	6,934,381	5.3%	9	1,631	4	193	5	35,929	10
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	7,529,039	5.8%	8	616	10	85	13	88,577	3
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	8,120	0.0%	20	2	20	2	20	4,060	17
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	13,831	0.0%	18	7	19	4	18	3,458	18
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,158,142	1.7%	14	547	11	120	10	17,985	14
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	2,192,201	1.7%	13	257	14	92	12	23,828	13
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	54,094	0.0%	17	174	16	19	17	2,847	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	11,731	0.0%	19	17	18	4	18	2,933	19
合計	130,014,970			6,981		451		288,282	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

文地区	布川地区	文間地区	東文間地区	もえぎ野台地区	四季の丘地区	その他
-----	------	------	-------	---------	--------	-----

【東文間地区】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	12,292,215	6.6%	6	696	10	176	7	69,842	4
II. 新生物<腫瘍>	44,156,462	23.6%	1	627	13	143	9	308,786	1
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	1,024,371	0.5%	15	172	16	48	16	21,341	14
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	15,365,041	8.2%	4	2,655	2	253	4	60,731	8
V. 精神及び行動の障害	4,947,390	2.6%	12	840	9	75	14	65,965	6
VI. 神経系の疾患	7,325,808	3.9%	10	1,239	6	120	11	61,048	7
VII. 眼及び付属器の疾患	7,888,766	4.2%	9	921	7	198	6	39,842	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	499,022	0.3%	16	152	17	51	15	9,785	17
IX. 循環器系の疾患	31,617,350	16.9%	2	3,618	1	280	2	112,919	2
X. 呼吸器系の疾患	9,392,250	5.0%	8	1,442	5	284	1	33,071	12
X I. 消化器系の疾患 ※	14,507,234	7.8%	5	2,450	3	280	2	51,812	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	2,428,601	1.3%	14	853	8	172	8	14,120	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	15,424,904	8.3%	3	1,980	4	230	5	67,065	5
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	10,346,962	5.5%	7	685	11	105	13	98,542	3
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	23,477	0.0%	20	4	20	2	20	11,739	16
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	77,127	0.0%	18	26	19	8	18	9,641	18
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,382,732	1.8%	13	675	12	142	10	23,822	13
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	5,851,873	3.1%	11	311	14	112	12	52,249	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	240,519	0.1%	17	228	15	40	17	6,013	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	45,656	0.0%	19	30	18	7	19	6,522	19
合計	186,837,760			8,463		520		359,303	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

文地区	布川地区	文間地区	東文間地区	もえぎ野台地区	四季の丘地区	その他
-----	------	------	-------	---------	--------	-----

【もえぎ野台地区】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	1,558,297	1.9%	13	356	9	81	8	19,238	15
II. 新生物<腫瘍>	18,010,123	21.8%	1	289	13	73	10	246,714	1
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	4,039,183	4.9%	8	115	16	24	16	168,299	3
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	7,737,481	9.4%	4	977	4	114	3	67,873	9
V. 精神及び行動の障害	3,458,543	4.2%	9	471	7	43	14	80,431	8
VI. 神経系の疾患	3,216,372	3.9%	10	676	6	62	12	51,877	10
VII. 眼及び付属器の疾患	2,434,802	2.9%	12	356	9	97	7	25,101	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	336,980	0.4%	18	162	14	35	15	9,628	18
IX. 循環器系の疾患	9,408,620	11.4%	2	1,153	2	114	3	82,532	6
X. 呼吸器系の疾患	6,908,045	8.4%	5	1,167	1	178	1	38,809	12
X I. 消化器系の疾患 ※	5,338,471	6.5%	7	1,092	3	137	2	38,967	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	2,923,114	3.5%	11	430	8	104	5	28,107	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	8,222,096	10.0%	3	805	5	102	6	80,609	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	6,201,297	7.5%	6	324	12	63	11	98,433	5
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	418,040	0.5%	17	9	19	3	19	139,347	4
X VI. 周産期に発生した病態 ※	469,217	0.6%	16	3	21	2	20	234,609	2
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	22,109	0.0%	20	15	18	4	18	5,527	19
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	892,690	1.1%	14	343	11	77	9	11,593	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	884,353	1.1%	15	147	15	53	13	16,686	16
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	55,131	0.1%	19	77	17	15	17	3,675	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	3,776	0.0%	21	7	20	2	20	1,888	21
合計	82,538,740			3,788		309		267,116	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

文地区	布川地区	文間地区	東文間地区	もえぎ野台地区	四季の丘地区	その他
-----	------	------	-------	---------	--------	-----

【四季の丘地区】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	2,887,795	5.3%	7	236	9	66	4	43,754	9
II. 新生物<腫瘍>	17,336,884	32.1%	1	163	11	44	10	394,020	1
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	340,442	0.6%	16	65	16	12	16	28,370	11
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	3,535,546	6.5%	6	521	4	64	5	55,243	6
V. 精神及び行動の障害	6,516,500	12.1%	2	245	8	23	14	283,326	2
VI. 神経系の疾患	1,701,952	3.2%	10	280	7	31	13	54,902	7
VII. 眼及び付属器の疾患	1,386,210	2.6%	11	190	10	60	7	23,104	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	455,238	0.8%	14	70	15	18	15	25,291	12
IX. 循環器系の疾患	3,843,671	7.1%	5	563	3	56	8	68,637	5
X. 呼吸器系の疾患	2,233,341	4.1%	9	584	1	121	1	18,457	15
X I. 消化器系の疾患 ※	4,778,231	8.8%	3	575	2	88	2	54,298	8
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	757,237	1.4%	12	292	6	72	3	10,517	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	2,432,256	4.5%	8	427	5	61	6	39,873	10
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	755,537	1.4%	13	132	14	32	12	23,611	13
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	206,500	0.4%	17	7	19	2	19	103,250	4
X VI. 周産期に発生した病態 ※	6,030	0.0%	20	1	21	1	20	6,030	18
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	12,187	0.0%	19	14	18	7	18	1,741	21
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	440,197	0.8%	15	162	12	51	9	8,631	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	4,339,956	8.0%	4	139	13	36	11	120,554	3
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	23,353	0.0%	18	62	17	10	17	2,335	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	2,997	0.0%	21	2	20	1	20	2,997	19
合計	53,992,060			2,325		196		275,470	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

文地区	布川地区	文間地区	東文間地区	もえぎ野台地区	四季の丘地区	その他
-----	------	------	-------	---------	--------	-----

【その他】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	378,735	1.0%	14	65	12	27	5	14,027	15
II. 新生物＜腫瘍＞	7,337,088	19.0%	1	67	11	20	9	366,854	2
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	941,275	2.4%	11	22	16	7	16	134,468	6
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	1,449,553	3.8%	9	189	3	29	3	49,985	11
V. 精神及び行動の障害	3,482,966	9.0%	5	153	6	13	14	267,920	3
VI. 神経系の疾患	6,615,689	17.1%	2	271	1	18	11	367,538	1
VII. 眼及び付属器の疾患	457,151	1.2%	13	49	14	18	11	25,397	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	40,842	0.1%	17	26	15	10	15	4,084	19
IX. 循環器系の疾患	3,655,533	9.5%	4	162	5	23	8	158,936	5
X. 呼吸器系の疾患	2,218,145	5.7%	7	185	4	43	1	51,585	10
X I. 消化器系の疾患 ※	3,168,159	8.2%	6	245	2	35	2	90,519	7
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	699,617	1.8%	12	141	7	28	4	24,986	14
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	1,548,805	4.0%	8	135	8	25	7	61,952	9
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	5,046,149	13.1%	3	87	10	20	9	252,307	4
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	4,480	0.0%	19	2	19	1	19	4,480	18
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	0	0.0%		0		0		0	
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	318,382	0.8%	15	100	9	27	5	11,792	16
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	1,138,015	2.9%	10	60	13	15	13	75,868	8
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	107,489	0.3%	16	9	17	3	17	35,830	12
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	9,047	0.0%	18	7	18	2	18	4,524	17
合計	38,617,120			830		84		459,728	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

2. 中分類による疾病別医療費地区別統計

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、医療費が高額な上位10疾病を以下に示す。

文地区	布川地区	文間地区	東文間地区	もえぎ野台地区	四季の丘地区	その他
-----	------	------	-------	---------	--------	-----

【文地区】 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	35,906,658	7.4%	213
2	1402	腎不全	29,558,674	6.1%	29
3	0901	高血圧性疾患	26,550,577	5.5%	557
4	0402	糖尿病	24,687,367	5.1%	578
5	0903	その他の心疾患	19,394,231	4.0%	278
6	1113	その他の消化器系の疾患	18,119,933	3.7%	456
7	0403	脂質異常症	16,294,836	3.4%	396
8	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	15,984,883	3.3%	58
9	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	12,298,254	2.5%	191
10	1302	関節症	12,209,582	2.5%	185

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合
集計できない。そのため他統計と一致しない。

【布川地区】 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0402	糖尿病	50,803,582	6.6%	885
2	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	46,413,868	6.0%	88
3	0901	高血圧性疾患	39,585,666	5.1%	937
4	0210	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	36,499,700	4.7%	324
5	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	35,844,563	4.6%	85
6	0903	その他の心疾患	30,474,334	3.9%	381
7	1113	その他の消化器系の疾患	28,885,672	3.7%	795
8	0704	その他の眼及び付属器の疾患	25,949,647	3.4%	759
9	0403	脂質異常症	23,668,445	3.1%	628
10	0606	その他の神経系の疾患	19,542,513	2.5%	529

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合
集計できない。そのため他統計と一致しない。

文地区	布川地区	文間地区	東文間地区	もえぎ野台地区	四季の丘地区	その他
-----	------	------	-------	---------	--------	-----

【文間地区】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	10,783,296	8.3%	45
2	0901	高血圧性疾患	8,588,817	6.6%	180
3	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	8,012,084	6.2%	18
4	0402	糖尿病	7,649,352	5.9%	162
5	0606	その他の神経系の疾患	6,281,494	4.8%	93
6	1113	その他の消化器系の疾患	5,225,379	4.0%	142
7	1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	4,746,656	3.7%	69
8	0403	脂質異常症	4,496,070	3.5%	99
9	1402	腎不全	4,401,730	3.4%	4
10	0903	その他の心疾患	4,361,349	3.4%	69

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【東文間地区】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	31,273,082	16.7%	65
2	0901	高血圧性疾患	10,320,015	5.5%	233
3	0902	虚血性心疾患	9,917,246	5.3%	55
4	0105	ウイルス性肝炎	9,821,040	5.3%	23
5	1113	その他の消化器系の疾患	9,224,400	4.9%	165
6	0402	糖尿病	8,626,587	4.6%	192
7	1402	腎不全	7,186,217	3.8%	10
8	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	5,910,265	3.2%	23
9	0704	その他の眼及び付属器の疾患	5,388,418	2.9%	145
10	0403	脂質異常症	5,078,883	2.7%	117

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

文地区	布川地区	文間地区	東文間地区	もえぎ野台地区	四季の丘地区	その他
-----	------	------	-------	---------	--------	-----

【もえぎ野台地区】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	14,854,736	18.0%	38
2	1402 腎不全	4,628,497	5.6%	4
3	0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	4,020,017	4.9%	19
4	0901 高血圧性疾患	3,264,117	4.0%	83
5	0402 糖尿病	2,853,606	3.5%	87
6	1113 その他の消化器系の疾患	2,773,242	3.4%	81
7	0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	2,546,139	3.1%	40
8	1309 骨の密度及び構造の障害	2,379,594	2.9%	15
9	1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	2,226,850	2.7%	60
10	0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	2,126,289	2.6%	9

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【四季の丘地区】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	8,049,159	14.9%	2
2	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	7,976,250	14.8%	19
3	0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	5,518,737	10.2%	10
4	1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	3,805,544	7.0%	2
5	1113 その他の消化器系の疾患	3,743,705	6.9%	60
6	0402 糖尿病	2,184,022	4.0%	47
7	0105 ウイルス性肝炎	2,125,035	3.9%	6
8	0901 高血圧性疾患	1,922,116	3.6%	42
9	0606 その他の神経系の疾患	1,520,399	2.8%	27
10	0403 脂質異常症	1,150,294	2.1%	32

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

文地区	布川地区	文間地区	東文間地区	もえぎ野台地区	四季の丘地区	その他
-----	------	------	-------	---------	--------	-----

【その他】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)	患者数(人)
1	0603	てんかん	5,096,244	13.2%	4
2	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	4,613,572	11.9%	2
3	1402	腎不全	4,543,282	11.8%	2
4	1113	その他の消化器系の疾患	2,671,778	6.9%	22
5	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	2,513,601	6.5%	6
6	0902	虚血性心疾患	2,197,587	5.7%	3
7	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	1,725,453	4.5%	4
8	1011	その他の呼吸器系の疾患	1,045,409	2.7%	15
9	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	897,112	2.3%	7
10	0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	879,415	2.3%	3

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、患者数が多い上位10疾病を以下に示す。

文地区	布川地区	文間地区	東文間地区	もえぎ野台地区	四季の丘地区	その他
-----	------	------	-------	---------	--------	-----

【文地区】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402	糖尿病	24,687,367	578	41.3%
2	0901	高血圧性疾患	26,550,577	557	39.8%
3	0703	屈折及び調節の障害	1,614,340	481	34.4%
4	1113	その他の消化器系の疾患	18,119,933	456	32.6%
5	1105	胃炎及び十二指腸炎	4,580,571	437	31.3%
6	0704	その他の眼及び付属器の疾患	11,987,600	421	30.1%
7	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6,861,577	416	29.8%
8	0403	脂質異常症	16,294,836	396	28.3%
9	1006	アレルギー性鼻炎	3,920,575	393	28.1%
10	1003	その他の急性上気道感染症	2,646,692	380	27.2%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【布川地区】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	39,585,666	937	40.2%
2	0402	糖尿病	50,803,582	885	37.9%
3	1105	胃炎及び十二指腸炎	10,920,944	847	36.3%
4	0703	屈折及び調節の障害	2,686,276	805	34.5%
5	1113	その他の消化器系の疾患	28,885,672	795	34.1%
6	0704	その他の眼及び付属器の疾患	25,949,647	759	32.5%
7	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	10,573,870	727	31.2%
8	0403	脂質異常症	23,668,445	628	26.9%
9	1006	アレルギー性鼻炎	6,785,172	623	26.7%
10	1003	その他の急性上気道感染症	3,158,231	582	24.9%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

文地区	布川地区	文間地区	東文間地区	もえぎ野台地区	四季の丘地区	その他
-----	------	------	-------	---------	--------	-----

【文間地区】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	8,588,817	180	39.9%
2	0402	糖尿病	7,649,352	162	35.9%
3	1113	その他の消化器系の疾患	5,225,379	142	31.5%
4	1105	胃炎及び十二指腸炎	1,721,326	127	28.2%
5	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,158,142	120	26.6%
6	1003	その他の急性上気道感染症	694,912	112	24.8%
7	0703	屈折及び調節の障害	373,606	106	23.5%
8	1006	アレルギー性鼻炎	1,309,404	103	22.8%
9	0403	脂質異常症	4,496,070	99	22.0%
10	0606	その他の神経系の疾患	6,281,494	93	20.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【東文間地区】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	10,320,015	233	44.8%
2	0402	糖尿病	8,626,587	192	36.9%
3	1105	胃炎及び十二指腸炎	2,321,477	171	32.9%
4	1113	その他の消化器系の疾患	9,224,400	165	31.7%
5	0703	屈折及び調節の障害	589,270	161	31.0%
6	1003	その他の急性上気道感染症	953,049	148	28.5%
7	0704	その他の眼及び付属器の疾患	5,388,418	145	27.9%
8	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,382,732	142	27.3%
9	1202	皮膚炎及び湿疹	1,110,092	122	23.5%
10	0403	脂質異常症	5,078,883	117	22.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

文地区	布川地区	文間地区	東文間地区	もえぎ野台地区	四季の丘地区	その他
-----	------	------	-------	---------	--------	-----

【もえぎ野台地区】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1003	その他の急性上気道感染症	748,314	106	34.3%
2	1006	アレルギー性鼻炎	1,038,159	90	29.1%
3	0402	糖尿病	2,853,606	87	28.2%
4	1105	胃炎及び十二指腸炎	1,151,515	84	27.2%
5	0901	高血圧性疾患	3,264,117	83	26.9%
6	1113	その他の消化器系の疾患	2,773,242	81	26.2%
7	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	892,690	77	24.9%
8	0703	屈折及び調節の障害	276,724	73	23.6%
9	1202	皮膚炎及び湿疹	629,274	70	22.7%
10	1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	332,384	64	20.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【四季の丘地区】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1006	アレルギー性鼻炎	513,455	67	34.2%
2	1003	その他の急性上気道感染症	351,785	62	31.6%
3	1113	その他の消化器系の疾患	3,743,705	60	30.6%
4	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	440,197	51	26.0%
5	1105	胃炎及び十二指腸炎	552,790	50	25.5%
6	0402	糖尿病	2,184,022	47	24.0%
7	1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	126,075	46	23.5%
8	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	247,000	44	22.4%
9	1202	皮膚炎及び湿疹	296,072	43	21.9%
10	0901	高血圧性疾患	1,922,116	42	21.4%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

文地区	布川地区	文間地区	東文間地区	もえぎ野台地区	四季の丘地区	その他
-----	------	------	-------	---------	--------	-----

【その他】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	318,382	27	32.1%
2	1105 胃炎及び十二指腸炎	216,224	24	28.6%
3	1113 その他の消化器系の疾患	2,671,778	22	26.2%
4	1202 皮膚炎及び湿疹	431,326	21	25.0%
4	1003 その他の急性上気道感染症	243,918	21	25.0%
6	0402 糖尿病	703,827	18	21.4%
7	1011 その他の呼吸器系の疾患	1,045,409	15	17.9%
7	0606 その他の神経系の疾患	698,954	15	17.9%
9	1002 急性咽頭炎及び急性扁桃炎	428,665	14	16.7%
9	1006 アレルギー性鼻炎	186,809	14	16.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

年度別 特定健康診査結果分析

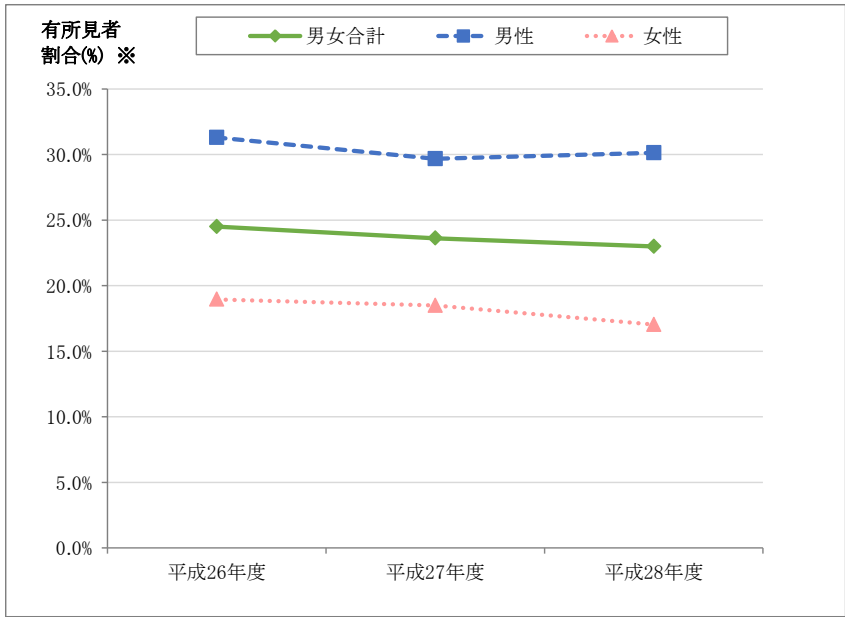
1. 有所見者割合

平成26年度から平成28年度の特定健康診査受診者における有所見者割合を年度別に示す。

年度別 有所見者割合 (BMI)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,126	2,155	2,088
	有所見者数(人) ※	521	509	480
	有所見者割合(%) ※	24.5%	23.6%	23.0%
男性	対象者数(人) ※	955	987	949
	有所見者数(人) ※	299	293	286
	有所見者割合(%) ※	31.3%	29.7%	30.1%
女性	対象者数(人) ※	1,171	1,168	1,139
	有所見者数(人) ※	222	216	194
	有所見者割合(%) ※	19.0%	18.5%	17.0%

年度別 有所見者割合 (BMI)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

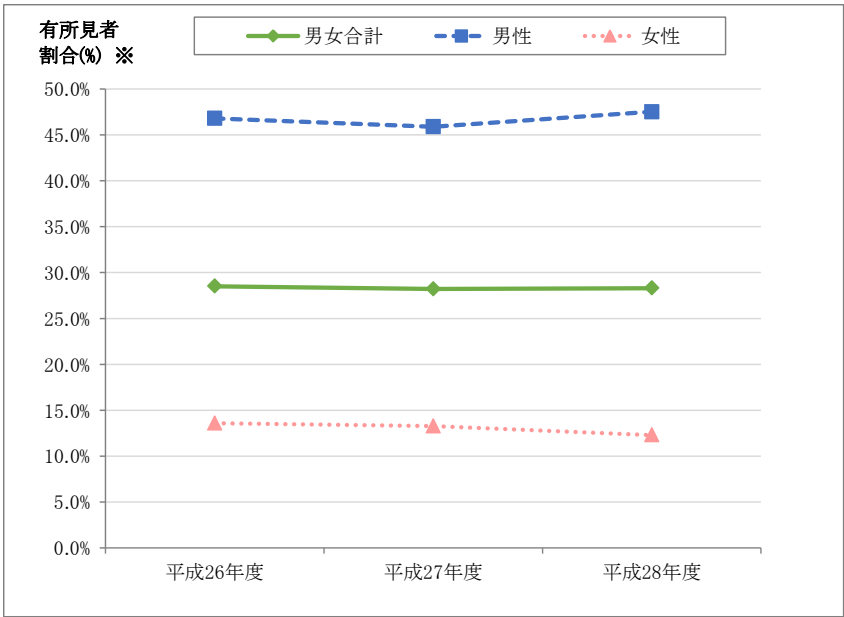
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

BMI:25以上

年度別 有所見者割合(腹囲)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,126	2,155	2,088
	有所見者数(人) ※	606	608	591
	有所見者割合(%) ※	28.5%	28.2%	28.3%
男性	対象者数(人) ※	955	987	949
	有所見者数(人) ※	447	453	451
	有所見者割合(%) ※	46.8%	45.9%	47.5%
女性	対象者数(人) ※	1,171	1,168	1,139
	有所見者数(人) ※	159	155	140
	有所見者割合(%) ※	13.6%	13.3%	12.3%

年度別 有所見者割合(腹囲)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

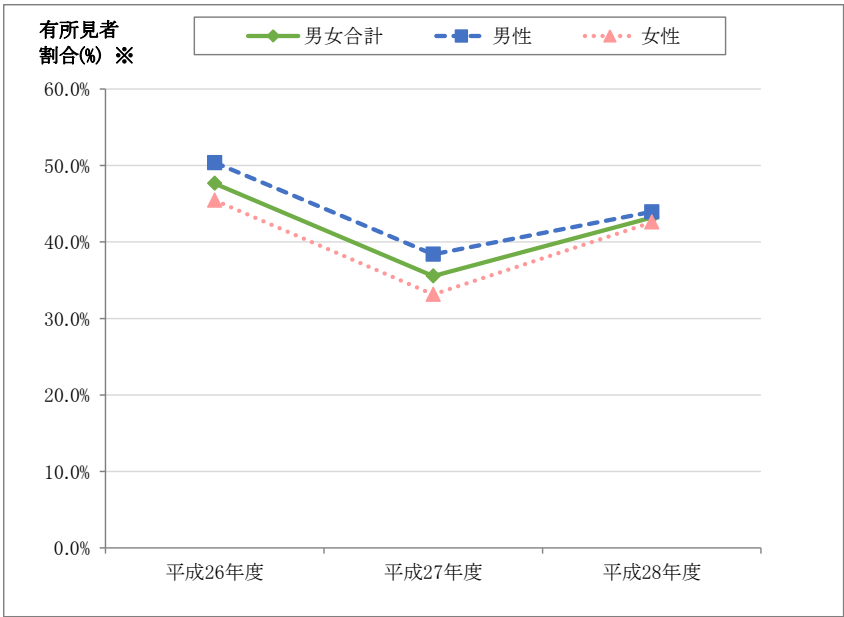
保健指導判定値により有所見を判定する。

腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,126	2,155	2,088
	有所見者数(人) ※	1,013	766	902
	有所見者割合(%) ※	47.6%	35.5%	43.2%
男性	対象者数(人) ※	955	987	949
	有所見者数(人) ※	481	379	417
	有所見者割合(%) ※	50.4%	38.4%	43.9%
女性	対象者数(人) ※	1,171	1,168	1,139
	有所見者数(人) ※	532	387	485
	有所見者割合(%) ※	45.4%	33.1%	42.6%

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

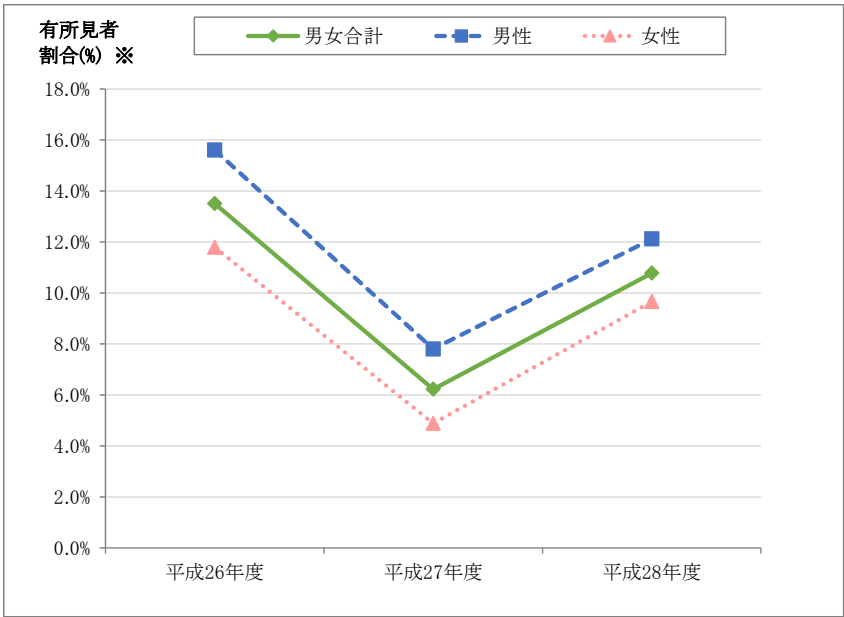
保健指導判定値により有所見を判定する。

収縮期血圧:130mmHg以上

年度別 有所見者割合(拡張期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,126	2,155	2,088
	有所見者数(人) ※	287	134	225
	有所見者割合(%) ※	13.5%	6.2%	10.8%
男性	対象者数(人) ※	955	987	949
	有所見者数(人) ※	149	77	115
	有所見者割合(%) ※	15.6%	7.8%	12.1%
女性	対象者数(人) ※	1,171	1,168	1,139
	有所見者数(人) ※	138	57	110
	有所見者割合(%) ※	11.8%	4.9%	9.7%

年度別 有所見者割合(拡張期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

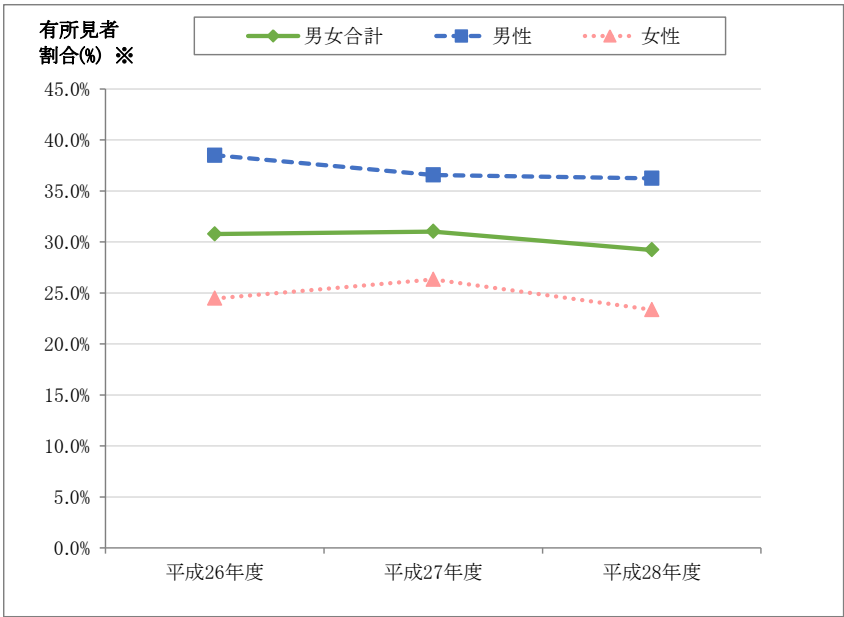
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

拡張期血圧:85mmHg以上

年度別 有所見者割合(中性脂肪)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,122	2,153	2,088
	有所見者数(人) ※	653	668	610
	有所見者割合(%) ※	30.8%	31.0%	29.2%
男性	対象者数(人) ※	953	987	949
	有所見者数(人) ※	367	361	344
	有所見者割合(%) ※	38.5%	36.6%	36.2%
女性	対象者数(人) ※	1,169	1,166	1,139
	有所見者数(人) ※	286	307	266
	有所見者割合(%) ※	24.5%	26.3%	23.4%

年度別 有所見者割合(中性脂肪)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

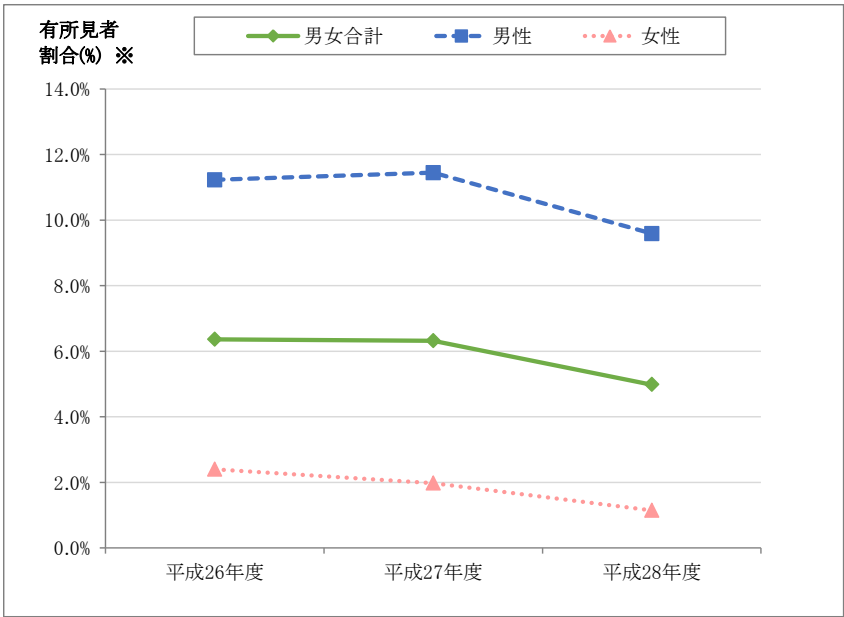
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

中性脂肪:150mg/dl以上

年度別 有所見者割合 (HDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,122	2,153	2,088
	有所見者数(人) ※	135	136	104
	有所見者割合(%) ※	6.4%	6.3%	5.0%
男性	対象者数(人) ※	953	987	949
	有所見者数(人) ※	107	113	91
	有所見者割合(%) ※	11.2%	11.4%	9.6%
女性	対象者数(人) ※	1,169	1,166	1,139
	有所見者数(人) ※	28	23	13
	有所見者割合(%) ※	2.4%	2.0%	1.1%

年度別 有所見者割合 (HDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

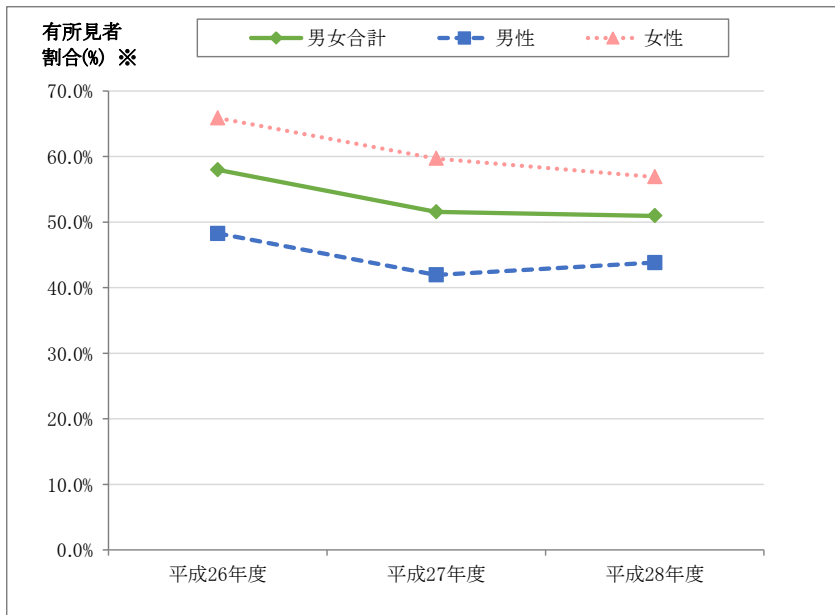
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

HDLコレステロール:39mg/dl以下

年度別 有所見者割合 (LDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,122	2,153	2,088
	有所見者数(人) ※	1,230	1,110	1,064
	有所見者割合(%) ※	58.0%	51.6%	51.0%
男性	対象者数(人) ※	953	987	949
	有所見者数(人) ※	460	414	416
	有所見者割合(%) ※	48.3%	41.9%	43.8%
女性	対象者数(人) ※	1,169	1,166	1,139
	有所見者数(人) ※	770	696	648
	有所見者割合(%) ※	65.9%	59.7%	56.9%

年度別 有所見者割合 (LDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

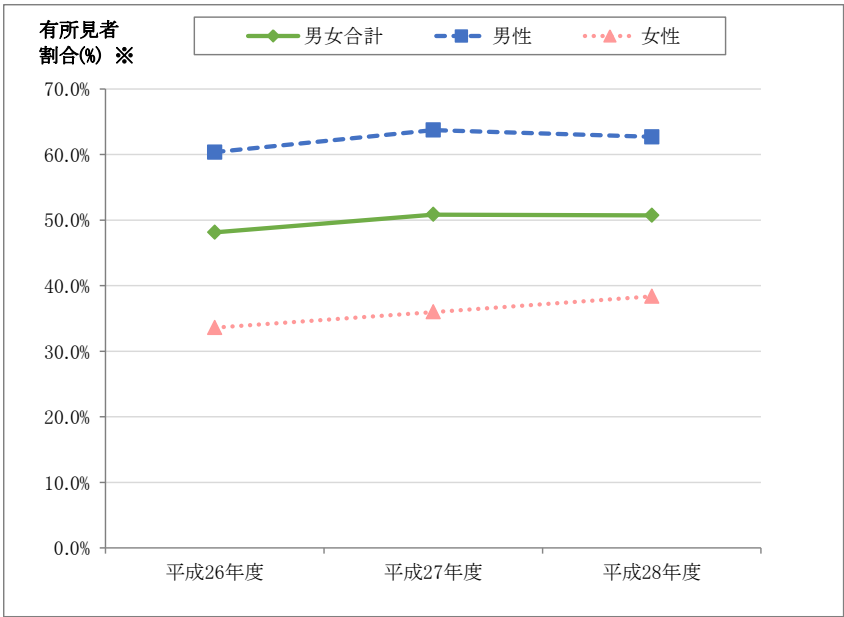
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

LDLコレステロール:120mg/dl以上

年度別 有所見者割合(空腹時血糖)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	293	299	349
	有所見者数(人) ※	141	152	177
	有所見者割合(%) ※	48.1%	50.8%	50.7%
男性	対象者数(人) ※	159	160	177
	有所見者数(人) ※	96	102	111
	有所見者割合(%) ※	60.4%	63.8%	62.7%
女性	対象者数(人) ※	134	139	172
	有所見者数(人) ※	45	50	66
	有所見者割合(%) ※	33.6%	36.0%	38.4%

年度別 有所見者割合(空腹時血糖)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

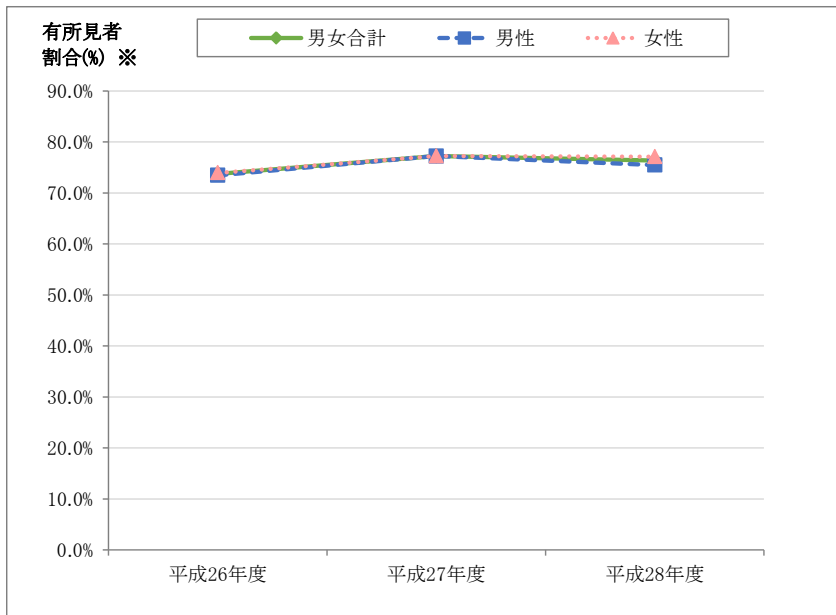
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

空腹時血糖値:100mg/dl以上

年度別 有所見者割合(HbA1c (NGSP))

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,113	2,149	2,083
	有所見者数(人) ※	1,558	1,660	1,591
	有所見者割合(%) ※	73.7%	77.2%	76.4%
男性	対象者数(人) ※	950	984	947
	有所見者数(人) ※	698	760	715
	有所見者割合(%) ※	73.5%	77.2%	75.5%
女性	対象者数(人) ※	1,163	1,165	1,136
	有所見者数(人) ※	860	900	876
	有所見者割合(%) ※	73.9%	77.3%	77.1%

年度別 有所見者割合(HbA1c (NGSP))



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

HbA1c:5.6%以上

2. 質問別回答状況

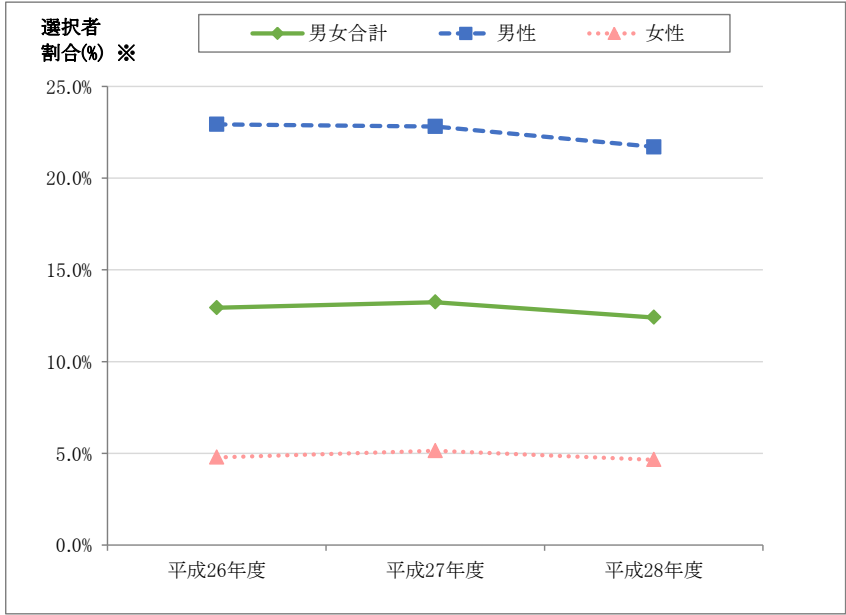
平成26年度から平成28年度の特定健康診査の質問票における喫煙習慣・運動習慣・食習慣・飲酒習慣・生活習慣に関する集計結果を年度別に示す。

①喫煙習慣

年度別「喫煙あり」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	2,126	2,153	2,088
	選択者数(人) ※	275	285	259
	選択者割合(%) ※	12.9%	13.2%	12.4%
男性	質問回答者数(人) ※	955	986	949
	選択者数(人) ※	219	225	206
	選択者割合(%) ※	22.9%	22.8%	21.7%
女性	質問回答者数(人) ※	1,171	1,167	1,139
	選択者数(人) ※	56	60	53
	選択者割合(%) ※	4.8%	5.1%	4.7%

年度別「喫煙あり」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…喫煙習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…喫煙習慣の質問に回答した人のうち、「喫煙あり」を選択した人の割合。

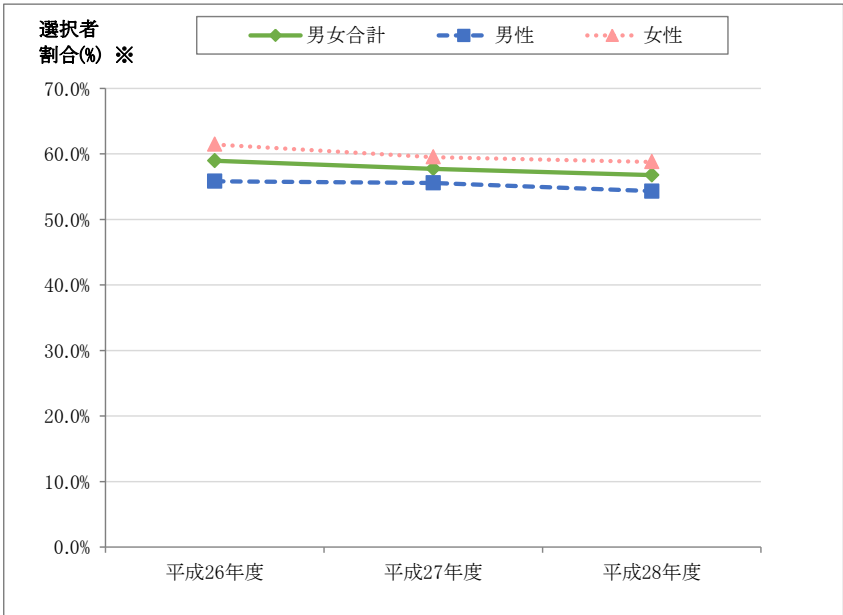
喫煙あり…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

②運動習慣

年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	1,971	2,032	2,086
	選択者数(人) ※	1,162	1,173	1,184
	選択者割合(%) ※	59.0%	57.7%	56.8%
男性	質問回答者数(人) ※	874	923	948
	選択者数(人) ※	488	513	515
	選択者割合(%) ※	55.8%	55.6%	54.3%
女性	質問回答者数(人) ※	1,097	1,109	1,138
	選択者数(人) ※	674	660	669
	選択者割合(%) ※	61.4%	59.5%	58.8%

年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

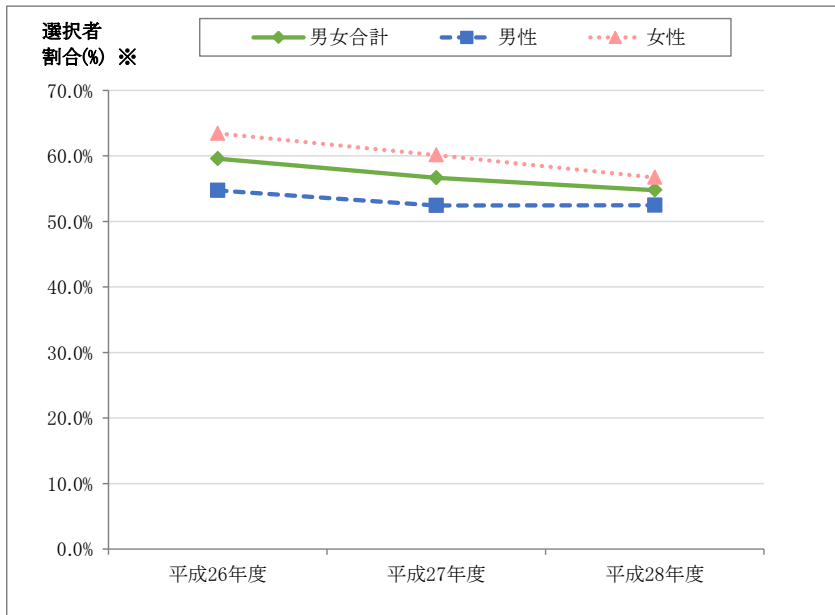
※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1回30分以上の運動習慣なし」を選択した人の割合。

1回30分以上の運動習慣なし…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	1,966	2,028	2,079
	選択者数(人) ※	1,171	1,149	1,139
	選択者割合(%) ※	59.6%	56.7%	54.8%
男性	質問回答者数(人) ※	875	919	947
	選択者数(人) ※	479	482	497
	選択者割合(%) ※	54.7%	52.4%	52.5%
女性	質問回答者数(人) ※	1,091	1,109	1,132
	選択者数(人) ※	692	667	642
	選択者割合(%) ※	63.4%	60.1%	56.7%

年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1日1時間以上の身体活動なし」を選択した人の割合。

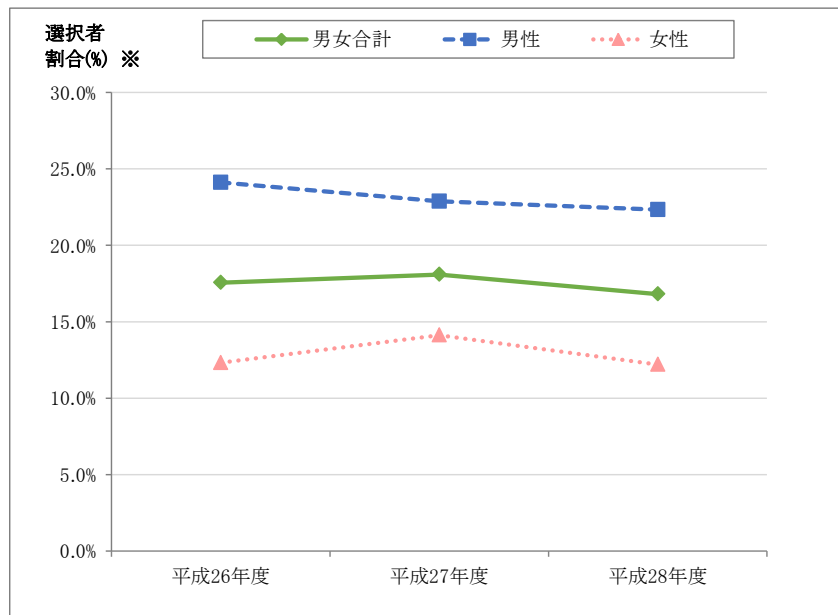
1日1時間以上の身体活動なし…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

③食習慣

年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	1,971	2,034	2,088
	選択者数(人) ※	346	368	351
	選択者割合(%) ※	17.6%	18.1%	16.8%
男性	質問回答者数(人) ※	875	922	949
	選択者数(人) ※	211	211	212
	選択者割合(%) ※	24.1%	22.9%	22.3%
女性	質問回答者数(人) ※	1,096	1,112	1,139
	選択者数(人) ※	135	157	139
	選択者割合(%) ※	12.3%	14.1%	12.2%

年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

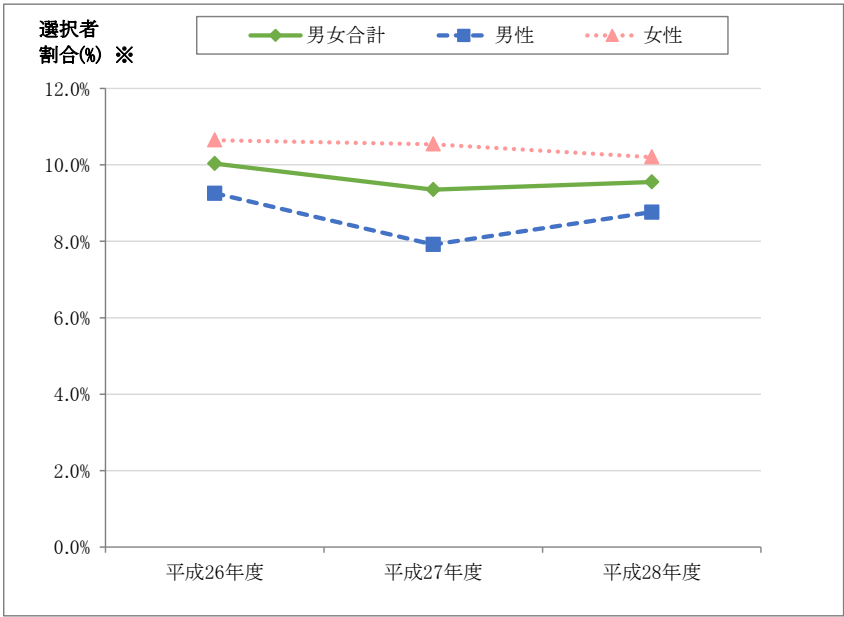
※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上就寝前に夕食」を選択した人の割合。

週3回以上就寝前に夕食…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	1,974	2,032	2,084
	選択者数(人) ※	198	190	199
	選択者割合(%) ※	10.0%	9.4%	9.5%
男性	質問回答者数(人) ※	875	922	947
	選択者数(人) ※	81	73	83
	選択者割合(%) ※	9.3%	7.9%	8.8%
女性	質問回答者数(人) ※	1,099	1,110	1,137
	選択者数(人) ※	117	117	116
	選択者割合(%) ※	10.6%	10.5%	10.2%

年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況



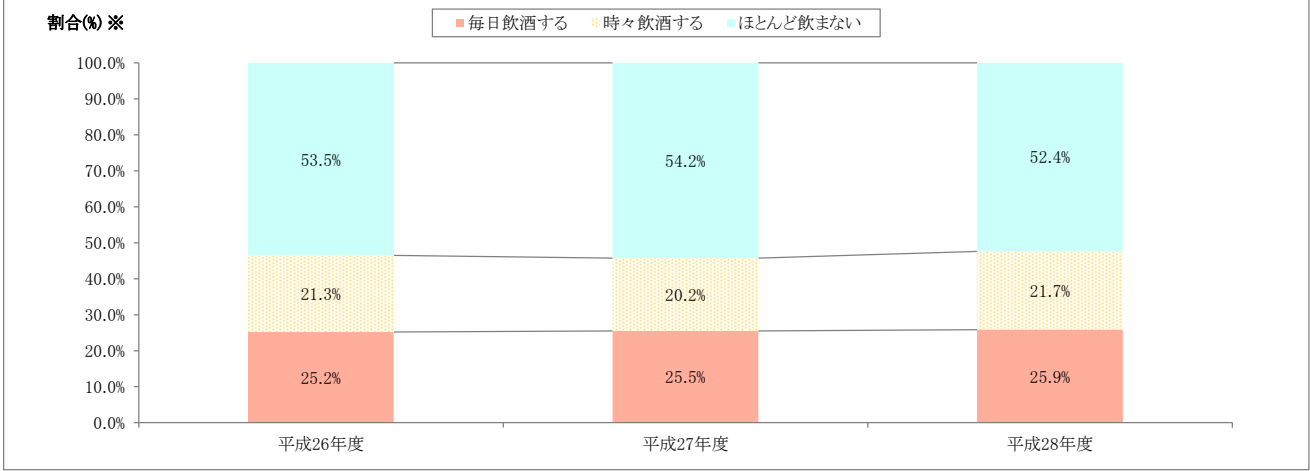
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。
※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。
※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。
※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上夕食後に間食」を選択した人の割合。
週3回以上夕食後に間食…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

④飲酒習慣

年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,984	500	25.2%	422	21.3%	1,062	53.5%
平成27年度	2,048	523	25.5%	414	20.2%	1,111	54.2%
平成28年度	2,084	539	25.9%	453	21.7%	1,092	52.4%

年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月 健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数 …飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

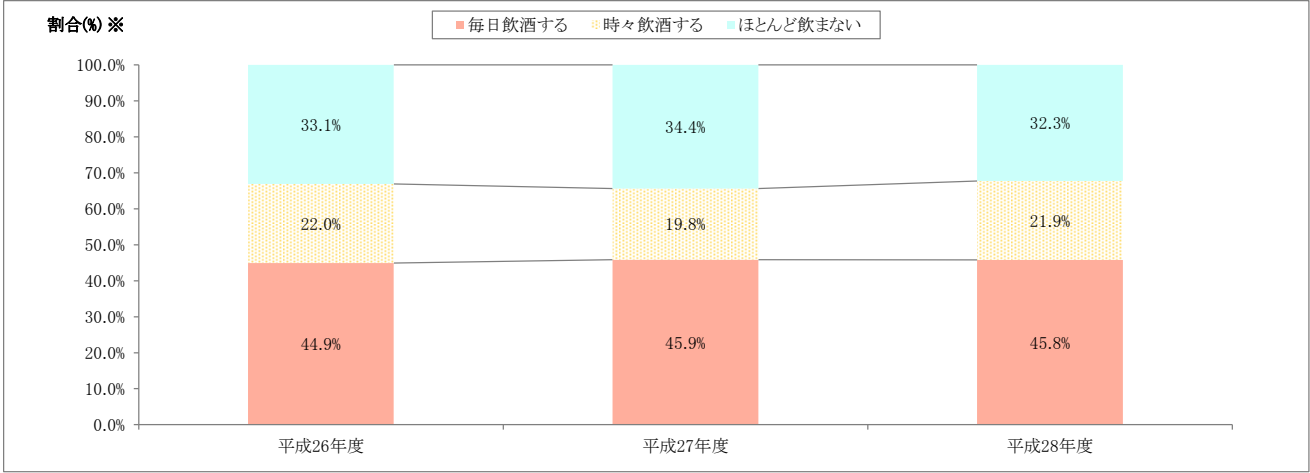
※割合 …飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	882	396	44.9%	194	22.0%	292	33.1%
平成27年度	931	427	45.9%	184	19.8%	320	34.4%
平成28年度	948	434	45.8%	208	21.9%	306	32.3%

年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月 健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数 …飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

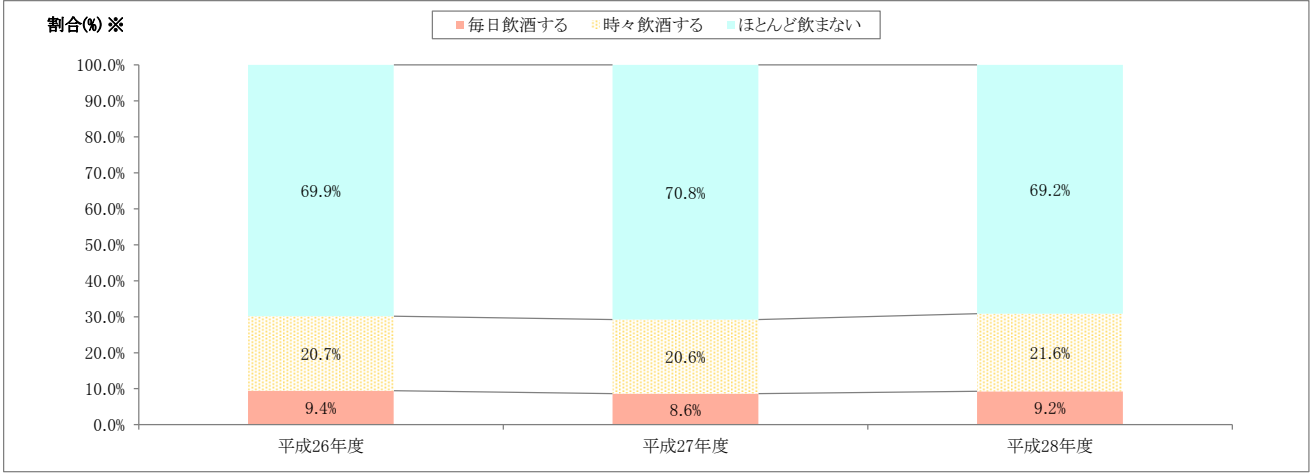
※割合 …飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,102	104	9.4%	228	20.7%	770	69.9%
平成27年度	1,117	96	8.6%	230	20.6%	791	70.8%
平成28年度	1,136	105	9.2%	245	21.6%	786	69.2%

年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月 健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数 …飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

※割合 …飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

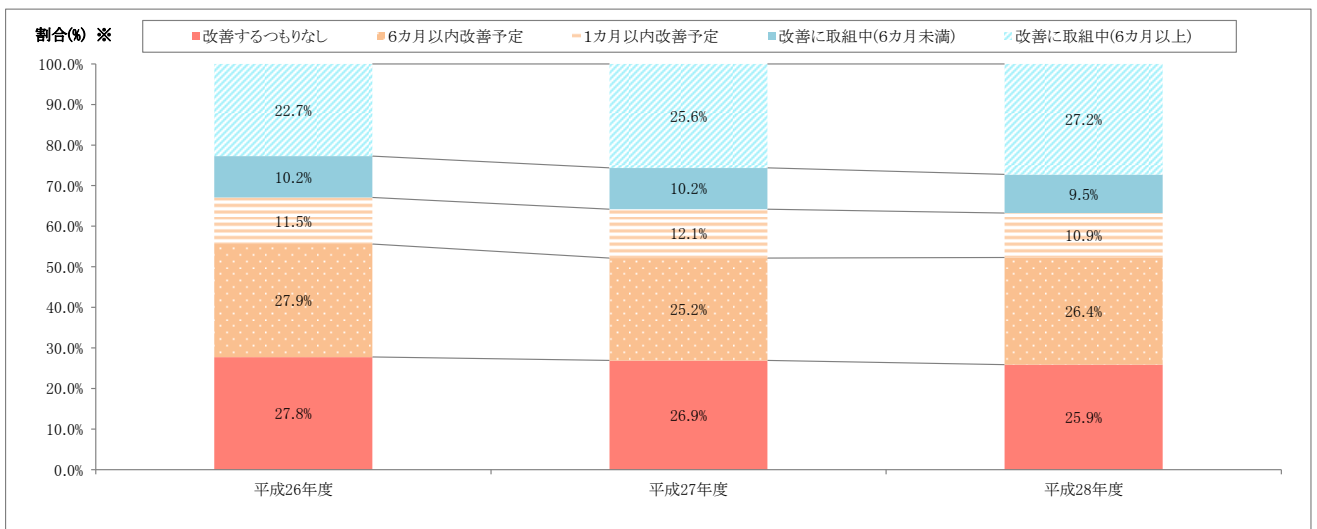
⑤生活習慣

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,953	542	27.8%	544	27.9%	224	11.5%
平成27年度	2,016	542	26.9%	509	25.2%	243	12.1%
平成28年度	2,059	533	25.9%	544	26.4%	225	10.9%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,953	199	10.2%	444	22.7%
平成27年度	2,016	205	10.2%	517	25.6%
平成28年度	2,059	196	9.5%	561	27.2%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

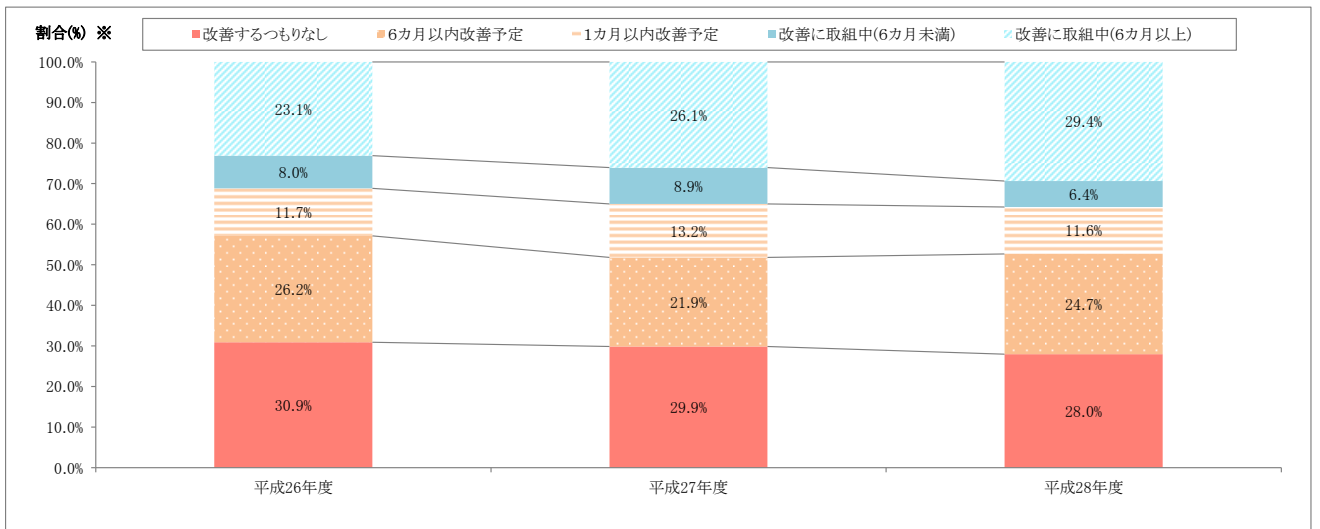
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	870	269	30.9%	228	26.2%	102	11.7%
平成27年度	917	274	29.9%	201	21.9%	121	13.2%
平成28年度	940	263	28.0%	232	24.7%	109	11.6%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	870	70	8.0%	201	23.1%
平成27年度	917	82	8.9%	239	26.1%
平成28年度	940	60	6.4%	276	29.4%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

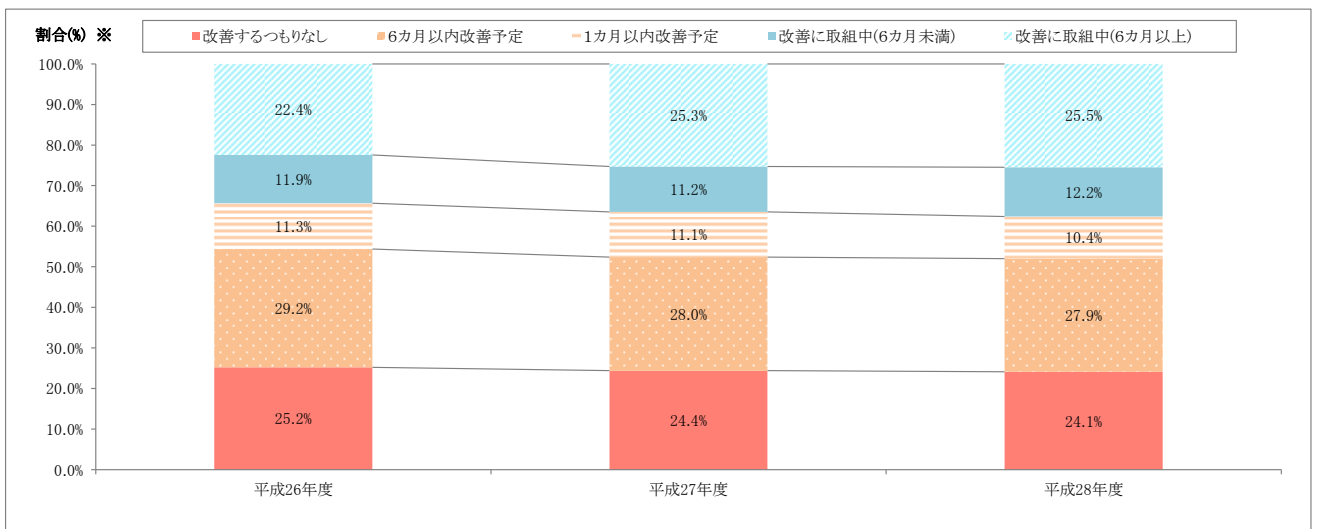
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,083	273	25.2%	316	29.2%	122	11.3%
平成27年度	1,099	268	24.4%	308	28.0%	122	11.1%
平成28年度	1,119	270	24.1%	312	27.9%	116	10.4%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,083	129	11.9%	243	22.4%
平成27年度	1,099	123	11.2%	278	25.3%
平成28年度	1,119	136	12.2%	285	25.5%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

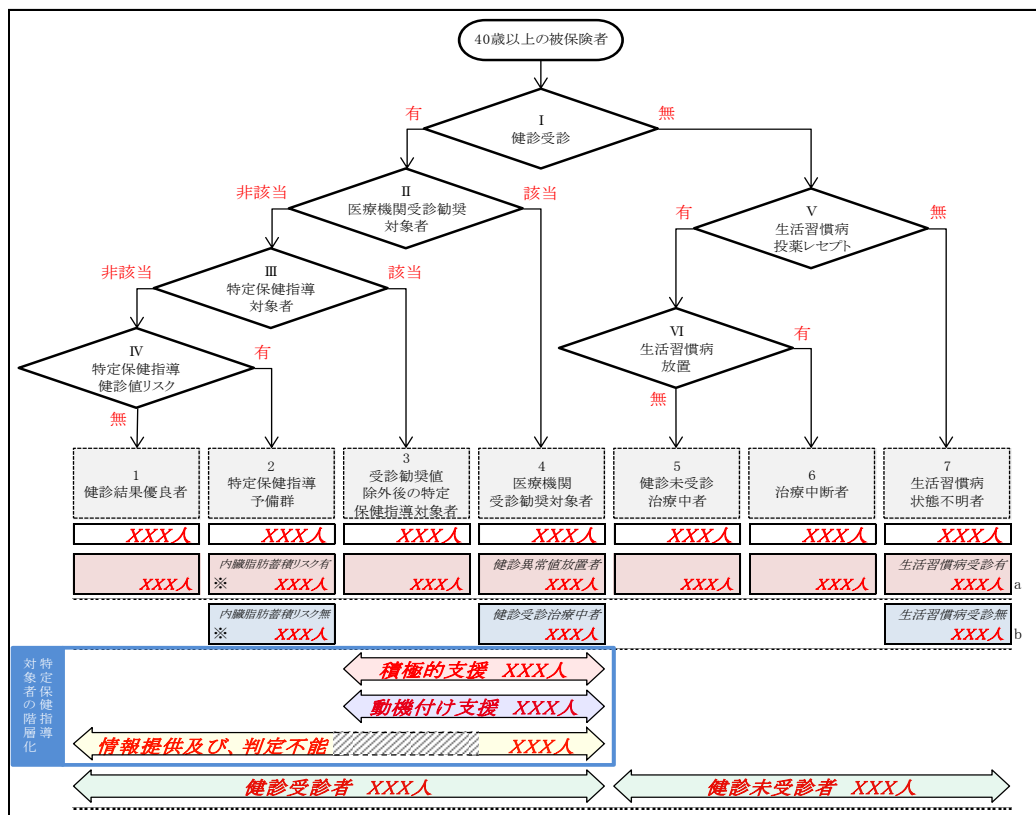
※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

1.「指導対象者群分析」のグループ分けの見方

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



【フロー説明】

- I 健診受診 …健診受診の有無を判定。
- II 医療機関受診勧奨対象者 …健診値(血糖、血圧、脂質)のいずれかが、厚生労働省が定めた受診勧奨判定値を超えて受診勧奨対象者に該当するか判定。
- III 特定保健指導対象者 …厚生労働省が定めた「標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】」に沿って、特定保健指導対象者に該当するか判定。
- IV 特定保健指導健診値リスク…厚生労働省が定めた保健指導判定値により、健診値(血糖、血圧、脂質)のリスクの有無を判定。判定に喫煙は含めない。
- V 生活習慣病投薬レセプト …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に関する、投薬の有無を判定。
- VI 生活習慣病放置 …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習慣病放置の有無を判定。

【グループ別説明】

- 健診受診あり
- 1. 健診結果優良者 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しない者。
 - 2. 特定保健指導予備群 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しているが、その他の条件(服薬有り等)により保健指導対象者でない者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク有 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、服薬が有るため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク無 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、内臓脂肪蓄積リスク(腹囲・BMI)がないため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者 …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当していない特定保健指導対象者。
 - 4. 医療機関受診勧奨対象者 …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当する者。
 - 健診異常値放置者 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がない者。
 - 健診受診治療中者 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がある者。または健診受診後生活習慣病に関する医療機関受診はないが、健診受診後間もないため病院受診の意志がない「健診異常値放置者」と判断できない者。
- 健診受診なし
- 5. 健診未受診治療中者 …生活習慣病治療中の者。
 - 6. 治療中断者 …過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。
 - 7. 生活習慣病状態不明者…生活習慣病の投薬治療をしていない者。
 - 生活習慣病受診有 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。
 - 生活習慣病受診無 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。

2. 用語解説集

用語		説明
ア 行	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
カ 行	空腹時血糖	空腹時に血液中にあるブドウ糖の量を示している。検査値が高いと糖尿病の疑いがある。
	血圧(収縮期・拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
	高齢化率	65歳以上の高齢者が総人口に占める割合。
サ 行	ジェネリック医薬品	先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版) 準拠 疾病分類表」を使用。
	腎不全	腎臓の機能が低下し、老廃物を十分排泄できなくなったり、体内に不要なものや体にとって有害なものがたまっている状態。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3カ月以上の定期的・継続的な支援を行う。
タ 行	中性脂肪	体を動かすエネルギー源となる物質であるが、蓄積することにより、肥満の原因になる。
	動機付け支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導終了後、対象者は行動計画を実践し、3カ月経過後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40歳～74歳の医療保険加入者を対象とする。
	特定保健指導	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
ナ 行	日本再興戦略	日本産業再興プラン・戦略市場創造プラン・国際展開戦略の3つのアクションプランを軸とする。データヘルス計画に関する内容は、戦略市場創造プランの【テーマ1：国民の「健康寿命」の延伸】の中に「予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくり」の一つとして示されている。
ハ 行	HbA1c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2カ月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。
マ 行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
ヤ 行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
ラ 行	レセプト	診療報酬請求明細書の通称。

3. 疾病分類表(2013年版)

コード	疾病分類	主な疾病		
Ⅰ．感染症及び寄生虫症				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頸管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	R Sウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻痺後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
Ⅱ．新生物＜腫瘍＞				
0201	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管，気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物＜腫瘍＞	子宮体癌	子宮頸癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	前立腺癌	睪癌	膀胱癌
0211	良性新生物＜腫瘍＞及びその他の新生物＜腫瘍＞	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
Ⅲ．血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
Ⅳ．内分泌，栄養及び代謝疾患				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌，栄養及び代謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
Ⅴ．精神及び行動の障害				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害，ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害＜精神遅滞＞	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄

コード	疾病分類	主な疾病		
VI. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Yahr 3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	片頭痛	睡眠時無呼吸症候群
VII. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
VIII. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳瘻孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎
0805	メニエール病	メニエール病	メニエール症候群	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭位めまい症	末梢性めまい症	耳性めまい
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症
IX. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化（症）	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	頸動脈硬化症	脳血管障害
0909	動脈硬化（症）	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧（症）	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	末梢循環障害	慢性動脈閉塞症
X. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	急性咽頭炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	クループ性気管支炎

コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎
X I．消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第2度
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変
1108	慢性肝炎（アルコール性のものを除く）	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変（アルコール性のものを除く）	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎
X II．皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿疱疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹
X III．筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症
1303	脊椎障害（脊椎症を含む）	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頸椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頸椎椎間板ヘルニア
1305	頸腕症候群	頸肩腕症候群	頸肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋筋膜性腰痛症
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頸部痛
1308	肩の傷害＜損傷＞	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	神経痛	関節痛
X IV．腎尿路生殖器系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症
1402	腎不全	慢性腎不全	腎性貧血	腎不全

コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症
1405	前立腺肥大（症）	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性膣炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腔部びらん	細菌性膣炎	膣炎
X V．妊娠，分娩及び産じょく				
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子癇
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠，分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合
X VI．周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	A B O 因子不適合
X VII．先天奇形，変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形，変形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬
X VIII．症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症
X IX．損傷，中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頸部骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	手熱傷
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	捻挫
X X I．健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	抜釘	気管切開口に対する手当て	骨髄移植ドナー
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	白内障術後	ペースメーカー植え込み後	人工股関節置換術後
X X II．特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード			
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病		